

令和7年度
神奈川県人権意識調査
調査結果報告書

2026年3月
神奈川県福祉子どもみらい局

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	2
3. 調査の項目	2
4. 調査票回収結果	2
5. 集計方法	3
6. 調査結果の見方	3
7. 標本構成	4
II 調査結果の要約	6
1. 人権について	7
2. 子どもの人権について	7
3. 女性の人権について	7
4. 障がい者の人権について	7
5. 高齢者の人権について	7
6. 疾病等に関する人権課題について	8
7. 同和問題（部落差別）について	8
8. 外国籍県民等の人権について	8
9. 貧困等に関する人権課題について	8
10. 犯罪被害者等の人権について	8
11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について	8
12. 性的マイノリティに関する人権について	9
13. インターネットによる人権侵害について	9
14. その他	9
III 調査の結果	10
1. 人権について	11
2. 子どもの人権について	27
3. 女性の人権について	31
4. 障がい者の人権について	37
5. 高齢者の人権について	43
6. 疾病等に関する人権課題について	47
7. 同和問題（部落差別）について	51
8. 外国籍県民等の人権について	57
9. 貧困等に関する人権課題について	63
10. 犯罪被害者等の人権について	67
11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について	71
12. 性的マイノリティに関する人権について	73
13. インターネットによる人権侵害について	79

参考：「特にない」を選択した人の割合が多かった結果について	83
14. その他.....	85
15. 自由記述欄.....	87
IV 使用した調査票.....	88

I 調査の概要

1. 調査の目的

神奈川県の人権施策の方向性を定めた「かながわ人権施策推進指針」の改定の基礎的な資料とするため、神奈川県内における、県民の人権意識の調査・分析を実施し、改定の検討に役立てることを目的とする。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域：神奈川県内全域
- (2) 調査対象：神奈川県内に在住する18歳以上の個人 3,047人
(インターネット調査登録モニター：約27万人)
- (3) 調査方法：インターネットを利用したアンケート調査
(登録モニターのうち、調査条件に合致し、回答のあった者を集計)
- (4) 調査期間：令和7年10月28日(火)～10月30日(木)
- (5) 調査実施機関：株式会社ジック

3. 調査の項目

- (1) 人権について
- (2) 子どもの人権について
- (3) 女性の人権について
- (4) 障がい者の人権について
- (5) 高齢者の人権について
- (6) 疾病等に関する人権課題について
- (7) 同和問題(部落差別)について
- (8) 外国籍県民等の人権について
- (9) 貧困等に関する人権課題について
- (10) 犯罪被害者等に関する人権について
- (11) 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について
- (12) 性的マイノリティに関する人権について
- (13) インターネットによる人権侵害について
- (14) その他

4. 調査票回収結果

有効回答数：3,047 件

5. 集計方法

単純集計と、属性及び設問間でクロス集計を行った。

なお、属性別のクロス集計結果については、当該属性の設問の回答者数を全体数としており、全体集計の数とは差異がある場合がある。

6. 調査結果の見方

- (1) n は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す割合算出の基数である。設問によっては、回答対象が限られるため、有効回答数にならない場合がある。
- (2) 設問により回答がなくても、全体のいずれかに回答していれば、有効回答数に含める。
- (3) 地域別集計及び年代別集計、性別集計では、無回答の場合を除いているため、全体数と合計n数が合致しない場合がある。
- (4) 百分比は n を 100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、百分比の合計が 100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (5) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計が 100.0%を上回る場合がある。
- (6) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (7) 無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、割合算出の基数（n）、及び回答割合（P）によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 回答件数
P = 回答割合 (%)

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%
3,047 人	±1.07	±1.42	±1.63	±1.74	±1.78
1,000 人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500 人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300 人	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100 人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※母集団は神奈川県全体の満18歳以上人口 7,767,938 人である。（令和7年1月1日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が 3,047 であり、その設問中の回答割合が 60%であった場合、その回答割合の誤差の範囲は最高でも 1.74%以内（58.26～61.74）である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

7. 標本構成

(1) 地域

	回答数	割合
横浜地域（横浜市）	1,355	44.5%
川崎地域（川崎市）	536	17.6%
横須賀三浦地域	184	6.0%
県央地域	477	15.7%
湘南地域	397	13.0%
県西地域	98	3.2%
合計	3,047	100.0%

※横須賀三浦地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）

※県央地域（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）

※湘南地域（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）

※県西地域（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）

(2) 年代

	回答数	割合
20代以下	247	8.1%
30代	763	25.0%
40代	364	11.9%
50代	638	20.9%
60代	632	20.7%
70代以上	370	12.1%
答えたくない	33	1.1%
合計	3,047	100.0%

(3) 性別

	回答数	割合
男性	1,507	49.5%
女性	1,510	49.6%
その他	6	0.2%
答えたくない	24	0.8%
合計	3,047	100.0%

(4) 職業

	回答数	割合
正規の職員、従業員（役員等を含む）	1,172	38.5%
非正規の職員、従業員（パート、アルバイト、契約、嘱託、派遣等）	630	20.7%
自営業、自由業	166	5.4%
主婦、主夫	493	16.2%
生徒、学生	36	1.2%
無職	485	15.9%
その他	16	0.5%
答えたくない	49	1.6%
合計	3,047	100.0%

(5) 世帯年収別

	回答数	割合
無収入	108	3.5%
200万円未満	272	8.9%
200～300万円未満	233	7.6%
300～400万円未満	308	10.1%
400～500万円未満	279	9.2%
500～700万円未満	398	13.1%
700～900万円未満	291	9.6%
900～1,100万円未満	198	6.5%
1,100～1,300万円未満	94	3.1%
1,300～1,500万円未満	61	2.0%
1,500～2,000万円未満	79	2.6%
2,000万円以上	54	1.8%
わからない	672	22.1%
合計	3,047	100.0%

(6) 障がいの有無

	回答数	割合
障がいがある	235	7.7%
障がいがない	2,571	84.4%
分からない	105	3.4%
答えたくない	136	4.5%
合計	3,047	100.0%

(7) 国籍別

	回答数	割合
日本国籍	2,960	97.1%
日本国籍以外	11	0.4%
分からない	19	0.6%
答えたくない	57	1.9%
合計	3,047	100.0%

Ⅱ 調査結果の要約

1. 人権について

- 「日常生活で自身または周囲の人の人権が尊重されていないと感じる」と答えた人は19.3%。
- 人権が尊重されていないと感じた具体的な項目として、「職場や学校でパワーハラスメントを受けた」の40.4%が最も高い。
- 人権が尊重されていないと感じた人が相談した相手を聞く設問では、「誰にも相談しなかった」の57.9%が最も高い。
- 「誰にも相談しなかった」を選択した人の理由は、「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」の50.1%が最も高い。
- 人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思うかという設問では、「対面での相談」の25.6%が最も高い。
- 人権教育を促進していくために学校においてどのような取組を進めていけばよいと思うかについて、「子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る」の27.4%が最も高い。
- 人権施策を推進していくために重要だと思うことは、「学校における人権教育を充実すること」の34.9%が最も高い。

2. 子どもの人権について

- 子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「いじめ、仲間はずれや無視」の51.4%が最も高い。
- 子どもの人権を守るために必要だと思うことは、「自分も他人も大切にすると人権教育を行う」の40.0%が最も高い。

3. 女性の人権について

- 女性の人権が尊重されていないと感じる状況は、「性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと」の42.8%が最も高い。
- 女性の人権を守るために必要だと思うことは、「女性の働き続けやすい就業環境を整備する」の35.4%が最も高い。

4. 障がい者の人権について

- 障がい者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと」の37.4%が最も高い。
- 障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくために重要だと思うことは、「障がい者本人の意思を尊重する」の33.3%が最も高い。

5. 高齢者の人権について

- 高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「働きたいと思っても働ける機会が少ないこと」の31.4%が最も高い。
- 高齢者の人権を守るために必要だと思うことは、「生活しやすいまちづくりを推進する」の31.4%が最も高い。

6. 疾病等に関する人権課題について

- 疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じる状況は、「患者や家族が差別的な扱いを受けること」の39.1%が最も高い。
- 疾病等に係る人権を守るために必要だと思うことは、「病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと」の43.7%が最も高い。

7. 同和問題（部落差別）について

- 同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」の15.4%が最も高い。「同和問題について知らない」は34.3%となった。
- 同和問題（部落差別）に関し、現在、起きていると思う問題は「差別的な言動をすること」の39.3%が最も高い。
- 同和問題（部落差別）の解決に必要なと思うことは、「同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する」の42.6%が最も高い。

8. 外国籍県民等の人権について

- 外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「外国人（見た目や名前、言葉・イントネーションなど）を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること」の27.1%が最も高い。
- 外国籍県民等の人権を守るために必要だと思うことは、「多文化共生を進める教育をする」の28.7%が最も高い。

9. 貧困等に関する人権課題について

- 貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的な自立が困難なこと」の40.0%が最も高い。
- 貧困等にかかる人権を守るために必要だと思うことは、「就労の支援をすること」の45.7%が最も高い。

10. 犯罪被害者等の人権について

- 犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「報道によって私生活の平穏が保てない」の40.5%が最も高い。
- 犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは、「プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること」の46.8%が最も高い。

11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について

- 北朝鮮当局による拉致問題についての人権課題だと思うことは、「自由が奪われ帰郷できないこと」の44.9%が最も高い。

12. 性的マイノリティに関する人権について

- 性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる状況は、「男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと」の27.8%が最も高い。
- 性的マイノリティの人権を守るために必要だと思うことは、「ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する」の32.3%が最も高い。

13. インターネットによる人権侵害について

- インターネットによる人権侵害に関して起きていると思う問題は、「個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み」の45.9%が最も高い。
- インターネットによる人権侵害を防ぐために必要だと思うことは、「監視、取り締まりを強化する」の43.3%が最も高い。

14. その他

- 「かながわ人権施策推進指針」に記載されている人権課題以外に追加した方が良いと思う分野は、「働く人の人権（カスタマーハラスメントなどの問題）」の40.2%が最も高い。

Ⅲ 調査の結果

1. 人権について

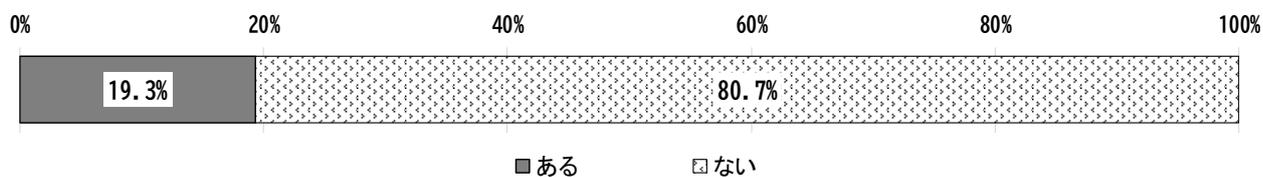
問1 あなたは、日常生活の中で、自分自身、または周りの人（家族や友人、職場の同僚など）の人権が尊重されていないと感じたことはありますか。（単一回答）

日常生活の中で自身及び周りの人が人権が尊重されていないと感じたことについては、全体集計において「ある」が19.3%で、「ない」が80.7%となった。

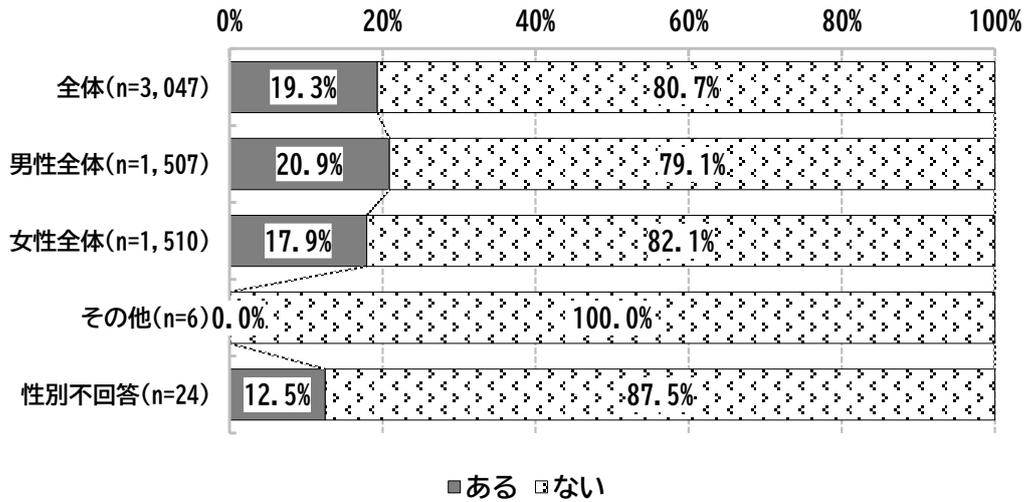
性別集計において、「ある」の割合が「男性」では20.9%、「女性」では17.9%となった。

性・年代別集計において、「ある」の割合が「男性・30代」では26.3%と最も高くなった。

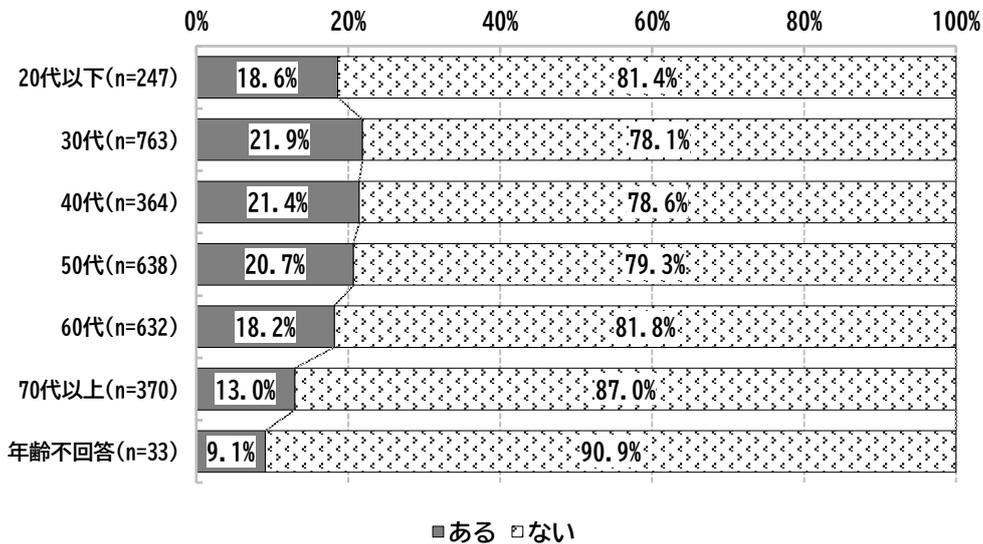
【全体集計】 n=3,047



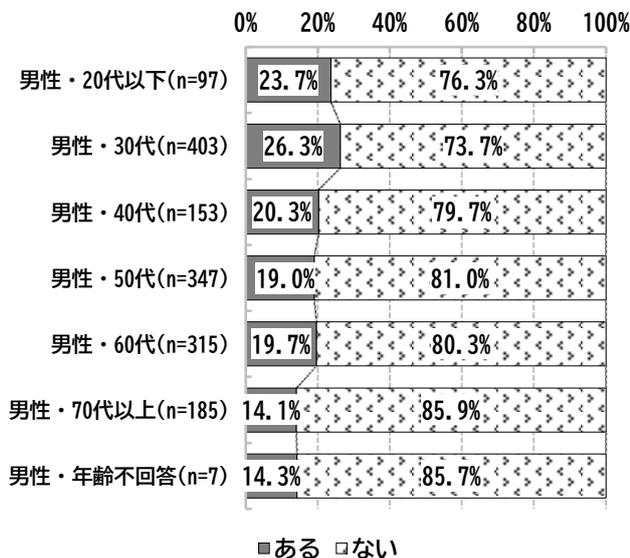
【性別集計】 n=3,047



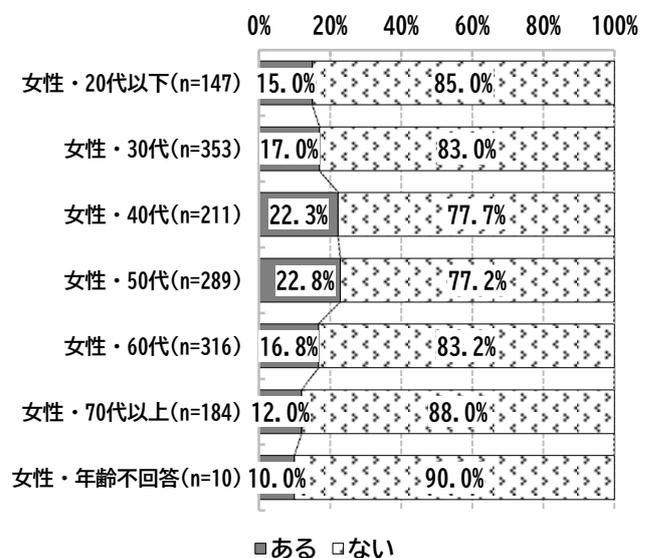
【年代別集計】 n=3,047



【男性・年代別】 n=1,507



【女性・年代別】 n=1,510



【問1で「ある」と答えた方のみ】

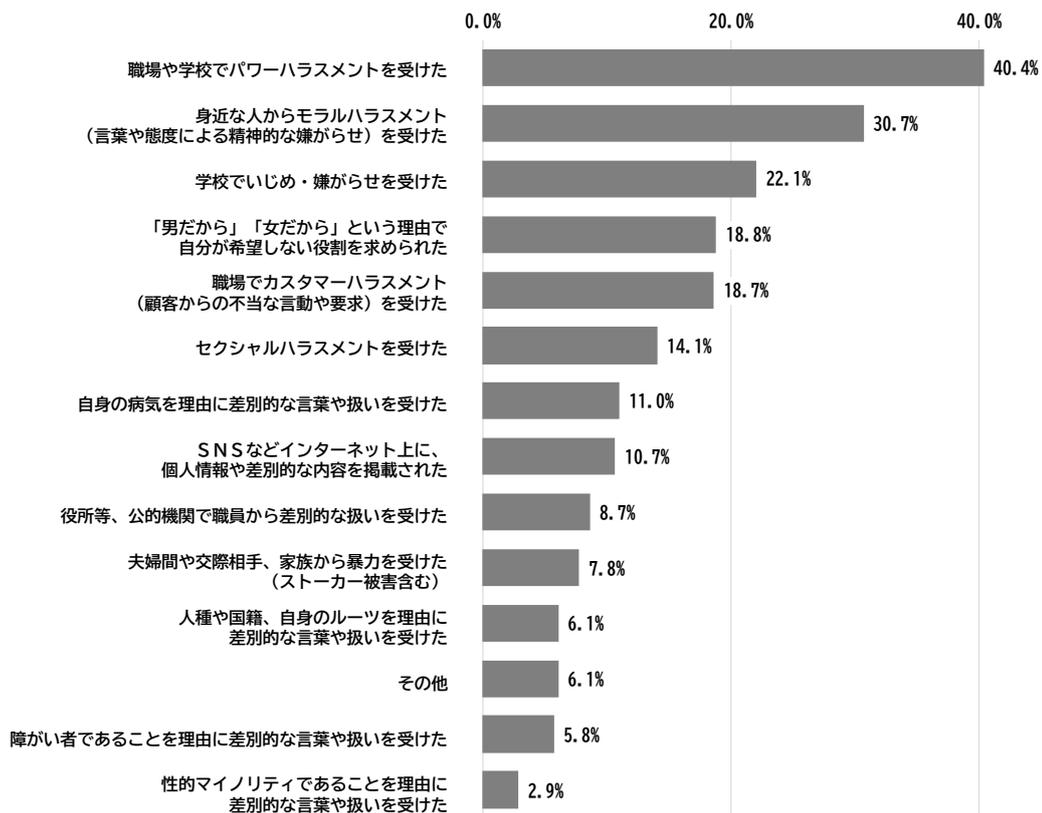
問2 それはどのような内容ですか。（複数回答）

人権が尊重されていないと感じた具体的な項目としては、全体集計において「職場や学校でパワーハラスメントを受けた」の40.4%が最も高く、次いで「身近な人からモラルハラスメント（言葉や態度による精神的な嫌がらせ）を受けた」が30.7%、「学校でいじめ・嫌がらせを受けた」が22.1%となった。

性別集計において、男女ともに「職場や学校でパワーハラスメントを受けた」が最も高くなった。また、「セクシャルハラスメントを受けた」が「女性」では19.9%であったのに対し、「男性」では8.9%と11.0ポイントの差があった。

性・年代別集計においては、「男性・20代以下」では「SNSなどインターネット上に、個人情報や差別的な内容を掲載された」が最も多く、「女性・20代以下」「女性・40代」「女性・60代」「女性・70代以上」は「身近な人からモラルハラスメント（言葉や態度による精神的な嫌がらせ）を受けた」が最も多かった。

【全体集計】 n=589



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	SNSなどインターネット上に、個人情報や差別的な内容を掲載された	学校でいじめ・嫌がらせを受けた	役所等、公的機関で職員から差別的な扱いを受けた	職場や学校でパワーハラスメントを受けた	セクシャルハラスメントを受けた	身近な人からモラルハラスメント(言葉や態度による精神的な嫌がらせ)を受けた	職場でカスタマーハラスメント(顧客からの不当な言動や要求)を受けた	「男だから」「女だから」という理由で自分が希望しない役割を求められた	夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた(ストーカー被害含む)	障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	自身の病気を理由に差別的な言葉や扱いを受けた	人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	その他
全体	589	10.7%	22.1%	8.7%	40.4%	14.1%	30.7%	18.7%	18.8%	7.8%	5.8%	11.0%	6.1%	2.9%	6.1%
男性全体	315	14.6%	20.0%	8.3%	40.6%	8.9%	24.1%	19.4%	14.3%	4.1%	4.4%	9.8%	6.7%	2.9%	6.3%
男性・20代以下	23	43.5%	21.7%	17.4%	30.4%	30.4%	21.7%	13.0%	17.4%	8.7%	8.7%	17.4%	4.3%	13.0%	4.3%
男性・30代	106	18.9%	25.5%	8.5%	41.5%	8.5%	25.5%	23.6%	12.3%	3.8%	5.7%	6.6%	4.7%	2.8%	4.7%
男性・40代	31	19.4%	19.4%	6.5%	41.9%	3.2%	19.4%	22.6%	19.4%	6.5%	3.2%	6.5%	9.7%	3.2%	6.5%
男性・50代	66	4.5%	13.6%	9.1%	40.9%	4.5%	22.7%	19.7%	19.7%	4.5%	1.5%	13.6%	3.0%	3.0%	7.6%
男性・60代	62	8.1%	16.1%	4.8%	45.2%	12.9%	29.0%	17.7%	11.3%	0.0%	1.6%	11.3%	11.3%	0.0%	4.8%
男性・70代以上	26	3.8%	23.1%	7.7%	34.6%	0.0%	19.2%	7.7%	7.7%	7.7%	11.5%	7.7%	11.5%	0.0%	15.4%
男性・年齢不回答	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性全体	271	6.3%	24.4%	8.9%	39.9%	19.9%	38.4%	18.1%	24.4%	12.2%	7.4%	12.5%	5.5%	3.0%	5.9%
女性・20代以下	22	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	4.5%	0.0%
女性・30代	60	11.7%	38.3%	8.3%	40.0%	25.0%	26.7%	21.7%	25.0%	5.0%	10.0%	16.7%	6.7%	8.3%	3.3%
女性・40代	47	6.4%	25.5%	4.3%	42.6%	19.1%	44.7%	19.1%	17.0%	10.6%	6.4%	21.3%	8.5%	0.0%	4.3%
女性・50代	66	3.0%	16.7%	7.6%	53.0%	18.2%	40.9%	21.2%	25.8%	10.6%	4.5%	9.1%	3.0%	1.5%	6.1%
女性・60代	53	5.7%	22.6%	15.1%	37.7%	20.8%	49.1%	11.3%	30.2%	20.8%	3.8%	5.7%	3.8%	1.9%	9.4%
女性・70代以上	22	0.0%	13.6%	4.5%	27.3%	9.1%	31.8%	0.0%	22.7%	13.6%	9.1%	13.6%	4.5%	0.0%	13.6%
女性・年齢不回答	1	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別不回答	3	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【問1で「ある」と答えた方のみ】

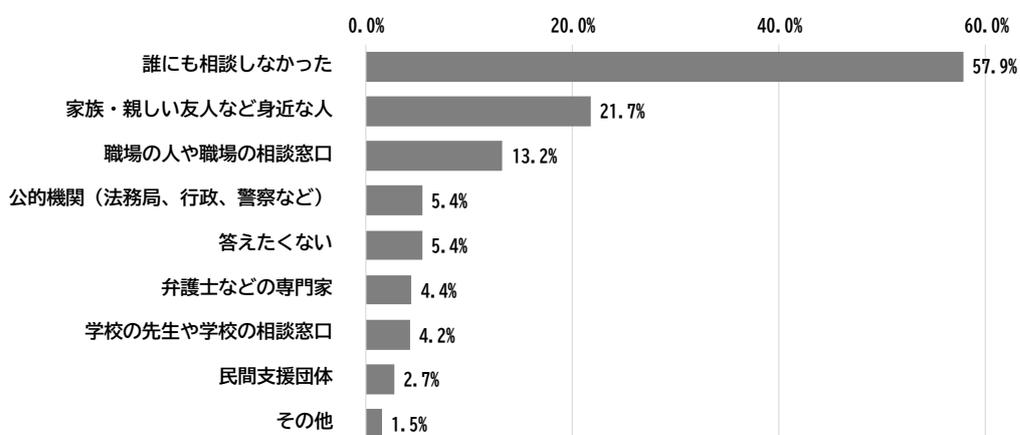
問3 だれに相談しましたか。（複数回答）

日常生活の中で自身及び周りの人の人権が尊重されていないと感じた人が相談した相手を聞く設問では、全体集計において「誰にも相談しなかった」の57.9%が最も高く、次いで「家族・親しい友人など身近な人」が21.7%、「職場の人や職場の相談窓口」が13.2%となった。

性別集計において、男女ともに「誰にも相談しなかった」が最も高くなった。

性・年代別集計において、「男性・50代」「男性・60代」「男性・70代以上」では「誰にも相談しなかった」が7割を超えた。

【全体集計】 n=589



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	公的機関（法務局、行政、警察など）	弁護士などの専門家	家族・親しい友人など身近な人	職場の人や職場の相談窓口	学校の先生や学校の相談窓口	民間支援団体	その他	誰にも相談しなかった	答えたくない
全体	589	5.4%	4.4%	21.7%	13.2%	4.2%	2.7%	1.5%	57.9%	5.4%
男性全体	315	5.7%	6.7%	17.5%	14.6%	5.4%	2.2%	1.3%	59.4%	4.8%
男性・20代以下	23	8.7%	13.0%	39.1%	30.4%	8.7%	4.3%	0.0%	43.5%	0.0%
男性・30代	106	7.5%	7.5%	22.6%	24.5%	7.5%	1.9%	1.9%	43.4%	6.6%
男性・40代	31	16.1%	12.9%	32.3%	16.1%	3.2%	6.5%	0.0%	51.6%	0.0%
男性・50代	66	4.5%	1.5%	10.6%	7.6%	1.5%	0.0%	3.0%	75.8%	4.5%
男性・60代	62	0.0%	4.8%	6.5%	3.2%	6.5%	3.2%	0.0%	74.2%	3.2%
男性・70代以上	26	0.0%	7.7%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	73.1%	7.7%
男性・年齢不回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	271	5.2%	1.8%	26.9%	11.8%	3.0%	3.3%	1.8%	56.5%	5.5%
女性・20代以下	22	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%	9.1%
女性・30代	60	5.0%	1.7%	33.3%	10.0%	1.7%	5.0%	5.0%	45.0%	10.0%
女性・40代	47	6.4%	2.1%	25.5%	14.9%	6.4%	0.0%	4.3%	59.6%	2.1%
女性・50代	66	4.5%	1.5%	22.7%	12.1%	3.0%	3.0%	0.0%	57.6%	3.0%
女性・60代	53	5.7%	1.9%	26.4%	7.5%	1.9%	3.8%	0.0%	66.0%	5.7%
女性・70代以上	22	9.1%	4.5%	27.3%	13.6%	0.0%	9.1%	0.0%	59.1%	4.5%
女性・年齢不回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別不回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

【問3で「誰にも相談しなかった」と答えた方のみ】

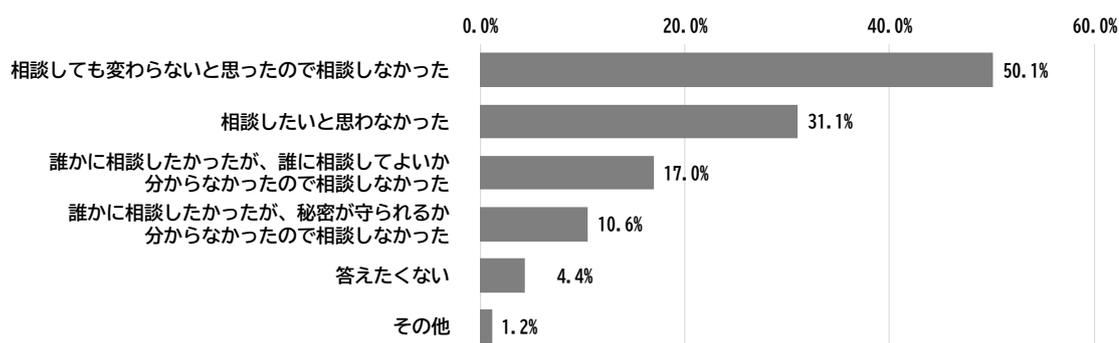
問3-2 誰にも相談しなかった理由は何ですか。（複数回答）

「誰にも相談しなかった」を選択した人の理由としては、全体集計において「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」の50.1%が最も高く、次いで「相談したいと思わなかった」が31.1%、「誰かに相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかったので相談しなかった」が17.0%となった。

性別集計において、男女ともに「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」が最も高くなった。また、「女性」では58.2%であったのに対し、「男性」の43.9%と14.3ポイントの差があった。

性・年代別集計において、「男性・20代以下」では「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」の80.0%が最も高くなった一方、「男性・60代」「男性・70代以上」では「相談したいと思わなかった」を選択した人の方が多い結果となった。女性では全年代について「相談しても変わらないと思ったので相談しなかった」が最も高くなった。

【全体集計】 n=341



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	誰かに相談した かったが、誰に 相談してよいか分 からなかったの で相談しな かった	誰かに相 談した かった が、秘密 が守られ るか分 からな かった ので相 談しな かった	相談して も変わ らな いと思 ったの で相談 しな かった	相談した いと思 わな かった	その他	答えたく ない
全体	341	17.0%	10.6%	50.1%	31.1%	1.2%	4.4%
男性全体	187	19.3%	10.7%	43.9%	34.2%	1.6%	3.2%
男性・20代以下	10	20.0%	0.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%
男性・30代	46	26.1%	17.4%	47.8%	21.7%	0.0%	6.5%
男性・40代	16	18.8%	6.3%	43.8%	31.3%	0.0%	0.0%
男性・50代	50	22.0%	10.0%	42.0%	36.0%	0.0%	2.0%
男性・60代	46	15.2%	10.9%	41.3%	43.5%	4.3%	2.2%
男性・70代以上	19	5.3%	5.3%	26.3%	52.6%	5.3%	5.3%
男性・年齢不回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性全体	153	14.4%	10.5%	58.2%	26.8%	0.7%	5.9%
女性・20代以下	11	27.3%	9.1%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%
女性・30代	27	11.1%	11.1%	63.0%	14.8%	0.0%	18.5%
女性・40代	28	17.9%	3.6%	71.4%	10.7%	0.0%	3.6%
女性・50代	38	15.8%	15.8%	55.3%	31.6%	2.6%	0.0%
女性・60代	35	11.4%	8.6%	57.1%	40.0%	0.0%	8.6%
女性・70代以上	13	7.7%	15.4%	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%
女性・年齢不回答	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性別不回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

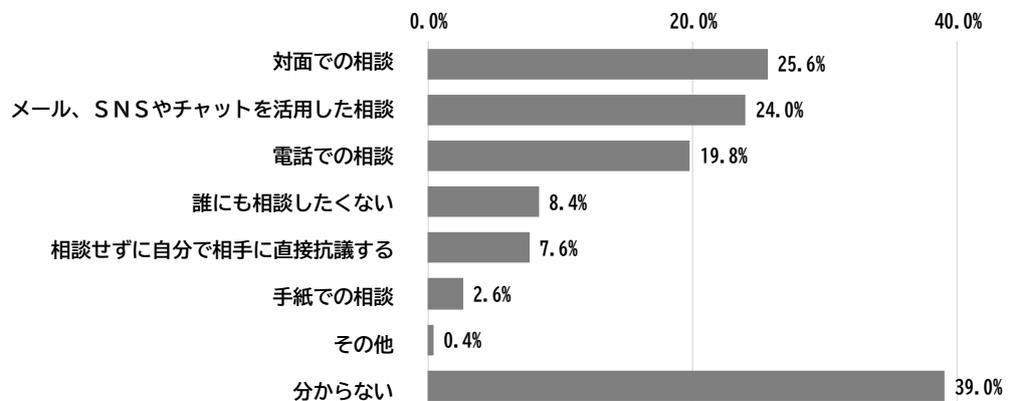
問4 あなたが人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思いますか。
(複数回答)

人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思うかについては、全体集計において「対面での相談」の25.6%が最も高く、次いで「メール、SNSやチャットを活用した相談」が24.0%となった。「分からない」が39.0%となった。

性別集計において、「男性」では「対面での相談」の29.3%が最も高くなったのに対し、「女性」では「メール、SNSやチャットを活用した相談」の24.6%が最も高くなった。

性・年代別集計において、「男性・70代以上」では「対面で相談」の36.2%が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	対面での相談	電話での相談	メール、SNSやチャットを活用した相談	手紙での相談	相談せずに自分で相手に直接抗議する	誰にも相談したくない	その他	分からない
全体	3,047	25.6%	19.8%	24.0%	2.6%	7.6%	8.4%	0.4%	39.0%
男性全体	1,507	29.3%	19.4%	23.8%	2.9%	8.8%	8.0%	0.2%	37.5%
男性・20代以下	97	29.9%	26.8%	30.9%	2.1%	7.2%	10.3%	0.0%	34.0%
男性・30代	403	25.8%	17.4%	25.3%	4.7%	7.9%	9.2%	0.2%	41.2%
男性・40代	153	29.4%	17.0%	20.3%	2.6%	8.5%	10.5%	0.0%	39.2%
男性・50代	347	31.4%	18.4%	25.1%	1.4%	7.5%	7.2%	0.3%	36.3%
男性・60代	315	27.9%	21.3%	23.5%	1.9%	10.2%	7.0%	0.3%	35.2%
男性・70代以上	185	36.2%	21.6%	17.8%	3.8%	12.4%	5.9%	0.0%	34.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	22.3%	20.3%	24.6%	2.5%	6.6%	8.7%	0.5%	39.7%
女性・20代以下	147	19.0%	11.6%	21.8%	2.0%	4.8%	10.9%	0.0%	49.0%
女性・30代	353	18.4%	16.7%	26.3%	2.8%	7.9%	9.6%	0.3%	46.2%
女性・40代	211	17.5%	16.6%	27.5%	3.8%	4.7%	10.4%	0.0%	44.1%
女性・50代	289	28.0%	19.7%	26.3%	2.4%	7.6%	8.0%	1.0%	33.2%
女性・60代	316	24.7%	27.5%	25.3%	1.9%	6.0%	7.9%	0.3%	32.6%
女性・70代以上	184	25.5%	28.3%	17.4%	1.6%	7.6%	6.0%	1.6%	34.8%
女性・年齢不回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%
性別不回答	24	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	87.5%

■問4と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計

		問4								
		人数	対面での相談	電話での相談	メール、SNSやチャットを活用した相談	手紙での相談	相談せずに自分で相手に直接抗議する	誰にも相談したくない	その他	分からない
問2	全体	3,047	25.6%	19.8%	24.0%	2.6%	7.6%	8.4%	0.4%	39.0%
	SNSなどインターネット上に、個人情報や差別的な内容を掲載された	63	47.6%	23.8%	41.3%	15.9%	9.5%	6.3%	0.0%	20.6%
	学校でいじめ・嫌がらせを受けた	130	33.1%	27.7%	30.8%	9.2%	8.5%	10.8%	0.0%	23.8%
	役所等、公的機関で職員から差別的な扱いを受けた	51	41.2%	47.1%	37.3%	21.6%	15.7%	9.8%	2.0%	7.8%
	職場や学校でパワーハラスメントを受けた	238	38.2%	25.6%	30.3%	6.3%	8.8%	12.2%	0.4%	18.1%
	セクシャルハラスメントを受けた	83	36.1%	28.9%	42.2%	8.4%	14.5%	12.0%	1.2%	16.9%
	身近な人からモラルハラスメント（言葉や態度による精神的な嫌がらせ）を受けた	181	31.5%	26.0%	33.1%	6.6%	12.2%	11.6%	1.1%	18.8%
	職場でカスタマーハラスメント（顧客からの不当な言動や要求）を受けた	110	37.3%	30.0%	38.2%	11.8%	11.8%	13.6%	0.0%	10.9%
	「男だから」「女だから」という理由で自分が希望しない役割を求められた	111	27.0%	23.4%	37.8%	8.1%	10.8%	10.8%	0.0%	23.4%
	夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた（ストーカー被害含む）	46	45.7%	30.4%	23.9%	8.7%	8.7%	6.5%	0.0%	19.6%
	障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	34	38.2%	23.5%	35.3%	8.8%	11.8%	5.9%	0.0%	23.5%
	自身の病気を理由に差別的な言葉や扱いを受けた	65	38.5%	32.3%	35.4%	12.3%	13.8%	4.6%	0.0%	20.0%
	人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	36	38.9%	27.8%	41.7%	16.7%	5.6%	5.6%	0.0%	25.0%
	性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	17	29.4%	23.5%	23.5%	23.5%	11.8%	29.4%	0.0%	29.4%
その他	36	16.7%	8.3%	11.1%	2.8%	5.6%	33.3%	2.8%	27.8%	

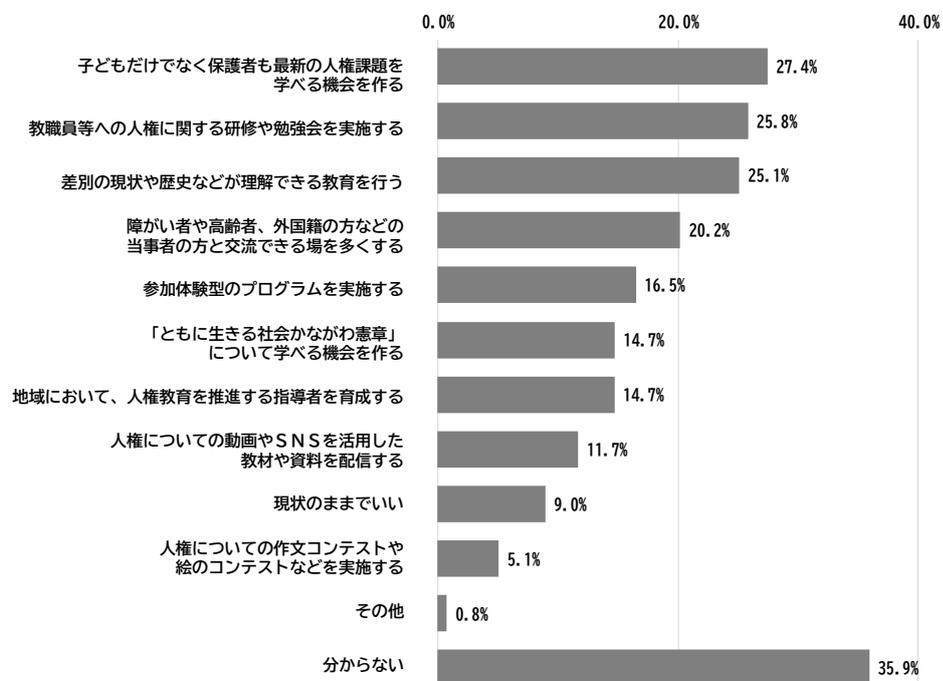
問5 人権教育を促進していくためには、学校においてどのような取組を進めていけばよいと思いますか。（複数回答）

人権教育を促進していくための学校における取組としては、全体集計において「子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る」の27.4%が最も高く、次いで「教職員等への人権に関する研修や勉強会を実施する」が25.8%となった。「分からない」が35.9%となった。

性別集計において、「男性」では「教職員等への人権に関する研修や勉強会を実施する」の25.3%が最も高くなったのに対し、「女性」では「子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る」の31.2%が最も高くなった。

性・年代別集計において、「女性・60代」「女性・70代以上」では「子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る」が4割を超えた。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	教職員等への人権に関する研修や勉強会を実施する	差別の現状や歴史などが理解できる教育を行う	参加型のプログラムを実施する	障がい者や高齢者、外国籍の方などの当事者の方と交流できる場を多くする	子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る	人権についての作文コンテストや絵のコンテストなどを実施する	人権についての動画やSNSを活用した教材や資料を配信する	「ともに生きる社会かながわ憲章」について学べる機会を作る	地域において、人権教育を推進する指導者を育成する	現状のままがいい	その他	分からない
全体	3,047	25.8%	25.1%	16.5%	20.2%	27.4%	5.1%	11.7%	14.7%	14.7%	9.0%	0.8%	35.9%
男性全体	1,507	25.3%	24.9%	16.7%	18.5%	24.2%	5.1%	10.9%	12.9%	13.4%	10.8%	0.6%	35.4%
男性・20代以下	97	22.7%	25.8%	15.5%	16.5%	22.7%	7.2%	16.5%	12.4%	14.4%	16.5%	1.0%	33.0%
男性・30代	403	18.9%	20.8%	13.6%	14.9%	19.1%	7.4%	11.9%	11.4%	10.9%	10.4%	1.0%	39.7%
男性・40代	153	20.3%	19.0%	15.7%	7.8%	15.0%	7.2%	9.8%	9.2%	7.2%	11.1%	0.0%	39.2%
男性・50代	347	23.3%	21.9%	15.6%	19.3%	21.3%	3.2%	6.9%	10.4%	12.7%	14.7%	0.3%	35.2%
男性・60代	315	30.2%	26.7%	18.7%	20.3%	29.8%	3.2%	9.5%	13.3%	15.6%	9.2%	0.6%	33.3%
男性・70代以上	185	41.1%	41.6%	23.8%	31.9%	40.0%	4.3%	16.8%	23.8%	21.6%	4.3%	0.5%	26.5%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	26.7%	25.7%	16.5%	22.1%	31.2%	5.2%	12.6%	16.8%	16.2%	7.0%	0.9%	35.6%
女性・20代以下	147	25.2%	19.7%	12.2%	9.5%	20.4%	6.1%	12.2%	10.9%	8.8%	8.2%	0.0%	40.1%
女性・30代	353	20.7%	21.0%	12.5%	15.0%	25.2%	5.9%	11.9%	15.0%	12.2%	8.8%	1.7%	42.2%
女性・40代	211	19.9%	17.5%	16.1%	19.4%	24.6%	2.8%	11.4%	14.2%	12.8%	10.9%	0.5%	41.7%
女性・50代	289	25.6%	27.3%	20.4%	25.6%	29.8%	6.6%	11.8%	14.5%	19.7%	6.6%	0.7%	33.6%
女性・60代	316	36.1%	32.0%	21.8%	30.7%	44.0%	4.1%	15.5%	19.3%	21.5%	3.2%	1.3%	28.2%
女性・70代以上	184	34.2%	37.0%	13.6%	29.9%	40.8%	5.4%	12.5%	28.3%	19.6%	6.0%	0.5%	25.5%
女性・年齢不回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	79.2%

「ともに生きる社会かながわ憲章」とは

平成28年7月26日、県立の障害者支援施設である「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。

そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

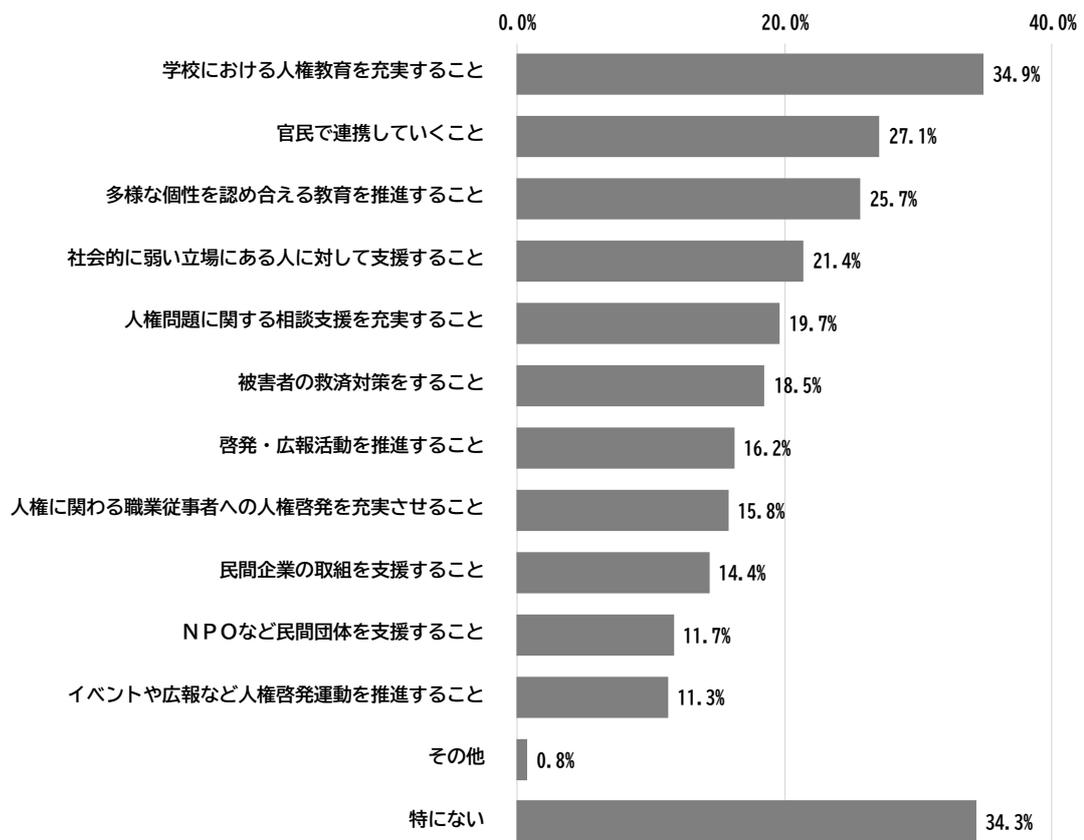
- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

問6 人権施策を推進していくために重要なことは何だと思いますか。(複数回答)

人権施策を推進していくために重要だと思うことは、全体集計において「学校における人権教育を充実すること」の34.9%が最も高く、次いで「官民で連携していくこと」が27.1%となった。「特にない」が34.3%となった。

性別集計において、男女ともに「学校における人権教育を充実すること」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	NPO など民間団 体を支援す ること	民間企 業の取 組を支援 すること	官民で 連携し ていく こと	学校に おける 人権教 育を充 実する こと	多様な 個性を 認め合 える教 育を推 進する こと	被害者 の救済 をす ること	社会的 に弱い 立場に ある人 に支援 する こと	啓発・ 広報活 動を推 進する こと	イベン トや広 報など 啓発運 動を推 進する こと	人権に 関する 職業従 事者へ 啓発を 充実さ せる こと	人権問 題に関 する相 談支援 を充実 する こと	その他	特にな い
全体	3,047	11.7%	14.4%	27.1%	34.9%	25.7%	18.5%	21.4%	16.2%	11.3%	15.8%	19.7%	0.8%	34.3%
男性全体	1,507	11.5%	14.4%	28.5%	32.1%	21.9%	16.8%	21.0%	14.7%	10.1%	14.1%	16.0%	0.9%	36.4%
男性・20代以下	97	10.3%	16.5%	21.6%	33.0%	22.7%	24.7%	21.6%	6.2%	8.2%	16.5%	16.5%	0.0%	32.0%
男性・30代	403	9.9%	13.9%	20.3%	23.1%	19.1%	13.6%	17.1%	11.2%	9.2%	10.9%	12.2%	1.7%	41.4%
男性・40代	153	13.7%	16.3%	19.6%	24.2%	16.3%	19.6%	16.3%	9.8%	9.2%	8.5%	8.5%	0.0%	41.8%
男性・50代	347	10.4%	14.7%	28.0%	26.5%	20.2%	12.7%	15.3%	14.4%	9.2%	13.0%	14.7%	0.6%	41.8%
男性・60代	315	10.2%	12.4%	36.2%	41.0%	22.5%	17.8%	26.7%	17.5%	9.8%	18.7%	19.4%	1.3%	31.1%
男性・70代以上	185	18.9%	16.2%	45.9%	54.1%	35.1%	23.8%	35.1%	27.0%	16.2%	18.9%	27.6%	0.5%	20.0%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	11.9%	14.5%	26.2%	38.1%	29.8%	20.5%	22.1%	18.0%	12.6%	17.7%	23.5%	0.7%	31.5%
女性・20代以下	147	16.3%	15.0%	11.6%	27.2%	16.3%	12.9%	15.6%	12.2%	11.6%	10.9%	13.6%	0.0%	45.6%
女性・30代	353	11.3%	15.9%	17.3%	31.2%	23.5%	18.1%	19.0%	14.2%	11.6%	14.7%	17.6%	0.3%	40.8%
女性・40代	211	9.0%	13.7%	19.0%	31.8%	23.7%	14.2%	15.6%	10.9%	9.0%	15.2%	24.2%	0.5%	37.4%
女性・50代	289	11.1%	14.9%	31.8%	41.5%	31.8%	25.3%	26.0%	16.3%	11.1%	19.0%	23.5%	1.7%	22.8%
女性・60代	316	11.7%	13.0%	33.9%	47.8%	38.6%	24.4%	25.9%	26.9%	14.9%	22.2%	30.4%	0.6%	21.5%
女性・70代以上	184	14.7%	14.7%	42.4%	46.7%	42.4%	25.0%	28.8%	26.1%	18.5%	23.4%	31.5%	0.5%	22.8%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	79.2%

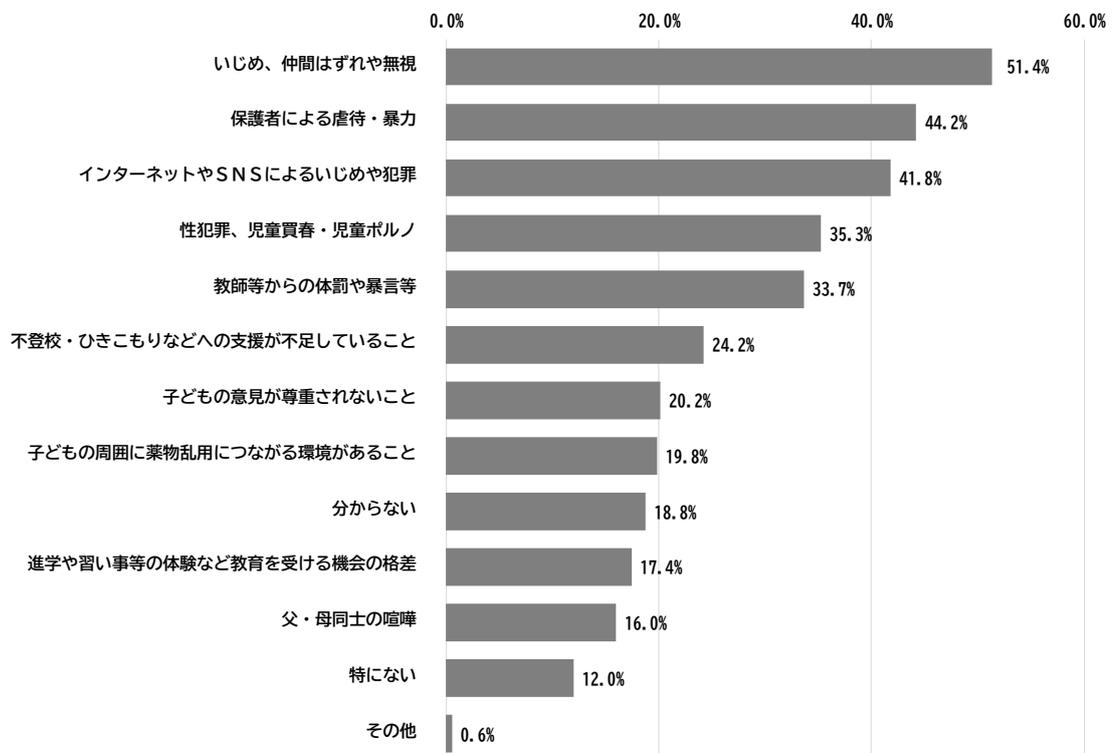
2. 子どもの人権について

問7 子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「いじめ、仲間はずれや無視」の51.4%が最も高く、次いで「保護者による虐待・暴力」が44.2%、「インターネットやSNSによるいじめや犯罪」が41.8%となった。

性別集計において、男女ともに「いじめ、仲間はずれや無視」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	いじめ、仲間はずれや無視	インターネットやSNSによるいじめや犯罪	子どもの意見が尊重されないこと	保護者による虐待・暴力	父・母同士の喧嘩	教師等からの体罰や暴言等	不登校・ひきこもりなどの支援が不足していること	性犯罪、児童買春・児童ポルノ	子どもの周囲に薬物乱用につながる環境があること	進学や習い事等の体験など教育を受ける機会の格差	その他	特にない	分からない
全体	3,047	51.4%	41.8%	20.2%	44.2%	16.0%	33.7%	24.2%	35.3%	19.8%	17.4%	0.6%	12.0%	18.8%
男性全体	1,507	49.2%	39.3%	16.7%	38.9%	12.6%	27.7%	22.4%	27.5%	17.0%	13.6%	0.7%	14.7%	17.7%
男性・20代以下	97	48.5%	36.1%	22.7%	36.1%	13.4%	24.7%	22.7%	22.7%	16.5%	10.3%	0.0%	16.5%	16.5%
男性・30代	403	42.4%	33.5%	18.6%	31.0%	12.9%	22.8%	22.6%	24.1%	16.6%	10.4%	0.5%	17.4%	18.6%
男性・40代	153	46.4%	37.9%	19.0%	29.4%	15.7%	21.6%	22.9%	24.2%	17.0%	14.4%	0.7%	11.8%	22.2%
男性・50代	347	43.5%	36.6%	14.7%	38.6%	10.7%	25.4%	15.0%	25.9%	15.6%	12.7%	0.6%	17.3%	19.0%
男性・60代	315	56.2%	45.1%	12.7%	44.1%	14.0%	31.1%	24.1%	28.3%	16.8%	16.2%	1.3%	14.3%	14.9%
男性・70代以上	185	66.5%	50.8%	18.9%	57.8%	10.3%	44.3%	33.5%	42.2%	21.1%	19.5%	0.5%	7.0%	11.9%
男性・年齢不回答	7	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	54.2%	44.8%	23.8%	50.3%	19.5%	40.1%	26.4%	43.4%	22.8%	21.5%	0.5%	9.3%	19.1%
女性・20代以下	147	34.7%	30.6%	21.1%	33.3%	19.7%	25.2%	25.2%	36.1%	17.7%	16.3%	0.0%	17.7%	25.2%
女性・30代	353	48.4%	39.9%	28.3%	41.1%	20.4%	35.1%	23.2%	36.5%	22.7%	19.5%	0.0%	10.8%	24.6%
女性・40代	211	46.4%	39.8%	26.5%	45.0%	19.4%	32.2%	23.2%	35.1%	21.8%	23.2%	0.9%	10.0%	22.3%
女性・50代	289	57.8%	48.4%	25.6%	56.1%	23.9%	44.3%	25.6%	46.4%	24.9%	21.5%	0.0%	5.9%	16.3%
女性・60代	316	67.1%	54.4%	18.4%	61.1%	19.0%	50.0%	27.8%	52.8%	25.9%	22.8%	0.6%	4.7%	14.2%
女性・70代以上	184	64.1%	50.0%	20.7%	61.4%	13.0%	47.8%	36.4%	52.2%	20.7%	26.1%	1.6%	10.9%	11.4%
女性・年齢不回答	10	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	50.0%
その他	6	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%
性別不回答	24	16.7%	16.7%	8.3%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%	8.3%	62.5%

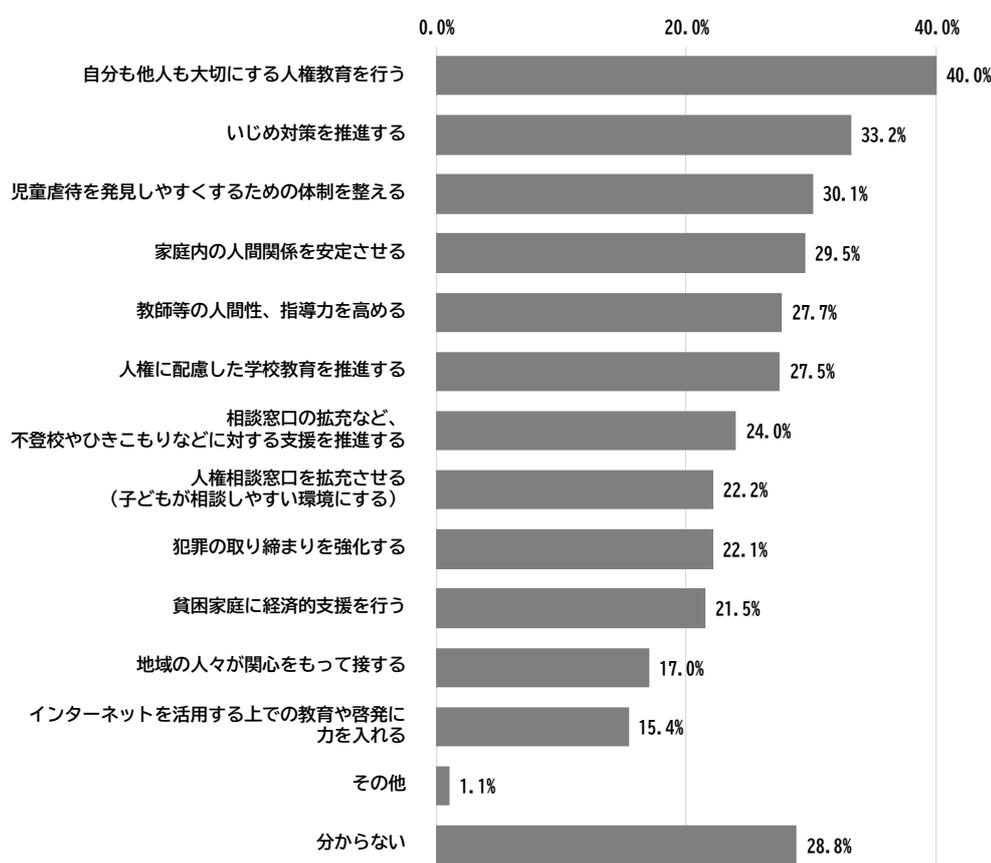
問8 子どもの人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

子どもの人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「自分も他人も大切にすると人権教育を行う」の40.0%が最も高く、次いで「いじめ対策を推進する」が33.2%、「児童虐待を発見しやすくするための体制を整える」が30.1%となった。

性別集計において、男女ともに「自分も他人も大切にすると人権教育を行う」が最も高くなった。また、「女性」では44.8%であったのに対し、「男性」の35.7%と9.1ポイントの差があった。

性・年代別集計において、「男性・70代以上」「女性・60代」「女性・70代以上」では「自分も他人も大切にすると人権教育を行う」が5割を超えた。一方、「男性・20代以下」は「いじめ対策を推進する」の40.2%が最も多かった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	自分も他人も大切に する人権教育を行う	家庭内の人間 関係を安定させる	児童虐待を 見やすくするための 体制を整える	いじめ 対策を 推進する	人権に 配慮した 学校を 推進する	教師等 の人間 性、指 導力を 高める	犯罪の 取り締 まりを 強化す る	相談窓口 の拡充な ど、不登 校やひき こもりな どに対す る支援を 推進する	貧困家 庭に経 済的支 援を行 う	地域の 人々が もって 接する	イン ター ネット を活用 する上 での教 育や啓 発に力 を入れる	人権相 談窓口 を拡充 させる (子ど もが相 談しや すい環 境にする)	その他	分ら ない
全体	3,047	40.0%	29.5%	30.1%	33.2%	27.5%	27.7%	22.1%	24.0%	21.5%	17.0%	15.4%	22.2%	1.1%	28.8%
男性全体	1,507	35.7%	25.0%	25.6%	32.1%	26.2%	24.9%	20.6%	21.2%	18.9%	14.5%	14.2%	17.3%	1.2%	31.2%
男性・20代以下	97	29.9%	27.8%	26.8%	40.2%	22.7%	21.6%	19.6%	19.6%	18.6%	10.3%	12.4%	12.4%	0.0%	32.0%
男性・30代	403	26.3%	21.6%	21.1%	30.0%	20.3%	20.8%	21.8%	18.9%	16.6%	12.7%	15.9%	14.4%	2.0%	35.2%
男性・40代	153	29.4%	18.3%	20.9%	30.7%	24.2%	20.3%	22.9%	13.7%	15.7%	14.4%	12.4%	11.1%	0.7%	35.3%
男性・50代	347	34.3%	23.1%	23.9%	28.2%	23.6%	20.2%	19.0%	17.3%	15.3%	13.3%	11.8%	13.5%	1.4%	33.7%
男性・60代	315	43.8%	27.6%	29.5%	33.0%	31.4%	30.8%	22.2%	24.1%	21.6%	16.8%	14.3%	20.6%	0.6%	27.0%
男性・70代以上	185	54.1%	35.7%	36.2%	40.5%	39.5%	38.4%	17.8%	36.2%	29.7%	20.0%	17.8%	33.5%	1.1%	18.9%
男性・年齢不回答	7	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	44.8%	34.4%	35.0%	34.6%	29.2%	30.8%	23.8%	27.0%	24.4%	19.7%	16.7%	27.2%	1.0%	25.8%
女性・20代以下	147	29.9%	28.6%	21.1%	22.4%	14.3%	15.6%	18.4%	17.0%	17.0%	11.6%	10.9%	12.9%	0.0%	40.1%
女性・30代	353	36.8%	33.4%	30.3%	30.0%	22.9%	24.1%	29.2%	23.8%	18.4%	16.7%	17.8%	22.7%	0.3%	33.4%
女性・40代	211	45.0%	35.5%	32.2%	33.2%	27.0%	26.1%	26.1%	23.7%	23.2%	19.9%	19.0%	23.2%	0.9%	29.4%
女性・50代	289	45.3%	35.6%	36.3%	34.9%	31.8%	32.2%	24.6%	26.3%	29.4%	19.7%	20.8%	28.4%	2.8%	21.1%
女性・60代	316	55.7%	36.7%	44.3%	43.7%	35.8%	41.5%	22.2%	32.9%	27.8%	23.7%	16.8%	32.3%	0.9%	16.5%
女性・70代以上	184	54.3%	34.8%	42.4%	40.2%	41.3%	41.8%	17.4%	36.4%	29.9%	26.1%	10.3%	42.4%	0.5%	15.8%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%
その他	6	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	66.7%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	12.5%	12.5%	4.2%	12.5%	4.2%	8.3%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	75.0%

3. 女性の人権について

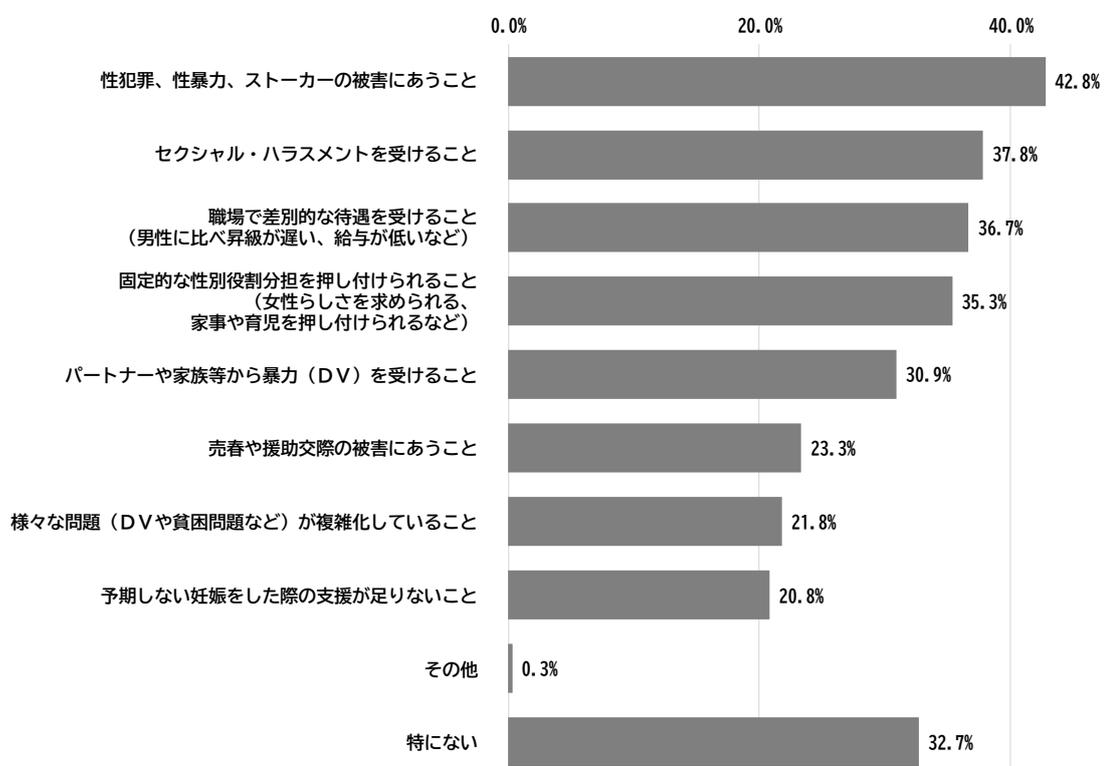
問9 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

女性の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと」の42.8%が最も高く、次いで「セクシャル・ハラスメントを受けること」が37.8%、「職場で差別的な待遇を受けること（男性に比べ昇級が遅い、給与が低いなど）」が36.7%となった。

性別集計において、男女ともに「性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと」が最も高くなった。また、「女性」では48.5%であったのに対し、「男性」の37.3%と11.2ポイントの差があった。

問2で、日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「『男だから』『女だから』という理由で自分が希望しない役割を求められた」を選択した人では「固定的な性別役割分担を押し付けられること（女性らしさを求められる、家事や育児を押し付けられる）」の64.0%が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	固定的な性別役割分担を押し付けられること（女性らしさを求められる、家事や育児を押し付けられるなど）	職場で差別的な待遇を受けること（男性に比べ昇給が遅い、給与が低いなど）	性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと	パートナーや家族等から暴力（DV）を受けること	セクシャル・ハラスメントを受けること	売春や援助交際の被害にあうこと	予期しない妊娠をした際の支援が足りないこと	様々な問題（DVや貧困問題など）が複雑化していること	その他	特にない
全体	3,047	35.3%	36.7%	42.8%	30.9%	37.8%	23.3%	20.8%	21.8%	0.3%	32.7%
男性全体	1,507	28.3%	30.7%	37.3%	25.1%	33.5%	19.8%	15.0%	16.0%	0.2%	37.0%
男性・20代以下	97	23.7%	28.9%	35.1%	29.9%	30.9%	21.6%	20.6%	12.4%	1.0%	33.0%
男性・30代	403	22.6%	24.8%	29.0%	20.6%	25.6%	17.4%	14.1%	11.9%	0.2%	44.9%
男性・40代	153	28.8%	29.4%	35.3%	21.6%	31.4%	15.7%	12.4%	13.7%	0.0%	37.9%
男性・50代	347	27.7%	27.4%	34.6%	20.7%	33.4%	16.1%	14.4%	13.3%	0.0%	38.6%
男性・60代	315	28.3%	31.7%	45.4%	28.3%	38.7%	21.0%	14.0%	19.7%	0.3%	32.1%
男性・70代以上	185	44.9%	50.8%	50.8%	39.5%	45.9%	33.5%	19.5%	28.1%	0.0%	24.3%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	42.8%	43.0%	48.5%	37.0%	42.4%	27.2%	26.7%	27.8%	0.5%	27.8%
女性・20代以下	147	34.0%	31.3%	36.7%	28.6%	34.7%	19.0%	29.9%	17.0%	0.0%	39.5%
女性・30代	353	37.7%	37.1%	42.2%	32.3%	40.2%	26.6%	26.1%	24.1%	0.6%	34.3%
女性・40代	211	37.0%	38.9%	41.7%	29.4%	35.5%	22.3%	27.0%	28.9%	0.9%	33.2%
女性・50代	289	49.5%	45.0%	52.6%	38.1%	44.6%	27.0%	24.2%	31.1%	0.3%	20.1%
女性・60代	316	48.1%	49.4%	58.9%	48.1%	50.0%	32.9%	29.1%	32.0%	0.0%	19.3%
女性・70代以上	184	48.9%	56.5%	56.0%	42.4%	45.7%	32.1%	25.5%	31.0%	1.1%	23.4%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	8.3%	8.3%	20.8%	8.3%	16.7%	4.2%	12.5%	4.2%	0.0%	70.8%

■問9と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計

「セクシャルハラスメントを受けた」「男だから女だからという理由で自分が希望しない役割を求められた」「夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた（ストーカー被害含む）」を集計

		問9										
		人数	固定的な性別役割分担を押し付けられること（女性らしさを求められる、家事や育児を押し付けられるなど）	職場で差別的な待遇を受けること（男性に比べ昇給が遅い、給与が低いなど）	性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと	パートナーや家族等から暴力（DV）を受けること	セクシャル・ハラスメントを受けること	売春や援助交際の被害にあうこと	予期しない妊娠をした際の支援が足りないこと	様々な問題（DVや貧困問題など）が複雑化していること	その他	特にない
問2	セクシャルハラスメントを受けた	83	56.6%	62.7%	62.7%	57.8%	63.9%	41.0%	44.6%	39.8%	0.0%	6.0%
	「男だから」「女だから」という理由で自分が希望しない役割を求められた	111	64.0%	56.8%	59.5%	45.9%	51.4%	35.1%	39.6%	39.6%	1.8%	9.9%
	夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた（ストーカー被害含む）	46	58.7%	63.0%	60.9%	56.5%	54.3%	41.3%	43.5%	52.2%	0.0%	4.3%

別表（全体、性別）

	人数	固定的な性別役割分担を押し付けられること（女性らしさを求められる、家事や育児を押し付けられるなど）	職場で差別的な待遇を受けること（男性に比べ昇給が遅い、給与が低いなど）	性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと	パートナーや家族等から暴力（DV）を受けること	セクシャル・ハラスメントを受けること	売春や援助交際の被害にあうこと	予期しない妊娠をした際の支援が足りないこと	様々な問題（DVや貧困問題など）が複雑化していること	その他	特にない
全体	3,047	35.3%	36.7%	42.8%	30.9%	37.8%	23.3%	20.8%	21.8%	0.3%	32.7%
男性	1,507	28.3%	30.7%	37.3%	25.1%	33.5%	19.8%	15.0%	16.0%	0.2%	37.0%
女性	1,510	42.8%	43.0%	48.5%	37.0%	42.4%	27.2%	26.7%	27.8%	0.5%	27.8%

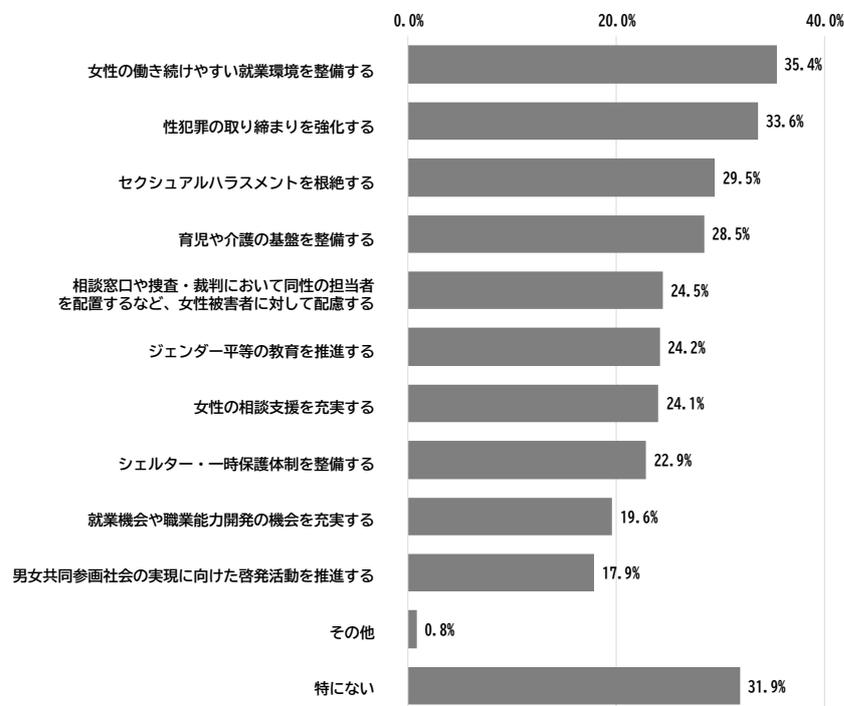
問10 女性の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

女性の人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「女性の働き続けやすい就業環境を整備する」の35.4%が最も高く、次いで「性犯罪の取り締まりを強化する」が33.6%となった。「特にない」が31.9%となった。

性別集計において、男女ともに「女性の働き続けやすい就業環境を整備する」が最も高くなった。また、「女性」では42.5%であったのに対し、「男性」の28.9%と13.6ポイントの差があった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「セクシャルハラスメントを受けた」を選択した人は「性犯罪の取り締まりを強化する」の60.2%が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	ジェンダー平等の教育を推進する	性犯罪の取り締まりを強化する	セクシュアルハラスメントを根絶する	就業機会や職業能力開発の機会を充実する	女性の働き続けやすい就業環境を整備する	育児や介護の基盤を整備する	相談窓口や捜査・裁判において同性の担当者配置するなど、女性被害者に対して配慮する	シェルター・一時保護体制を整備する	女性の相談支援を充実する	男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を推進する	その他	特にな
全体	3,047	24.2%	33.6%	29.5%	19.6%	35.4%	28.5%	24.5%	22.9%	24.1%	17.9%	0.8%	31.9%
男性全体	1,507	21.4%	28.0%	26.5%	16.8%	28.9%	22.3%	19.9%	17.7%	19.2%	15.9%	0.8%	37.0%
男性・20代以下	97	22.7%	30.9%	26.8%	16.5%	20.6%	21.6%	24.7%	11.3%	19.6%	12.4%	0.0%	37.1%
男性・30代	403	16.1%	21.6%	22.1%	14.4%	23.6%	18.4%	18.1%	14.4%	13.6%	11.4%	1.2%	42.7%
男性・40代	153	19.0%	26.1%	20.3%	20.3%	24.8%	17.0%	15.7%	16.3%	17.0%	11.8%	0.0%	38.6%
男性・50代	347	21.6%	25.1%	22.8%	15.3%	24.5%	19.0%	16.4%	17.6%	16.7%	12.7%	0.6%	40.3%
男性・60代	315	22.9%	33.3%	32.1%	17.1%	34.6%	27.0%	21.0%	20.6%	23.8%	20.0%	1.3%	31.4%
男性・70代以上	185	32.4%	39.5%	40.0%	22.2%	47.6%	34.6%	30.3%	24.9%	30.8%	30.3%	0.5%	24.9%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	27.2%	39.7%	32.8%	22.7%	42.5%	34.7%	29.3%	28.3%	29.1%	20.1%	0.9%	26.0%
女性・20代以下	147	21.1%	32.0%	21.8%	12.9%	27.9%	21.8%	19.7%	19.7%	22.4%	13.6%	0.0%	37.4%
女性・30代	353	21.8%	38.5%	32.3%	20.4%	38.8%	35.7%	25.8%	24.4%	24.9%	15.0%	1.4%	34.3%
女性・40代	211	22.3%	41.2%	29.9%	20.9%	34.6%	31.3%	27.0%	26.1%	25.1%	15.2%	0.5%	33.2%
女性・50代	289	31.8%	39.4%	34.6%	26.3%	42.6%	33.9%	31.1%	29.1%	30.1%	22.5%	1.0%	18.3%
女性・60代	316	32.6%	43.7%	36.1%	26.6%	50.9%	41.5%	36.4%	37.3%	38.0%	23.4%	0.9%	16.5%
女性・70代以上	184	32.6%	41.3%	38.6%	25.5%	57.1%	38.0%	32.6%	29.9%	31.5%	32.1%	0.5%	17.9%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	79.2%

■問10 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計

「セクシャルハラスメントを受けた」「男だから女だからという理由で自分が希望しない役割を求められた」「夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた（ストーカー被害含む）」を集計

		問10												
		人数	ジェンダー平等の教育を推進する	性犯罪の取り締まりを強化する	セクシュアルハラスメントを根絶する	就業機会や職業能力開発の機会を充実する	女性の働きやすい就業環境を整備する	育児や介護の基盤を整備する	相談窓口や捜査・裁判において同性の担当者配置するなど、女性被害者に対して配慮する	シェルター・一時保護体制を整備する	女性の相談支援を充実する	男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を推進する	その他	特にない
問2	セクシャルハラスメントを受けた	83	38.6%	60.2%	53.0%	48.2%	57.8%	55.4%	45.8%	45.8%	41.0%	34.9%	2.4%	6.0%
	「男だから」「女だから」という理由で自分が希望しない役割を求められた	111	43.2%	46.8%	45.9%	37.8%	54.1%	44.1%	43.2%	31.5%	41.4%	30.6%	2.7%	7.2%
	夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた（ストーカー被害含む）	46	39.1%	45.7%	41.3%	34.8%	58.7%	47.8%	52.2%	39.1%	50.0%	30.4%	0.0%	4.3%

別表（全体、性別）

	人数	ジェンダー平等の教育を推進する	性犯罪の取り締まりを強化する	セクシュアルハラスメントを根絶する	就業機会や職業能力開発の機会を充実する	女性の働きやすい就業環境を整備する	育児や介護の基盤を整備する	相談窓口や捜査・裁判において同性の担当者配置するなど、女性被害者に対して配慮する	シェルター・一時保護体制を整備する	女性の相談支援を充実する	男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を推進する	その他	特にない
全体	3,047	24.2%	33.6%	29.5%	19.6%	35.4%	28.5%	24.5%	22.9%	24.1%	17.9%	0.8%	31.9%
男性	1,507	21.4%	28.0%	26.5%	16.8%	28.9%	22.3%	19.9%	17.7%	19.2%	15.9%	0.8%	37.0%
女性	1,510	27.2%	39.7%	32.8%	22.7%	42.5%	34.7%	29.3%	28.3%	29.1%	20.1%	0.9%	26.0%

4. 障がい者の人権について

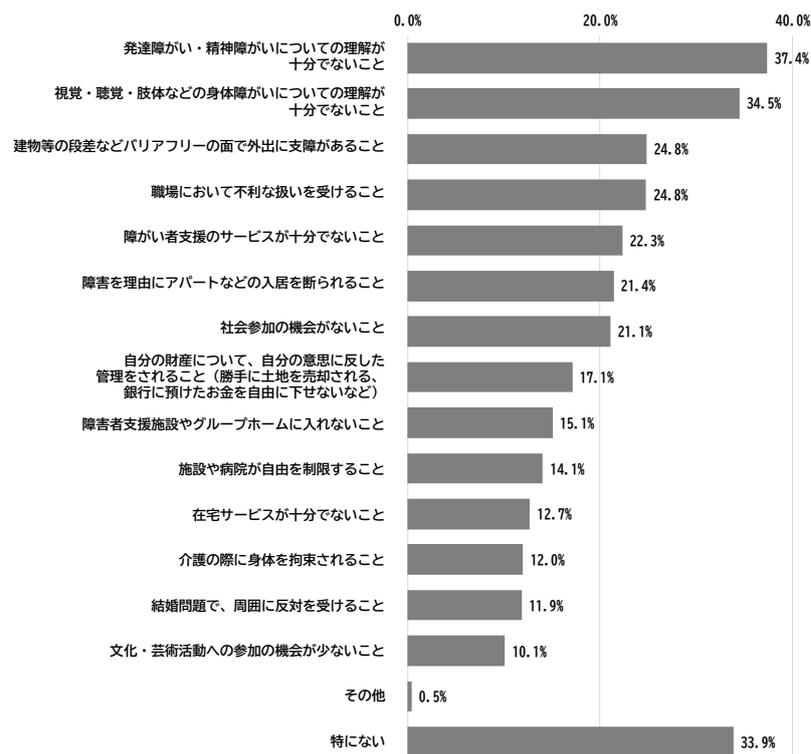
問11 障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

障がい者の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと」の37.4%が最も高く、次いで「視覚・聴覚・肢体などの身体障がいについての理解が十分でないこと」が34.5%となった。「特にない」が33.9%となった。

性別集計において、男女ともに「発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと」が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、全体と同様「発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと」が最も高くなったが、次いで「障がい者支援のサービスが十分でないこと」及び「障害を理由にアパートなどの入居を断られること」が47.1%となった。

【全体集計】 n=3,047

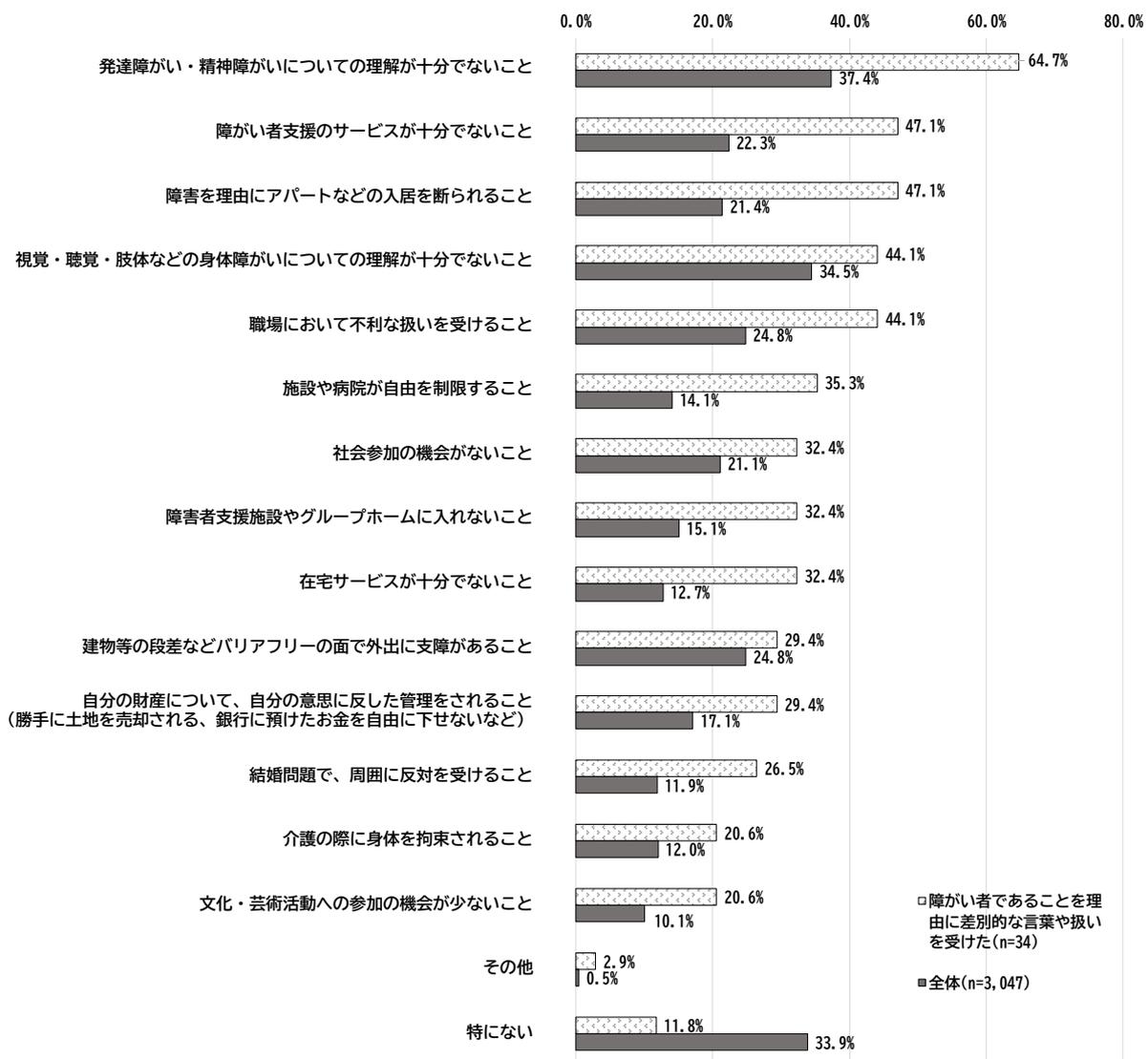


【クロス集計】

■性・年代別

人数	視覚・聴覚・肢体などの身体障がいについての理解が十分でないこと	発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと	職場において不利な受けにくいこと	建物等の段差などバリアフリーの面で外出に支障があること	障がい者支援のサービスが十分でないこと	障害者支援施設やグループホームに入れないこと	障害を理由にアパートなどの入居を断られること	自分の財産について、自分の意思に管理をされること（勝手に土地を売却される、銀行に預けたお金を勝手に下せないなど）	社会参加の機会がないこと	文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	結婚問題で、周囲に反対を受けること	在宅サービスが十分でないこと	施設や病院が自由を制限すること	介護の際に身体を拘束されること	その他	特にな	
全体	3,047	34.5%	37.4%	24.8%	24.8%	22.3%	15.1%	21.4%	17.1%	21.1%	10.1%	11.9%	12.7%	14.1%	12.0%	0.5%	33.9%
男性全体	1,507	32.9%	34.3%	22.8%	22.5%	19.6%	12.9%	18.8%	14.0%	19.5%	9.0%	9.4%	9.8%	11.3%	9.0%	0.5%	36.3%
男性・20代以下	97	25.8%	23.7%	30.9%	17.5%	19.6%	13.4%	15.5%	14.4%	15.5%	6.2%	9.3%	7.2%	7.2%	8.2%	0.0%	36.1%
男性・30代	403	24.6%	28.8%	20.1%	17.6%	17.1%	13.6%	13.9%	11.4%	10.7%	8.4%	6.5%	7.7%	8.2%	5.5%	0.7%	42.2%
男性・40代	153	27.5%	29.4%	20.3%	20.3%	17.0%	12.4%	16.3%	13.7%	16.3%	7.8%	7.2%	5.9%	5.9%	4.6%	0.0%	37.9%
男性・50代	347	33.1%	31.7%	19.9%	19.3%	18.7%	11.2%	16.7%	13.5%	18.7%	7.5%	9.2%	9.2%	10.1%	8.4%	0.6%	38.0%
男性・60代	315	36.5%	40.6%	22.9%	27.6%	21.3%	11.7%	22.5%	15.9%	23.8%	9.2%	10.5%	11.1%	14.6%	10.8%	0.6%	32.7%
男性・70代以上	185	54.1%	51.4%	32.4%	35.7%	25.9%	16.8%	31.4%	17.8%	37.8%	15.1%	16.8%	17.8%	21.6%	19.5%	0.0%	23.2%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	36.6%	40.9%	27.2%	27.5%	25.5%	17.5%	24.4%	20.5%	22.9%	11.4%	14.4%	15.8%	17.1%	15.0%	0.5%	30.9%
女性・20代以下	147	23.1%	32.7%	18.4%	12.2%	17.0%	15.6%	15.6%	15.6%	13.6%	6.1%	8.2%	10.9%	12.9%	8.8%	0.0%	41.5%
女性・30代	353	26.3%	28.3%	24.1%	23.8%	20.1%	16.1%	21.5%	17.6%	15.0%	10.2%	13.6%	14.2%	13.3%	10.2%	0.3%	41.6%
女性・40代	211	30.3%	32.2%	27.0%	24.2%	19.9%	16.1%	21.8%	20.4%	19.4%	8.1%	12.3%	12.3%	14.2%	12.3%	0.0%	39.3%
女性・50代	289	40.1%	46.0%	31.5%	31.8%	26.0%	18.7%	26.3%	21.5%	22.1%	11.8%	15.9%	16.3%	19.4%	16.3%	1.0%	22.5%
女性・60代	316	48.1%	52.8%	30.4%	34.5%	36.1%	19.6%	28.5%	23.1%	31.6%	14.2%	16.8%	19.6%	20.3%	19.3%	0.3%	19.0%
女性・70代以上	184	50.0%	54.3%	29.3%	32.6%	31.5%	18.5%	31.0%	25.0%	37.0%	16.8%	16.8%	20.1%	22.3%	23.4%	1.1%	22.3%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	4.2%	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	70.8%

■問 11 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問 2）のクロス集計
「障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計



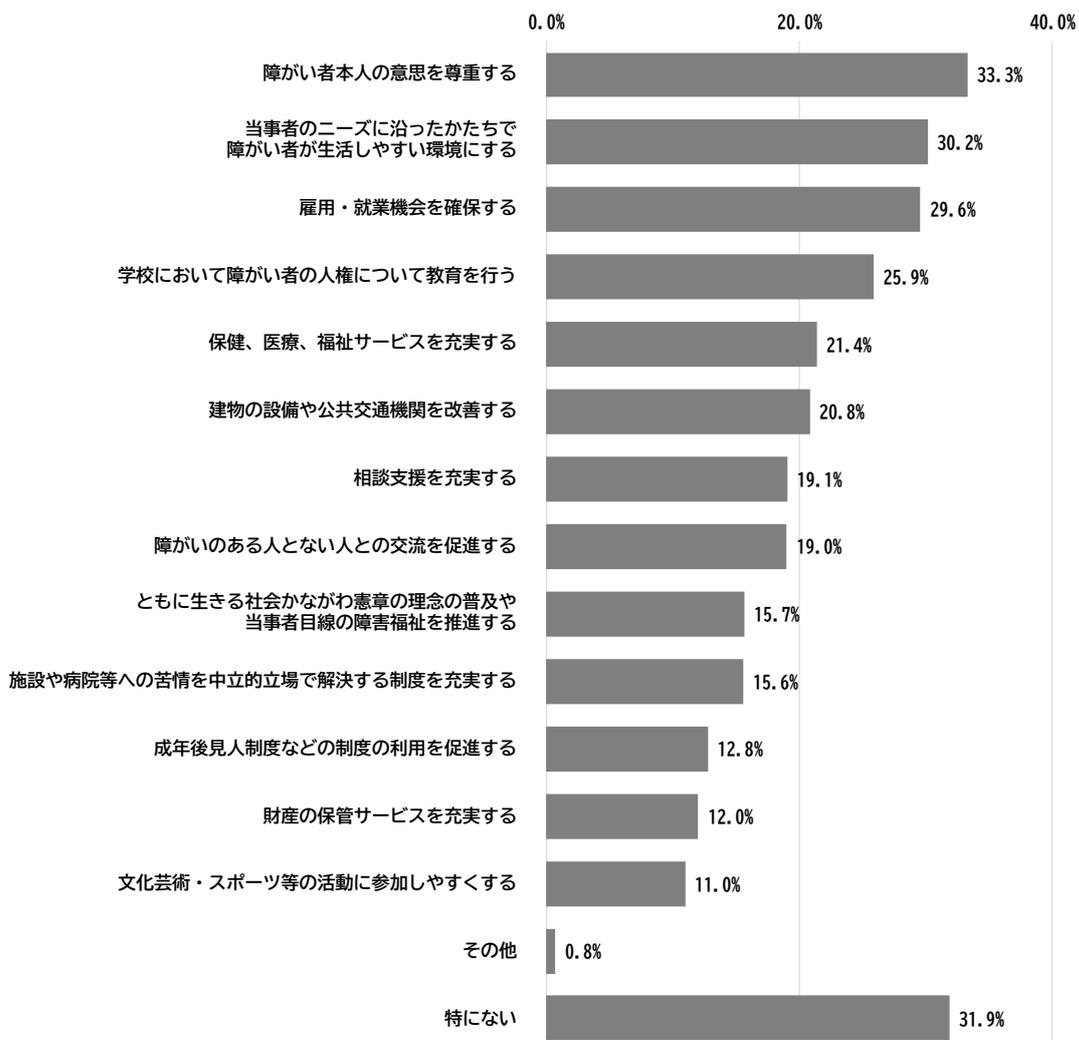
問12 障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくために重要だと思うことは、全体集計において「障がい者本人の意思を尊重する」の33.3%が最も高く、次いで「当事者のニーズに沿ったかたちで障がい者が生活しやすい環境にする」が30.2%となった。「特にない」が31.9%となった。

性別集計において、男女ともに「障がい者本人の意思を尊重する」が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、全体と同じく「障がい者本人の意思を尊重する」が最も高くなったが、一方で、全体では3番目だった「雇用・就業機会を確保する」が47.1%で2番目に多い結果となった。

【全体集計】 n=3,047

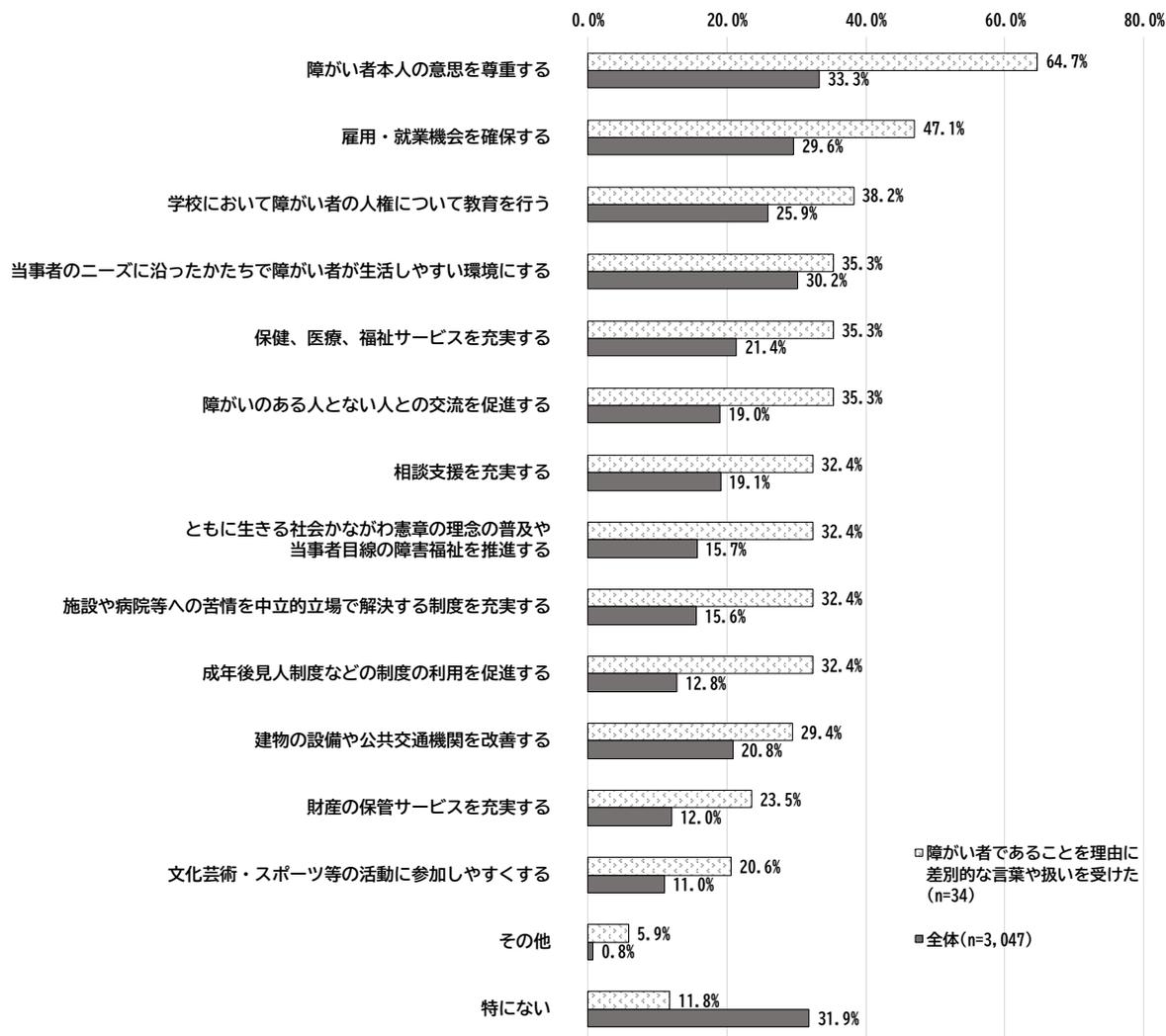


【クロス集計】

■性・年代別

人数	障がい者本人の意思を尊重する	当事者のニーズに沿ったが、障がい者が生活しやすい環境にする	学校において障がい者の人権について教育を行う	雇用・就業機会を確保する	建物の設備や公共交通機関を改善する	保健、医療、福祉サービスを充実させる	障がいのある人とない人との交流を促進する	ともに生きる社会が、なごやかな理念の普及や当事者目線の福祉を推進する	相談支援を充実させる	成年後見人制度などの制度の利用を促進する	文化芸術・スポーツ等の活動に参加しやすくする	財産の保管サービスを充実させる	施設や病院等への苦情を中立的立場で解決する制度を充実させる	その他	特になし	
全体	3,047	33.3%	30.2%	25.9%	29.6%	20.8%	21.4%	19.0%	15.7%	19.1%	12.8%	11.0%	12.0%	15.6%	0.8%	31.9%
男性全体	1,507	32.2%	26.8%	24.4%	26.3%	18.4%	18.7%	17.4%	13.0%	16.2%	10.3%	9.7%	9.2%	12.0%	0.7%	34.7%
男性・20代以下	97	25.8%	21.6%	19.6%	23.7%	19.6%	17.5%	15.5%	16.5%	19.6%	11.3%	12.4%	5.2%	7.2%	0.0%	34.0%
男性・30代	403	25.6%	20.6%	19.4%	20.1%	17.1%	14.9%	14.6%	10.4%	12.4%	9.9%	7.4%	7.4%	10.7%	1.2%	39.5%
男性・40代	153	24.8%	20.9%	22.9%	20.9%	13.7%	15.0%	10.5%	15.0%	12.4%	9.2%	5.9%	7.8%	5.9%	0.0%	40.5%
男性・50代	347	29.1%	26.5%	20.5%	21.6%	13.0%	15.3%	16.4%	10.4%	12.4%	8.4%	9.2%	9.2%	11.2%	0.3%	36.9%
男性・60代	315	37.5%	28.6%	26.7%	33.3%	19.7%	23.5%	19.0%	12.7%	20.0%	10.5%	9.2%	10.5%	14.6%	1.0%	30.8%
男性・70代以上	185	54.1%	46.5%	43.2%	43.8%	33.5%	29.7%	29.7%	21.1%	27.0%	14.6%	18.4%	14.6%	20.0%	0.5%	20.5%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	34.8%	34.0%	27.8%	33.3%	23.5%	24.3%	21.0%	18.5%	22.2%	15.5%	12.5%	15.0%	19.3%	0.9%	28.2%
女性・20代以下	147	25.9%	20.4%	23.1%	20.4%	13.6%	18.4%	14.3%	13.6%	12.2%	11.6%	7.5%	14.3%	11.6%	0.7%	37.4%
女性・30代	353	25.5%	24.4%	21.0%	27.5%	16.7%	22.1%	16.1%	12.5%	16.7%	13.6%	8.5%	13.6%	15.0%	0.6%	40.2%
女性・40代	211	28.0%	29.4%	22.7%	30.3%	21.3%	21.8%	18.5%	13.7%	17.5%	15.2%	10.9%	12.3%	17.5%	0.9%	33.6%
女性・50代	289	35.6%	38.4%	33.2%	32.5%	27.0%	25.3%	22.5%	18.3%	23.9%	19.7%	13.5%	14.2%	21.5%	1.0%	21.1%
女性・60代	316	44.3%	43.7%	33.5%	44.0%	30.1%	29.1%	27.2%	25.6%	29.4%	16.1%	16.5%	17.7%	24.1%	0.6%	17.1%
女性・70代以上	184	52.2%	46.7%	33.7%	42.9%	31.0%	27.7%	26.6%	28.3%	31.5%	15.8%	17.9%	19.0%	25.5%	1.1%	18.5%
女性・年齢不回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	79.2%

■問 12 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計
 「障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計



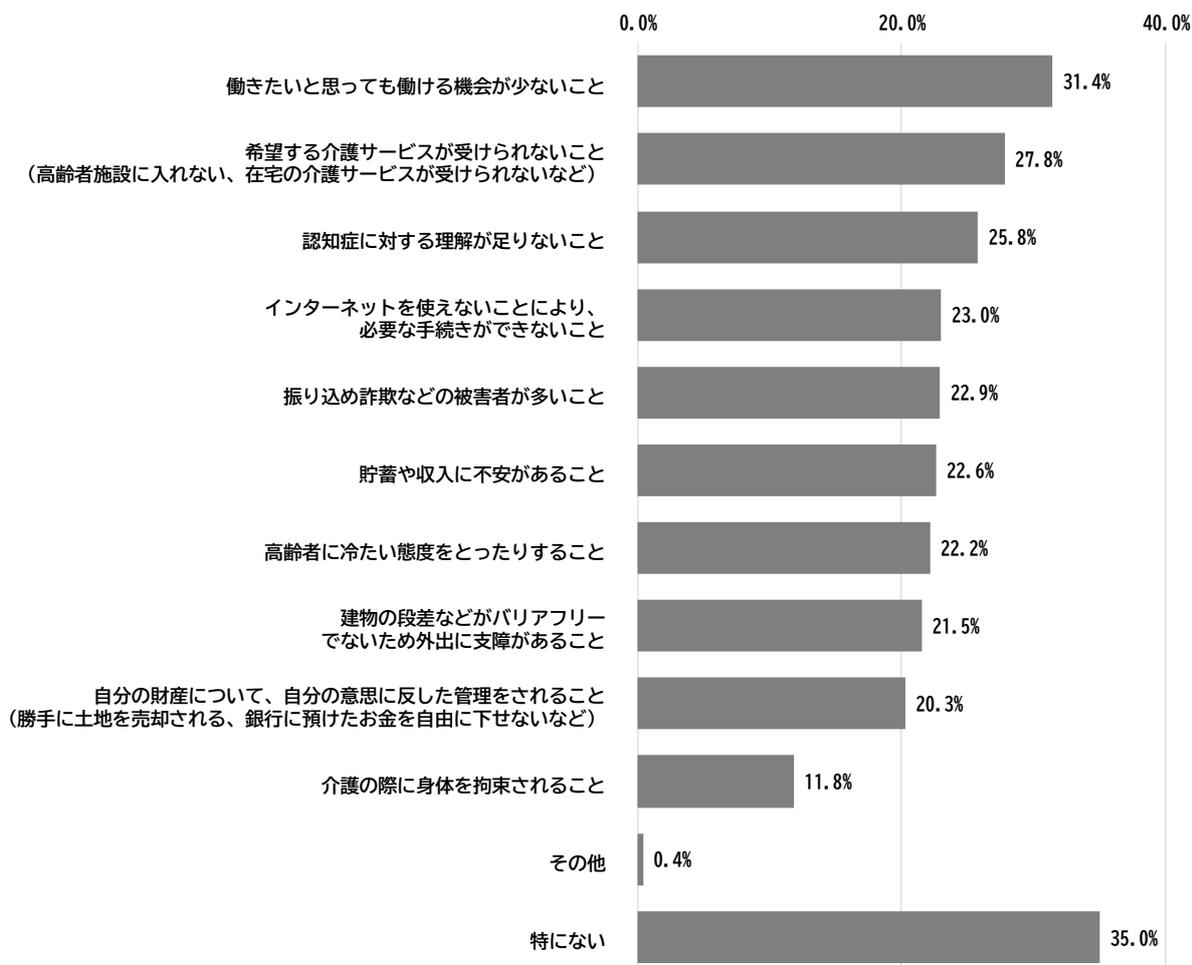
5. 高齢者の人権について

問13 高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「働きたいと思っても働ける機会が少ないこと」の31.4%が最も高く、次いで「希望する介護サービスが受けられないこと（高齢者施設に入れない、在宅の介護サービスが受けられないなど）」が27.8%となった。「特になし」が35.0%となった。

性別集計において、男女ともに「働きたいと思っても働ける機会が少ないこと」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	振り込め詐欺などの被害者が多いこと	貯蓄や収入に不安があること	働きたいと思っても働ける機会が少ないこと	認知症に対する理解が足りないこと	高齢者に冷たい態度をとったりすること	建物の段差などがバリアフリーでないため外出に支障があること	自分の財産について、自分の意思に反した管理をされること（勝手に土地を売却される、銀行に預けたお金を自由に下せないなど）	希望する介護サービスが受けられないこと（高齢者施設に入れない、在宅の介護サービスが受けられないなど）	インターネットを使えないことにより、必要な手続きができないこと	介護の際に身体を拘束されること	その他	特にな
全体	3,047	22.9%	22.6%	31.4%	25.8%	22.2%	21.5%	20.3%	27.8%	23.0%	11.8%	0.4%	35.0%
男性全体	1,507	19.5%	19.7%	27.5%	23.0%	20.0%	18.9%	17.8%	21.9%	17.2%	9.3%	0.5%	38.9%
男性・20代以下	97	20.6%	15.5%	22.7%	20.6%	21.6%	21.6%	16.5%	13.4%	13.4%	7.2%	0.0%	40.2%
男性・30代	403	13.6%	13.9%	16.9%	16.4%	13.9%	17.4%	16.9%	16.9%	9.9%	5.5%	0.2%	49.6%
男性・40代	153	21.6%	18.3%	21.6%	14.4%	19.6%	13.7%	19.6%	15.0%	14.4%	7.2%	0.0%	41.8%
男性・50代	347	19.0%	17.3%	26.5%	22.5%	18.2%	17.0%	14.1%	22.2%	19.0%	8.4%	0.6%	41.2%
男性・60代	315	22.5%	26.7%	36.2%	28.6%	22.9%	20.6%	20.3%	27.0%	21.6%	12.7%	1.0%	29.5%
男性・70代以上	185	26.5%	29.2%	45.9%	37.3%	31.9%	26.5%	22.2%	34.6%	27.0%	16.8%	0.5%	22.2%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	26.6%	25.8%	35.7%	28.9%	24.6%	24.4%	23.1%	34.0%	29.1%	14.5%	0.4%	30.3%
女性・20代以下	147	16.3%	15.0%	23.8%	17.7%	23.8%	15.6%	23.8%	17.7%	20.4%	10.2%	0.0%	43.5%
女性・30代	353	19.0%	17.3%	28.9%	21.5%	19.0%	20.1%	19.8%	23.5%	20.1%	8.8%	0.0%	45.0%
女性・40代	211	20.4%	23.2%	33.2%	22.3%	22.3%	21.8%	19.9%	30.8%	30.8%	11.4%	0.5%	36.0%
女性・50代	289	29.4%	31.1%	39.1%	35.3%	24.9%	30.4%	24.6%	42.2%	33.6%	17.3%	1.7%	21.1%
女性・60代	316	37.3%	37.0%	45.9%	38.6%	30.7%	28.8%	27.5%	44.3%	35.4%	18.4%	0.0%	16.1%
女性・70代以上	184	34.8%	27.2%	39.7%	34.2%	28.3%	26.6%	23.9%	42.4%	34.2%	22.3%	0.0%	20.7%
女性・年齢不回答	10	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	8.3%	8.3%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	83.3%

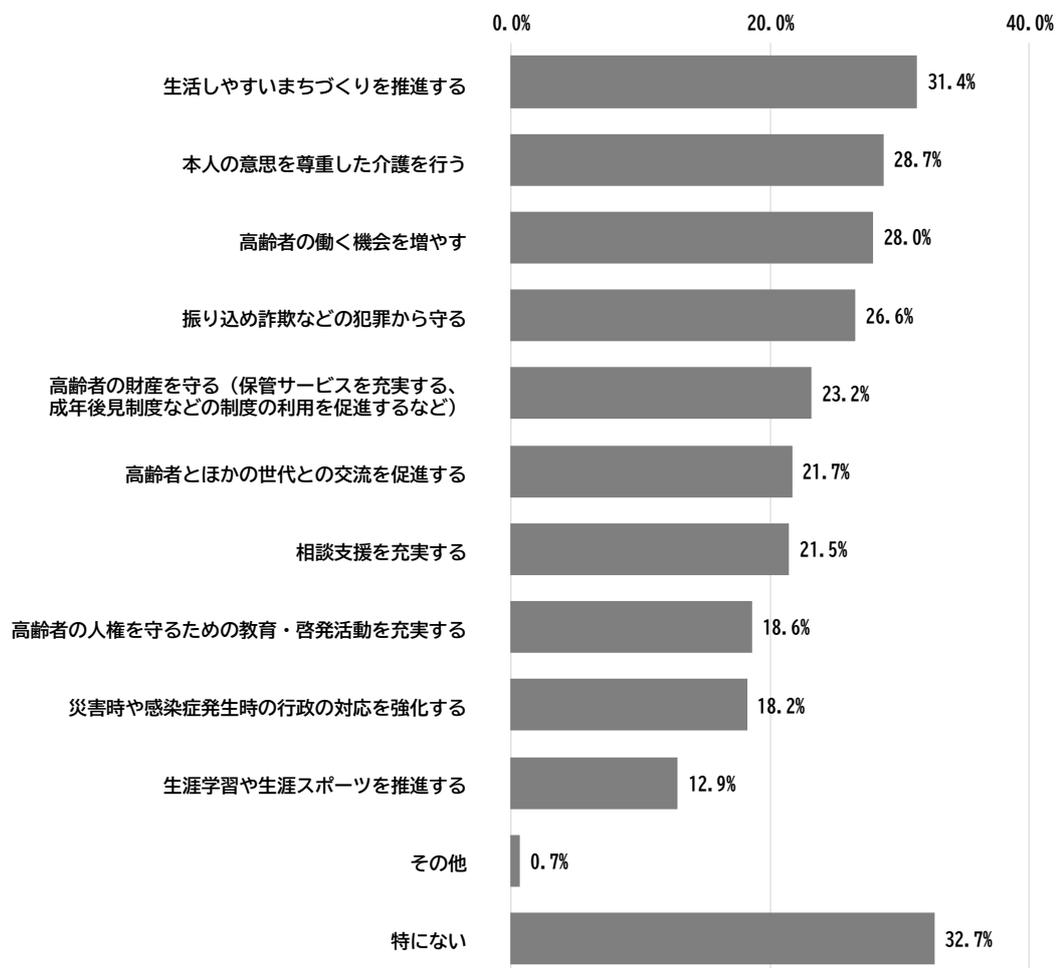
問14 高齢者の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

高齢者の人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「生活しやすいまちづくりを推進する」の31.4%が最も高く、次いで「本人の意思を尊重した介護を行う」が28.7%となった。「特にない」が32.7%となった。

性別集計において、男女ともに「生活しやすいまちづくりを推進する」が最も高くなった。また、「女性」では36.2%であったのに対し、「男性」の27.1%と9.1ポイントの差があった。

性・年代別集計においては、「男性・70代以上」及び「女性・60代」「女性・70代以上」で「本人の意思を尊重した介護を行う」が最も高くなった（ただし、「女性・70代以上」は「生活しやすいまちづくりを推進する」も同率の1位）。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	生活しやす いまち づくりを 推進する	振り込め 詐欺など の犯罪か ら守る	本人の 意思を 尊重し た介護 を行う	高齢者 の働く 機会を 増やす	高齢者 とほか の世代 との交 流を促 進する	高齢者の 財産を守 る（保管 サービス を充実す る、成年 後見制度 などの制 度の利用 を促進す るなど）	相談支 援を充 実する	高齢者 の人権 を守る ための 教育・ 啓発を 充実す る	災害時 や感染 症発生 時の行 政の対 応を強 化する	生涯学 習や生 涯スポ ーツを 推進す る	その他	特にな い
全体	3,047	31.4%	26.6%	28.7%	28.0%	21.7%	23.2%	21.5%	18.6%	18.2%	12.9%	0.7%	32.7%
男性全体	1,507	27.1%	23.2%	26.1%	25.1%	19.4%	20.3%	17.9%	17.4%	14.8%	9.5%	0.6%	36.6%
男性・20代以下	97	21.6%	23.7%	23.7%	28.9%	14.4%	15.5%	16.5%	8.2%	11.3%	8.2%	0.0%	38.1%
男性・30代	403	21.1%	22.1%	16.9%	14.4%	13.4%	16.9%	12.4%	12.7%	11.7%	7.2%	0.7%	44.7%
男性・40代	153	21.6%	19.6%	20.9%	21.6%	17.6%	19.0%	13.7%	16.3%	13.1%	9.2%	0.0%	41.8%
男性・50代	347	28.5%	18.4%	23.6%	24.2%	20.5%	18.4%	16.4%	13.0%	13.3%	9.2%	0.3%	38.9%
男性・60代	315	32.4%	28.3%	29.5%	34.0%	23.5%	24.1%	22.5%	22.2%	16.2%	10.2%	1.0%	28.3%
男性・70代以上	185	36.8%	29.7%	50.8%	36.8%	28.6%	29.2%	29.7%	33.5%	25.9%	15.1%	1.1%	21.6%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	36.2%	30.3%	31.7%	31.1%	24.2%	26.4%	25.3%	20.1%	21.7%	16.4%	0.9%	27.9%
女性・20代以下	147	23.8%	20.4%	16.3%	17.0%	11.6%	19.0%	16.3%	18.4%	15.6%	12.9%	0.7%	42.2%
女性・30代	353	30.6%	22.9%	20.7%	24.4%	19.8%	21.5%	17.3%	14.7%	15.6%	10.8%	0.3%	41.9%
女性・40代	211	32.2%	27.0%	26.1%	28.4%	19.9%	20.4%	21.3%	17.5%	18.5%	16.6%	0.5%	31.8%
女性・50代	289	40.5%	34.9%	37.0%	33.2%	27.0%	31.5%	29.8%	21.8%	23.2%	17.0%	2.4%	19.7%
女性・60代	316	43.7%	38.3%	44.3%	43.0%	31.0%	32.9%	34.8%	25.3%	27.8%	18.4%	0.3%	15.8%
女性・70代以上	184	42.9%	36.4%	42.9%	35.9%	33.2%	31.0%	30.4%	24.5%	29.9%	25.5%	1.1%	15.2%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	0.0%	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	8.3%	0.0%	87.5%

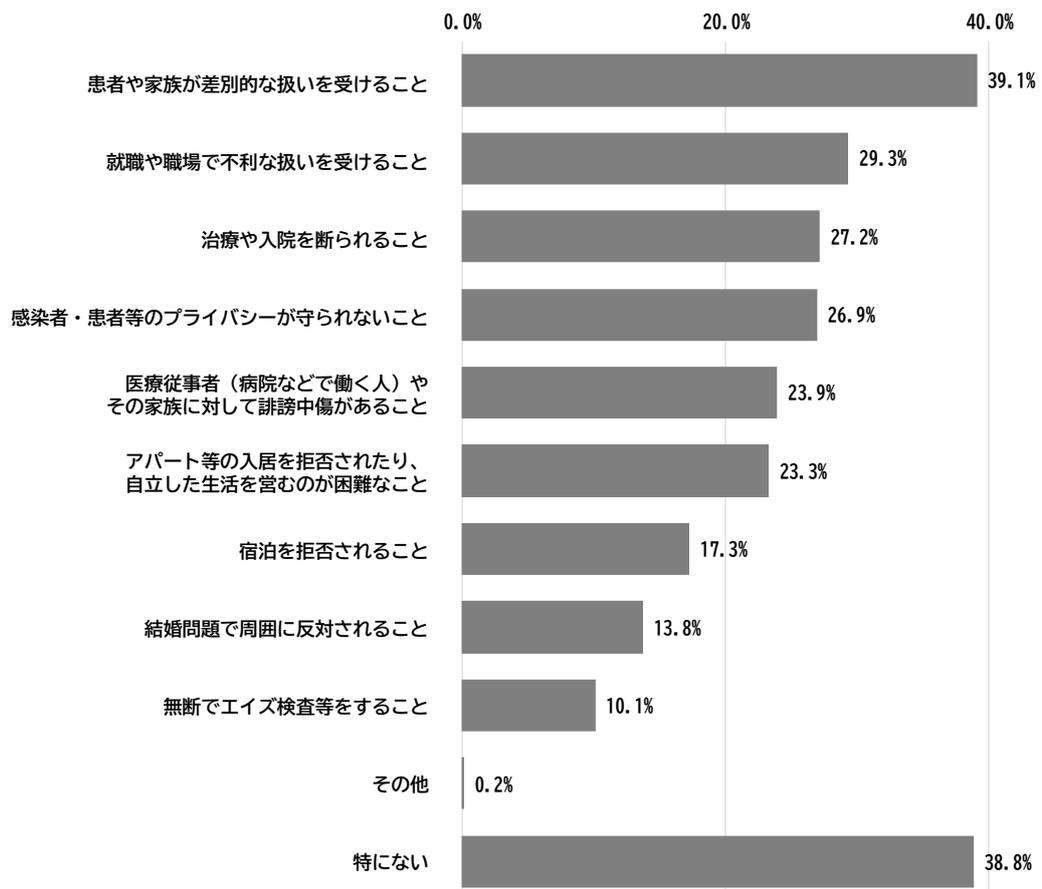
6. 疾病等に関する人権課題について

問15 疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
（複数回答）

疾病等（例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など）の影響で人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「患者や家族が差別的な扱いを受けること」の39.1%が最も高く、次いで「就職や職場で不利な扱いを受けること」が29.3%となった。「特にない」が38.8%となった。

性別集計において、男女ともに「患者や家族が差別的な扱いを受けること」が最も高くなった。また、「女性」では44.1%であったのに対し、「男性」の34.7%と9.4ポイントの差があった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

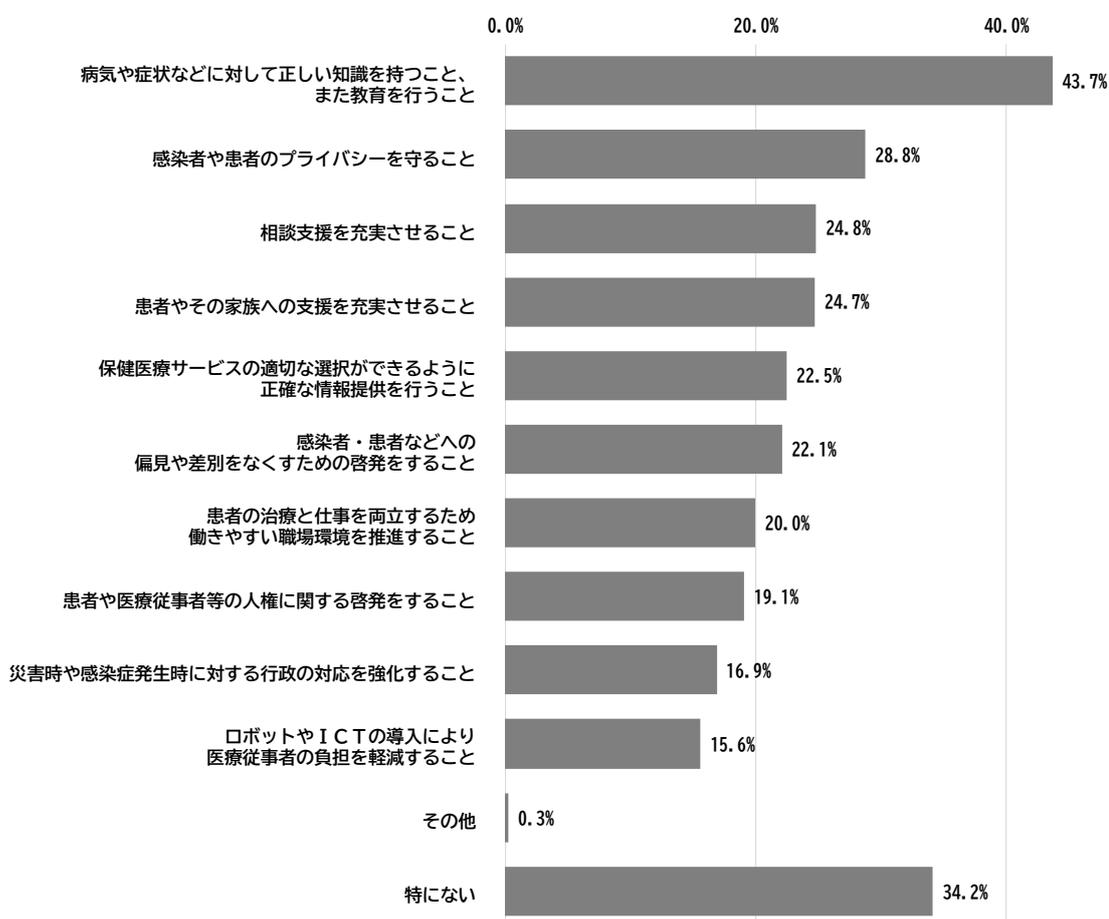
	人数	患者や家族が差別的な扱いを受けること	就職や職場で不利な扱いを受けること	感染者・患者等のプライバシーが守られないこと	治療や入院を断られること	アパート等の入居を拒否されたり、自立した生活を営むのが困難なこと	宿泊を拒否されること	医療従事者（病院などで働く人）やその家族に対して誹謗中傷があること	結婚問題で周囲に反対されること	無断でエイズ検査等をする	その他	特にな
全体	3,047	31.4%	26.6%	28.7%	28.0%	21.7%	23.2%	21.5%	18.6%	18.2%	12.9%	0.7%
男性全体	1,507	34.7%	26.4%	24.5%	25.0%	21.2%	16.0%	20.1%	11.3%	8.2%	0.1%	40.9%
男性・20代以下	97	25.8%	25.8%	23.7%	19.6%	19.6%	14.4%	18.6%	8.2%	9.3%	0.0%	45.4%
男性・30代	403	28.0%	21.6%	20.1%	21.6%	18.1%	14.9%	17.6%	10.7%	6.2%	0.0%	45.9%
男性・40代	153	31.4%	19.0%	22.9%	20.3%	19.6%	13.7%	15.0%	12.4%	8.5%	0.0%	43.8%
男性・50代	347	33.7%	25.1%	22.8%	23.3%	17.6%	16.1%	16.7%	9.8%	7.8%	0.0%	42.4%
男性・60代	315	38.4%	31.4%	28.3%	28.9%	26.7%	16.8%	24.4%	10.5%	8.9%	0.3%	35.2%
男性・70代以上	185	53.0%	38.4%	33.5%	36.8%	28.6%	20.0%	30.3%	18.4%	11.9%	0.5%	30.3%
男性・年齢不回答	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	44.1%	32.7%	29.7%	29.7%	25.7%	18.7%	28.0%	16.3%	12.1%	0.2%	36.0%
女性・20代以下	147	29.3%	23.1%	26.5%	21.1%	14.3%	17.0%	17.7%	11.6%	6.8%	0.0%	41.5%
女性・30代	353	33.1%	24.9%	26.1%	21.8%	19.5%	13.6%	24.6%	13.0%	10.2%	0.0%	49.0%
女性・40代	211	40.3%	34.6%	23.7%	27.0%	27.0%	19.4%	25.1%	17.1%	14.2%	0.5%	42.7%
女性・50代	289	47.8%	34.3%	35.3%	31.8%	31.1%	21.8%	29.4%	16.3%	12.8%	0.7%	27.0%
女性・60代	316	55.4%	38.9%	34.5%	38.6%	30.7%	23.7%	35.1%	22.2%	13.9%	0.0%	26.3%
女性・70代以上	184	58.2%	41.3%	31.0%	37.0%	28.8%	16.3%	33.2%	16.3%	13.6%	0.0%	27.2%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	87.5%

問16 疾病等に係る人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

疾病等に係る人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと」の43.7%が最も高く、次いで「感染者や患者のプライバシーを守ること」が28.8%となった。「特にない」が34.2%となった。

性別集計において、男女ともに「病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと」が最も高くなった。また、「女性」では49.5%であったのに対し、「男性」の38.6%と10.9ポイントの差があった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと	患者やその家族への支援を充実させること	相談支援を実施すること	感染者や患者のプライバシーを守ること	保健医療サービスの適切な選択ができるように正確な情報提供を行うこと	患者や医療従事者等の人権に関する啓発をすること	患者の治療と仕事を両立するための働きやすい職場環境を推進すること	ロボットやICTの導入により医療従事者の負担を軽減すること	災害時や感染症発生時に対する行政の対応を強化すること	感染者・患者などへの偏見や差別をなくすための啓発をすること	その他	特にない
全体	3,047	43.7%	24.7%	24.8%	28.8%	22.5%	19.1%	20.0%	15.6%	16.9%	22.1%	0.3%	34.2%
男性全体	1,507	38.6%	22.0%	22.2%	26.7%	19.0%	18.4%	16.9%	13.5%	12.9%	17.7%	0.3%	37.3%
男性・20代以下	97	24.7%	21.6%	21.6%	25.8%	14.4%	20.6%	19.6%	12.4%	12.4%	13.4%	0.0%	42.3%
男性・30代	403	27.0%	17.9%	15.9%	21.3%	14.6%	16.9%	15.6%	13.9%	10.7%	11.9%	0.2%	43.4%
男性・40代	153	32.0%	19.0%	19.0%	24.2%	17.0%	17.6%	19.0%	13.1%	10.5%	12.4%	0.0%	41.2%
男性・50代	347	38.0%	19.0%	22.2%	25.9%	17.6%	15.3%	11.0%	10.1%	10.4%	17.0%	0.3%	36.9%
男性・60代	315	51.7%	24.4%	26.3%	27.6%	23.2%	21.0%	17.8%	15.6%	14.6%	21.3%	0.3%	30.8%
男性・70代以上	185	56.2%	36.2%	32.4%	41.6%	28.6%	23.2%	27.0%	16.8%	22.7%	31.9%	0.5%	28.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	49.5%	27.8%	27.8%	31.3%	26.4%	20.1%	23.3%	18.0%	20.9%	26.8%	0.3%	30.2%
女性・20代以下	147	26.5%	15.0%	19.0%	23.1%	19.0%	15.0%	17.7%	14.3%	12.2%	18.4%	0.7%	39.5%
女性・30代	353	38.0%	20.7%	21.0%	22.9%	20.7%	16.7%	17.6%	14.4%	13.3%	18.4%	0.0%	43.9%
女性・40代	211	49.3%	24.2%	23.2%	27.0%	19.4%	16.6%	23.2%	14.2%	19.0%	23.2%	0.9%	34.6%
女性・50代	289	55.4%	32.5%	31.5%	35.6%	32.9%	22.8%	26.6%	22.1%	23.2%	24.9%	0.3%	21.8%
女性・60代	316	61.7%	39.9%	36.7%	40.8%	32.0%	25.6%	27.2%	19.9%	25.9%	37.0%	0.0%	19.0%
女性・70代以上	184	62.5%	28.8%	33.2%	37.0%	32.6%	21.7%	28.3%	23.4%	33.2%	40.8%	0.5%	20.7%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%	4.2%	0.0%	87.5%

7. 同和問題（部落差別）について

問17 同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは何ですか。

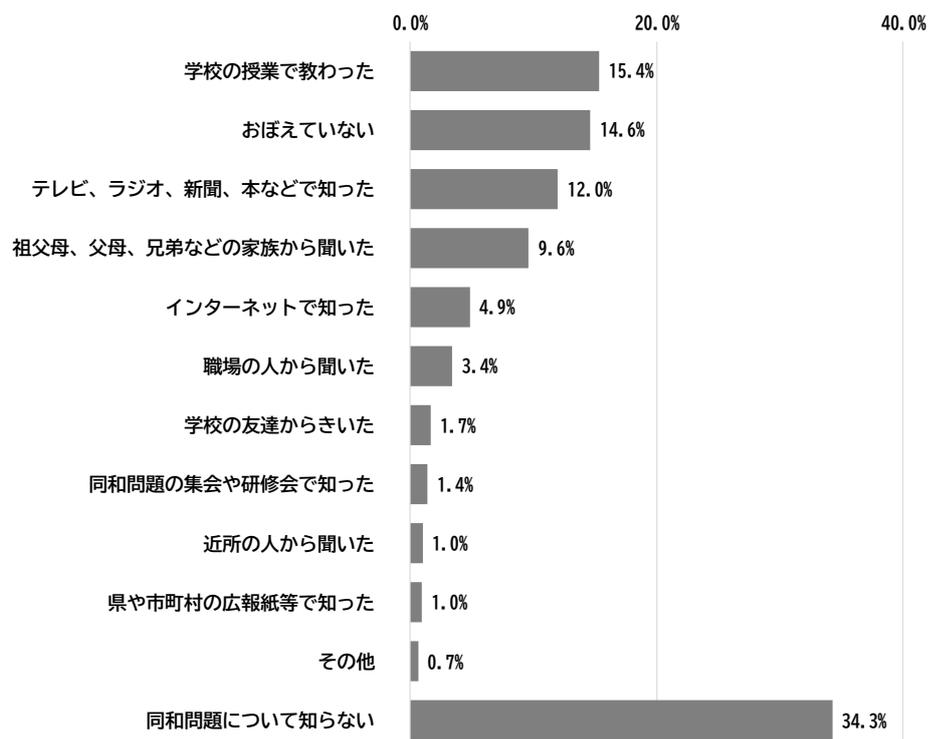
※同和問題（部落差別）とは、一部の人々が、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるといった、わが国固有の人権課題のことをいいます。（単一回答）

同和問題（部落差別）について初めて知ったきっかけは、全体集計において「学校の授業で教わった」の15.4%が最も高く、次いで「おぼえていない」が14.6%となった。「同和問題について知らない」は34.3%となった。

性別集計において、男女ともに「学校の授業で教わった」が最も高くなった。

性・年代別集計においては、「男性・70代以上」及び「女性・70代以上」では「テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った」が最も高い結果となった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	祖父母、 父母、兄 弟などの 家族から 聞いた	近所の人 から聞いた	学校の 友達から 聞いた	学校の 授業で 教わった	職場の 人から 聞いた	テレ ビ、ラ ジオ、 新聞、 本など で知った	イン ター ネット で知った	同和問 題の集 会や研 修会で 知った	県や市 町村の 広報紙 等で 知った	その他	おぼえ ていな い	同和問 題につ いて知 らない
全体	3,047	9.6%	1.0%	1.7%	15.4%	3.4%	12.0%	4.9%	1.4%	1.0%	0.7%	14.6%	34.3%
男性全体	1,507	8.0%	1.2%	2.4%	14.9%	4.0%	13.5%	5.9%	1.9%	1.0%	0.7%	14.5%	32.1%
男性・20代以下	97	3.1%	1.0%	2.1%	12.4%	4.1%	7.2%	12.4%	0.0%	1.0%	0.0%	14.4%	42.3%
男性・30代	403	6.0%	1.2%	2.5%	13.2%	3.5%	9.9%	6.2%	0.7%	0.5%	0.0%	12.9%	43.4%
男性・40代	153	7.2%	2.6%	3.3%	15.0%	2.0%	10.5%	8.5%	0.0%	0.0%	0.7%	7.8%	42.5%
男性・50代	347	7.8%	0.3%	2.0%	20.5%	4.0%	10.4%	4.9%	2.0%	1.2%	0.9%	17.9%	28.2%
男性・60代	315	9.5%	0.6%	1.9%	15.2%	5.4%	16.8%	5.7%	3.8%	1.0%	1.6%	15.2%	23.2%
男性・70代以上	185	13.5%	2.7%	3.2%	9.7%	4.3%	28.1%	1.1%	3.2%	2.7%	0.5%	15.7%	15.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%
女性全体	1,510	11.5%	0.9%	1.0%	16.0%	3.0%	10.6%	3.9%	1.1%	0.9%	0.7%	14.7%	35.9%
女性・20代以下	147	4.1%	2.0%	0.0%	13.6%	4.1%	4.8%	6.1%	1.4%	0.0%	0.0%	12.2%	51.7%
女性・30代	353	6.2%	0.3%	1.1%	14.2%	1.7%	5.4%	4.0%	0.8%	0.3%	0.0%	13.0%	53.0%
女性・40代	211	10.4%	0.0%	0.0%	17.1%	1.9%	6.6%	6.2%	0.5%	0.9%	0.5%	16.1%	39.8%
女性・50代	289	14.5%	1.4%	0.7%	17.3%	3.5%	11.4%	4.2%	0.7%	0.3%	0.3%	17.6%	28.0%
女性・60代	316	13.6%	0.6%	1.9%	19.9%	5.1%	13.9%	3.2%	2.5%	0.9%	1.9%	16.5%	19.9%
女性・70代以上	184	20.7%	1.6%	1.6%	11.4%	1.6%	23.4%	0.5%	0.0%	3.8%	1.1%	11.4%	22.8%
女性・年齢不回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%
性別不回答	24	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	20.8%	66.7%

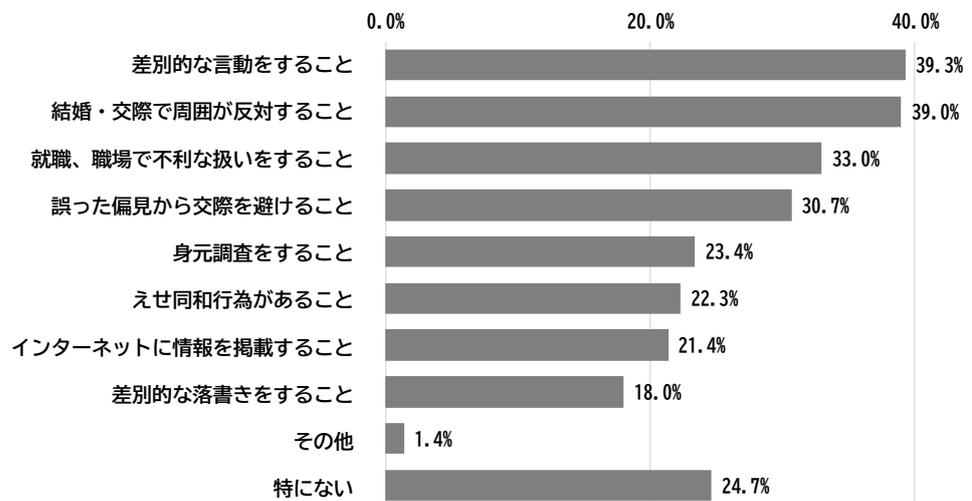
【問 17 で「同和問題について知らない」と答えた方以外】

問18 同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。
（複数回答）

同和問題（部落差別）に関し、現在起きていると思う問題は、全体集計において「差別的な言動をすること」の39.3%が最も高く、次いで「結婚・交際で周囲が反対すること」が39.0%、「就職、職場で不利な扱いをすること」が33.0%となった。

性別集計において、「女性」では「結婚・交際で周囲が反対すること」の45.8%が最も高くなったのに対し、「男性」では「差別的な言動をすること」の36.1%が最も高くなった。

【全体集計】 n=2,003



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	結婚・交際で周囲が反対すること	差別的な言動をすること	就職、職場で不利な扱いをすること	誤った偏見から交際を避けること	身元調査をすること	インターネットに情報を掲載すること	えせ同和行為があること	差別的な落書きをすること	その他	特にない
全体	2,003	39.0%	39.3%	33.0%	30.7%	23.4%	21.4%	22.3%	18.0%	1.4%	24.7%
男性全体	1,023	32.8%	36.1%	30.4%	27.5%	20.4%	20.0%	25.7%	16.8%	1.1%	27.2%
男性・20代以下	56	28.6%	42.9%	33.9%	25.0%	8.9%	12.5%	14.3%	8.9%	0.0%	25.0%
男性・30代	228	21.9%	30.3%	23.2%	24.6%	15.4%	22.8%	20.6%	14.9%	1.3%	29.4%
男性・40代	88	37.5%	36.4%	31.8%	23.9%	21.6%	20.5%	23.9%	12.5%	1.1%	15.9%
男性・50代	249	33.3%	30.5%	28.1%	26.9%	21.3%	19.3%	24.1%	17.7%	1.2%	28.9%
男性・60代	242	36.0%	40.5%	33.9%	29.8%	21.9%	19.8%	28.9%	19.0%	0.8%	28.5%
男性・70代以上	157	42.0%	44.6%	37.6%	32.5%	28.0%	19.7%	36.3%	20.4%	1.3%	25.5%
男性・年齢不回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
女性全体	968	45.8%	43.1%	36.0%	34.4%	26.7%	22.7%	18.7%	19.4%	1.9%	21.7%
女性・20代以下	71	31.0%	33.8%	25.4%	28.2%	25.4%	18.3%	19.7%	12.7%	0.0%	31.0%
女性・30代	166	41.0%	46.4%	29.5%	36.7%	24.1%	20.5%	19.3%	19.9%	1.2%	22.9%
女性・40代	127	41.7%	35.4%	33.1%	26.0%	23.6%	30.7%	16.5%	20.5%	0.8%	31.5%
女性・50代	208	46.6%	43.8%	40.4%	33.7%	30.3%	24.0%	21.2%	18.8%	1.4%	19.7%
女性・60代	253	51.8%	47.8%	41.9%	40.3%	29.2%	21.7%	17.8%	18.6%	2.8%	17.0%
女性・70代以上	142	50.0%	40.8%	33.8%	32.4%	22.5%	19.7%	16.9%	23.2%	3.5%	18.3%
女性・年齢不回答	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他	4	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
性別不回答	8	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%

【問17で「同和問題について知らない」と答えた方以外】

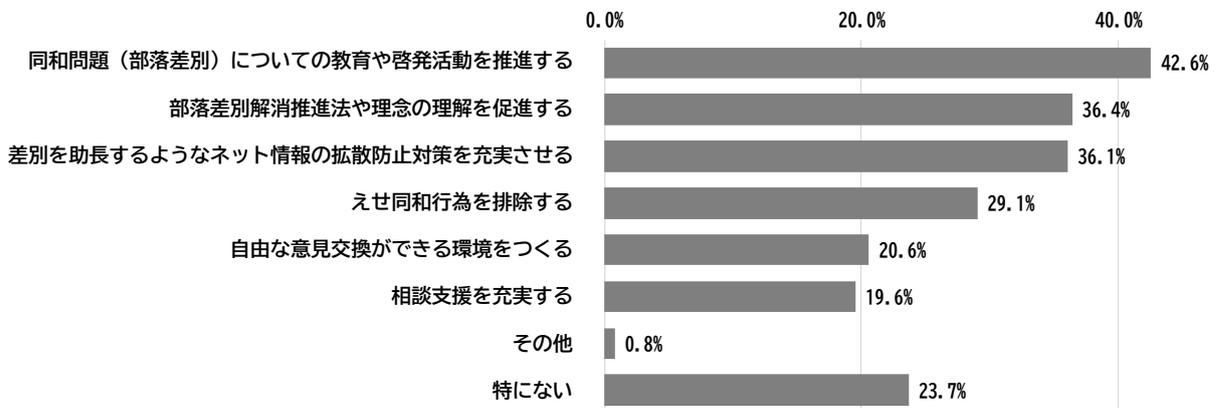
問19 同和問題（部落差別）の解決には、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

同和問題（部落差別）の解決に必要なと思うことは、全体集計において「同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する」の42.6%が最も高く、次いで「部落差別解消推進法や理念の理解を促進する」が36.4%、「差別を助長するようなネット情報の拡散防止対策を充実させる」が36.1%となった。

性別集計において、男女ともに「同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する」が最も高くなった。

性・年代別集計において、「男性・70代以上」「女性・60代」「女性・70代以上」では「同和問題（部落差別）についての教育や啓発活動を推進する」が5割を超えた。

【全体集計】 n=2,003



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	同和問題 (部落差別) についての教育や啓発活動を推進する	部落差別解消推進法や理念の理解を促進する	差別を助長するようなネット情報の拡散防止対策を充実させる	えせ同和行為を排除する	自由な意見交換ができる環境をつくる	相談支援を充実する	その他	特にな い
全体	2,003	42.6%	36.4%	36.1%	29.1%	20.6%	19.6%	0.8%	23.7%
男性全体	1,023	38.4%	33.5%	31.5%	31.6%	18.3%	17.5%	0.8%	26.5%
男性・20代以下	56	35.7%	48.2%	37.5%	16.1%	12.5%	12.5%	0.0%	21.4%
男性・30代	228	28.5%	32.9%	26.3%	30.3%	17.5%	14.5%	1.8%	29.4%
男性・40代	88	44.3%	35.2%	36.4%	30.7%	22.7%	18.2%	0.0%	19.3%
男性・50代	249	36.1%	27.3%	24.5%	27.3%	13.3%	16.1%	0.0%	31.3%
男性・60代	242	40.5%	32.2%	32.6%	31.0%	22.3%	17.8%	0.8%	26.0%
男性・70代以上	157	51.0%	40.8%	43.9%	47.8%	21.0%	25.5%	1.3%	20.4%
男性・年齢不回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
女性全体	968	47.1%	39.9%	41.3%	26.4%	23.1%	21.8%	0.9%	20.5%
女性・20代以下	71	38.0%	29.6%	36.6%	26.8%	21.1%	12.7%	0.0%	31.0%
女性・30代	166	40.4%	31.9%	34.3%	24.1%	22.9%	16.9%	0.6%	28.9%
女性・40代	127	42.5%	38.6%	40.2%	26.8%	21.3%	16.5%	0.0%	27.6%
女性・50代	208	42.8%	38.5%	38.9%	27.9%	21.6%	23.6%	1.4%	20.2%
女性・60代	253	53.8%	46.2%	48.2%	25.7%	23.3%	25.7%	1.6%	14.2%
女性・70代以上	142	57.7%	46.5%	44.4%	28.2%	28.2%	27.5%	0.7%	10.6%
女性・年齢不回答	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
性別不回答	8	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	62.5%

8. 外国籍県民等の人権について

問20 外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

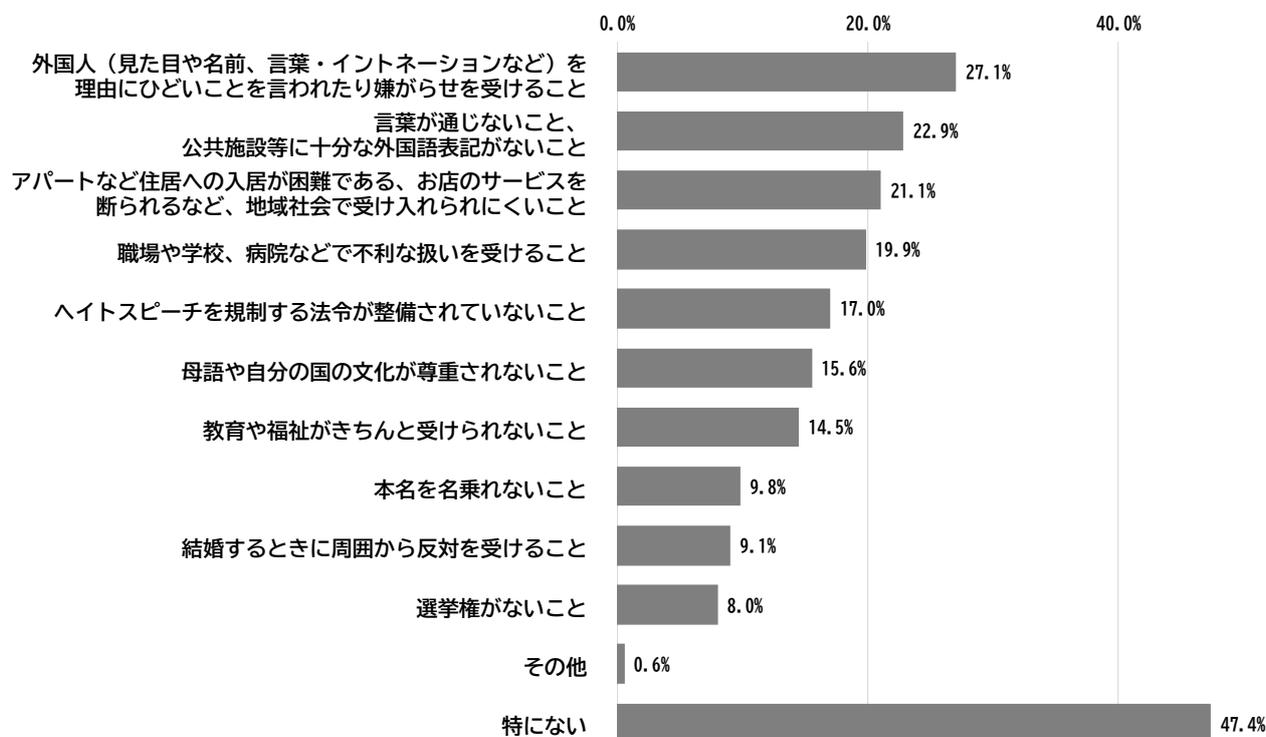
外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「外国人（見た目や名前、言葉・イントネーションなど）を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること」の27.1%が最も高く、次いで「言葉が通じないこと、公共施設等に十分な外国語表記がないこと」が22.9%となった。「特にない」が47.4%となった。

性別集計において、男女ともに「外国人（見た目や名前、言葉・イントネーションなど）を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること」が最も高くなった。

性・年代別集計においては、「男性・70代以上」及び「女性・70代以上」では「言葉が通じないこと、公共施設等に十分な外国語表記がないこと」が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、全体と同様に「外国人（見た目や名前、言葉・イントネーションなど）を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること」が最も高くなったが、次いで「アパートなど住居への入居が困難である、お店のサービスを断られるなど、地域社会で受け入れられにくいこと」が47.2%となった。

【全体集計】 n=3,047

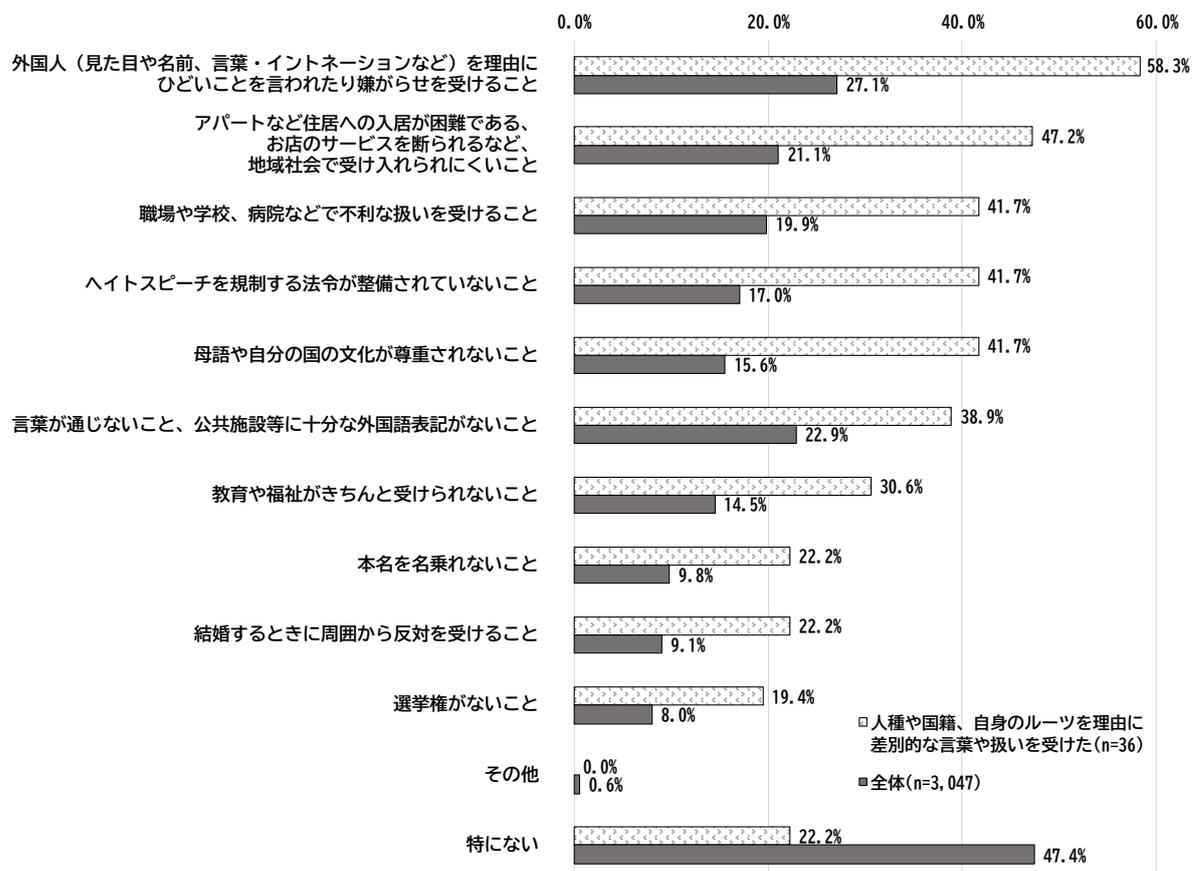


【クロス集計】

■性・年代別

	人数	外国人 (見た目 や名前、 言葉・イ ンターネ ーション などを理 由にひど いことを 言われた り嫌がら せを受ける こと	言葉が通 じないこ と、公共 施設等に 十分な外 国語表記 がないこ と	職場や学 校、病院 などで不 利な扱い を受ける こと	アパート など住居 への入居 が困難で ある、お 店のサー ビスを断 られるな ど、地域 社会で受 け入れら れにくい こと	本名を名 乗れない こと	母語や 自分の文 化が尊重 されない こと	教育や 福祉が きちんと 受けられ ないこと	ハイト スピー チを規 制する 法令が 整備さ れてい ないこ と	選挙権 がない こと	結婚す るとき に周囲 から反 対を受 けるこ と	その他	特にな い
全体	3,047	27.1%	22.9%	19.9%	21.1%	9.8%	15.6%	14.5%	17.0%	8.0%	9.1%	0.6%	47.4%
男性全体	1,507	24.3%	22.1%	16.4%	18.7%	9.7%	14.5%	12.5%	16.6%	7.0%	6.6%	0.5%	49.0%
男性・20代以下	97	24.7%	21.6%	20.6%	21.6%	12.4%	11.3%	16.5%	8.2%	7.2%	4.1%	1.0%	43.3%
男性・30代	403	19.6%	15.1%	11.9%	14.9%	9.9%	9.4%	9.4%	10.7%	6.7%	6.5%	0.7%	56.1%
男性・40代	153	24.8%	19.6%	14.4%	17.6%	8.5%	13.1%	11.8%	12.4%	6.5%	7.8%	0.0%	51.0%
男性・50代	347	22.8%	17.6%	15.3%	13.0%	9.2%	14.1%	9.5%	16.4%	5.5%	5.5%	0.0%	51.6%
男性・60代	315	26.0%	27.3%	18.1%	21.9%	7.6%	17.5%	12.4%	21.3%	6.3%	5.7%	1.0%	45.1%
男性・70代以上	185	34.6%	40.0%	25.4%	32.4%	13.5%	24.3%	24.3%	30.3%	11.9%	10.8%	0.5%	34.6%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	1,510	30.3%	24.0%	23.6%	23.8%	10.1%	16.8%	16.7%	17.7%	9.2%	11.7%	0.6%	45.0%
女性・20代以下	147	21.8%	11.6%	15.6%	10.2%	9.5%	11.6%	9.5%	8.2%	6.8%	10.2%	0.0%	56.5%
女性・30代	353	28.6%	16.7%	19.3%	18.1%	9.3%	13.9%	11.6%	10.8%	7.6%	11.3%	0.3%	56.4%
女性・40代	211	31.3%	23.7%	20.9%	20.9%	9.0%	14.7%	13.7%	15.2%	7.1%	10.4%	0.9%	48.3%
女性・50代	289	30.4%	24.9%	26.0%	29.1%	11.4%	19.4%	17.0%	19.7%	8.7%	12.5%	1.0%	40.1%
女性・60代	316	37.0%	32.0%	29.1%	31.6%	11.1%	19.9%	23.4%	25.6%	11.7%	13.0%	0.3%	33.9%
女性・70代以上	184	28.3%	33.7%	29.3%	28.3%	10.3%	20.7%	24.5%	26.1%	13.6%	11.4%	1.1%	34.8%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	66.7%
性別不回答	24	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%

■問 20 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計
「人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計



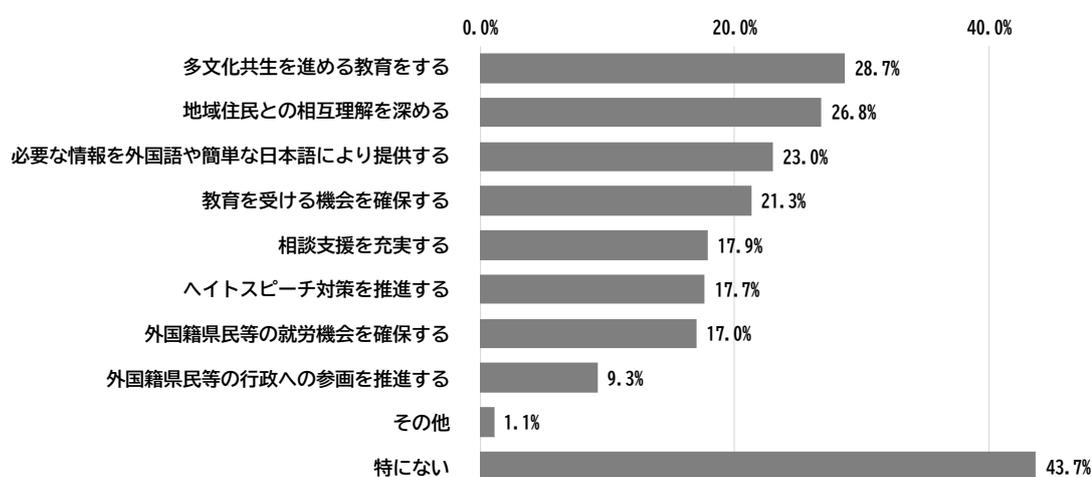
問21 外国籍県民等の人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

外国籍県民等の人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「多文化共生を進める教育をする」の28.7%が最も高く、次いで「地域住民との相互理解を深める」が26.8%となった。「特にない」が43.7%となった。

性別集計において、男女ともに「多文化共生を進める教育をする」が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、全体と同じく「多文化共生を進める教育をする」が最も高くなったが、一方で、全体では7番目だった「外国籍県民等の就労機会を確保する」が41.7%で3番目に多い結果となった。

【全体集計】 n=3,047

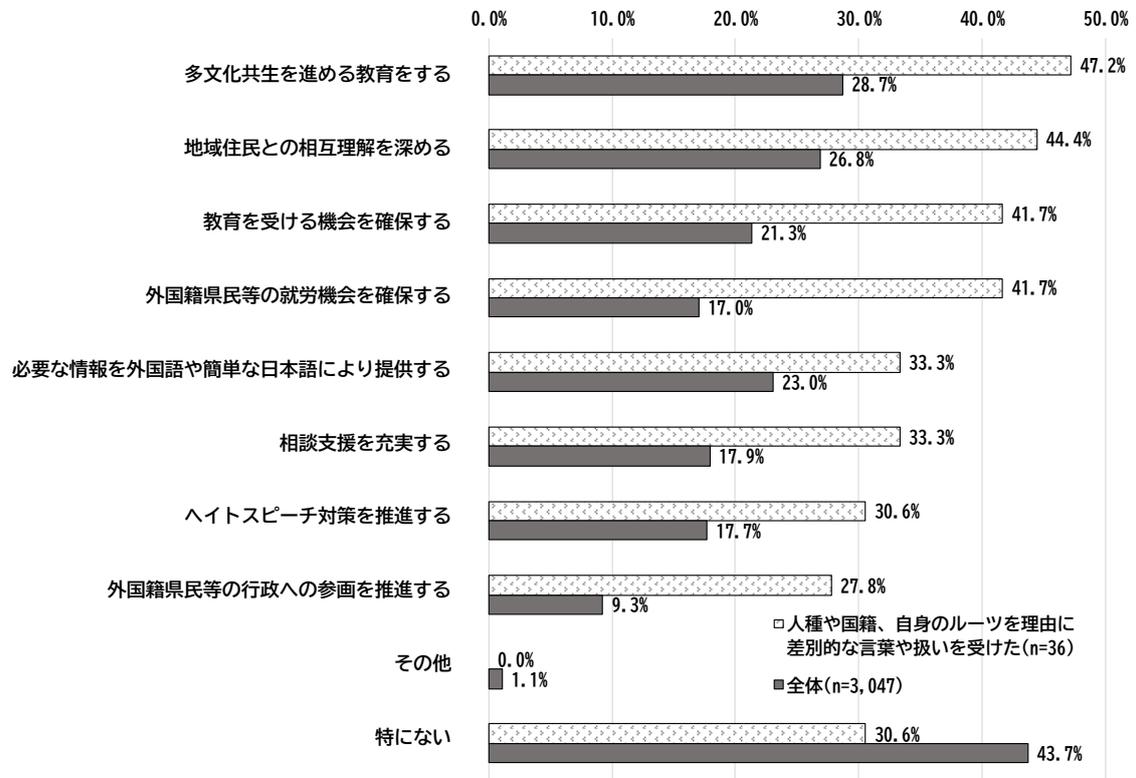


【クロス集計】

■性・年代別

	人数	多文化共生を進める教育をする	地域住民との相互理解を深める	教育を受ける機会を確保する	必要な情報を外国語や簡単な日本語により提供する	外国籍県民等の就労機会を確保する	相談支援を充実する	ヘイトスピーチ対策を推進する	外国籍県民等の行政への参画を推進する	その他	特にない
全体	3,047	28.7%	26.8%	21.3%	23.0%	17.0%	17.9%	17.7%	9.3%	1.1%	43.7%
男性全体	1,507	25.8%	25.5%	19.9%	19.8%	16.5%	15.3%	17.6%	7.6%	1.0%	46.1%
男性・20代以下	97	14.4%	16.5%	18.6%	23.7%	13.4%	8.2%	12.4%	4.1%	1.0%	49.5%
男性・30代	403	16.9%	15.6%	16.6%	14.6%	14.6%	13.6%	13.6%	5.5%	1.7%	53.6%
男性・40代	153	26.1%	21.6%	13.7%	19.0%	14.4%	14.4%	12.4%	7.2%	0.0%	49.0%
男性・50代	347	25.9%	23.6%	18.4%	15.9%	14.4%	12.4%	16.4%	6.3%	1.2%	48.4%
男性・60代	315	31.4%	33.0%	22.9%	20.6%	16.2%	16.8%	21.3%	8.3%	0.6%	41.3%
男性・70代以上	185	41.6%	47.0%	31.4%	36.8%	28.6%	26.5%	29.7%	15.7%	0.5%	28.1%
男性・年齢不回答	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	31.9%	28.5%	23.1%	26.6%	17.8%	20.8%	18.0%	11.1%	1.3%	40.6%
女性・20代以下	147	21.1%	13.6%	17.0%	12.9%	10.2%	12.2%	9.5%	5.4%	0.7%	54.4%
女性・30代	353	24.1%	17.0%	15.9%	17.3%	13.3%	14.4%	11.9%	7.4%	0.8%	55.0%
女性・40代	211	22.7%	27.0%	23.2%	24.6%	14.2%	16.6%	15.6%	8.1%	2.8%	45.0%
女性・50代	289	34.9%	31.8%	23.9%	28.0%	19.0%	23.2%	19.7%	11.1%	1.7%	35.3%
女性・60代	316	42.7%	43.4%	31.0%	36.1%	26.6%	26.9%	24.7%	15.5%	0.9%	26.9%
女性・70代以上	184	44.0%	34.8%	27.7%	40.2%	20.7%	31.5%	26.1%	19.0%	0.5%	26.1%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	66.7%
性別不回答	24	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	83.3%

■問 21 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問2）のクロス集計
「人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計



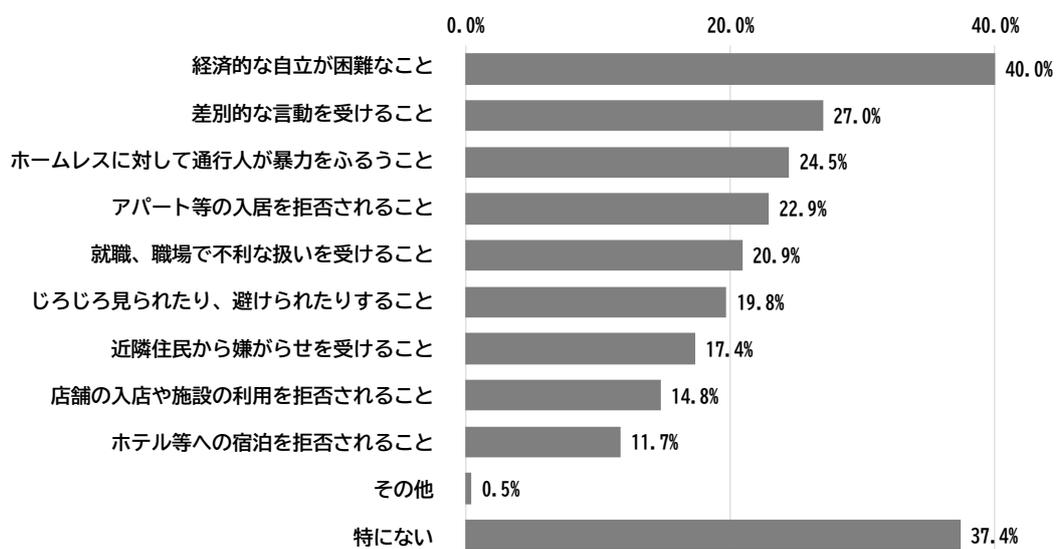
9. 貧困等に関する人権課題について

問22 貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数回答）

貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「経済的な自立が困難なこと」の40.0%が最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」が27.0%となった。「特にない」が37.4%となった。

性別集計において、男女ともに「経済的な自立が困難なこと」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

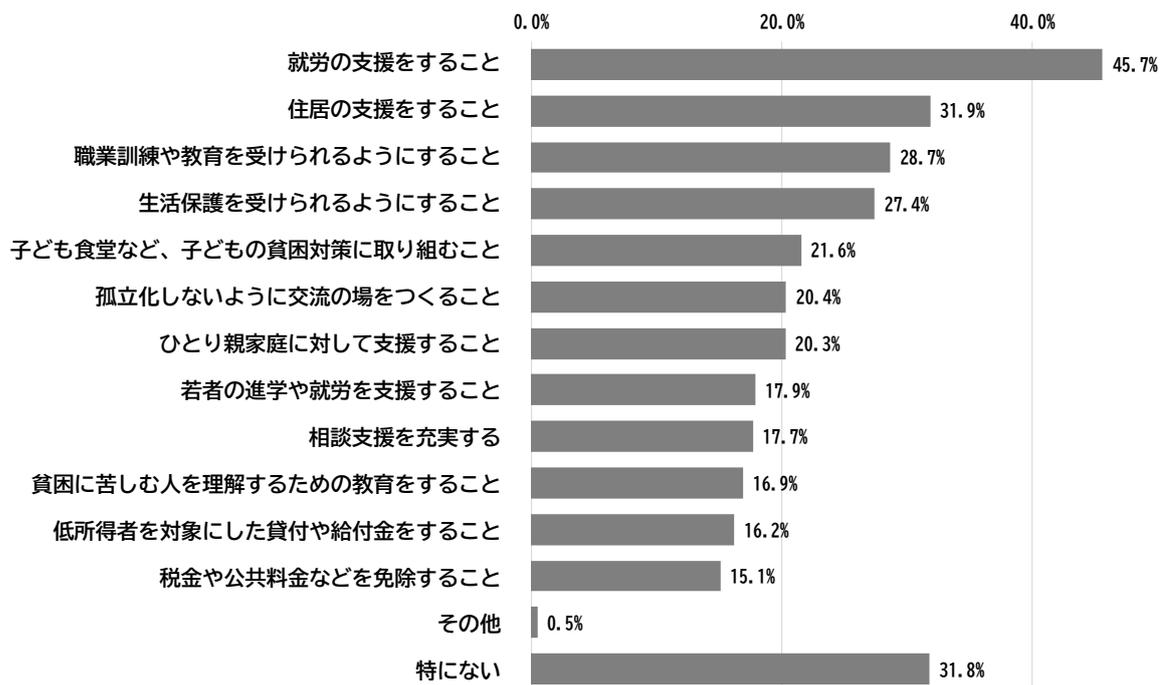
	人数	経済的な自立が困難なこと	ホームレスに対して通行人が暴力をふるうこと	差別的な言動を受けること	じろじろ見られたり、避けられたりすること	就職、職場で不利な扱いを受けること	近隣住人から嫌がらせを受けること	アパート等の入居を拒否されること	店舗の入店や施設の利用を拒否されること	ホテル等への宿泊を拒否されること	その他	特にない
全体	3,047	40.0%	24.5%	27.0%	19.8%	20.9%	17.4%	22.9%	14.8%	11.7%	0.5%	37.4%
男性全体	1,507	37.4%	22.8%	25.6%	18.5%	18.4%	16.7%	19.6%	13.3%	10.4%	0.4%	39.4%
男性・20代以下	97	25.8%	25.8%	23.7%	24.7%	21.6%	18.6%	17.5%	13.4%	10.3%	0.0%	40.2%
男性・30代	403	30.3%	17.9%	21.1%	16.6%	18.4%	16.1%	15.4%	11.2%	9.2%	0.5%	44.7%
男性・40代	153	35.3%	23.5%	20.9%	13.7%	11.1%	18.3%	20.3%	10.5%	7.2%	0.0%	38.6%
男性・50代	347	36.6%	23.3%	22.8%	17.3%	15.6%	13.5%	18.4%	11.5%	9.8%	0.6%	41.2%
男性・60代	315	42.2%	23.2%	28.6%	19.7%	18.1%	14.9%	20.0%	13.3%	10.5%	0.3%	35.9%
男性・70代以上	185	54.6%	30.8%	41.6%	24.3%	29.2%	25.4%	31.9%	23.8%	17.3%	0.5%	29.2%
男性・年齢不回答	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	43.2%	26.6%	28.8%	21.3%	23.7%	18.3%	26.6%	16.6%	13.2%	0.6%	34.6%
女性・20代以下	147	29.9%	21.1%	18.4%	19.0%	17.7%	12.9%	16.3%	12.9%	9.5%	0.0%	44.9%
女性・30代	353	32.6%	20.7%	22.4%	18.4%	19.0%	15.3%	20.4%	12.2%	10.8%	0.0%	45.3%
女性・40代	211	38.9%	24.6%	26.1%	17.1%	19.9%	18.5%	25.6%	16.6%	14.2%	0.5%	40.8%
女性・50代	289	50.2%	26.3%	33.9%	23.5%	26.3%	17.6%	27.3%	17.6%	15.2%	1.4%	28.4%
女性・60代	316	54.1%	36.4%	35.1%	24.1%	30.7%	21.8%	35.4%	19.6%	15.2%	0.3%	23.4%
女性・70代以上	184	51.1%	28.8%	34.8%	25.5%	26.6%	23.4%	32.1%	21.7%	14.1%	1.6%	25.0%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	66.7%
性別不回答	24	12.5%	0.0%	8.3%	4.2%	8.3%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	79.2%

問23 貧困等にかかる人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

貧困等にかかる人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「就労の支援をすること」の45.7%が最も高く、次いで「住居の支援をすること」が31.9%となった。「特にない」が31.8%となった。

性別集計において、男女ともに「就労の支援をすること」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	就労の支援をすること	住居の支援をすること	生活保護を受けられるようにすること	職業訓練や教育を受けられるようにすること	税金や公的な共済金を免除すること	孤立化しないよう交流の場をつくること	貧困に苦しむ人理解するための教育をすること	ひとり親家庭に対して支援をすること	子ども食堂など、子どもの貧困対策に取り組むこと	若者の進学や就労を支援すること	低所得者を対象にした貸付や給付金をすること	相談支援を充実させること	その他	特になし
全体	3,047	45.7%	31.9%	27.4%	28.7%	15.1%	20.4%	16.9%	20.3%	21.6%	17.9%	16.2%	17.7%	0.5%	31.8%
男性全体	1,507	42.0%	29.2%	26.2%	26.3%	14.7%	18.8%	15.4%	17.6%	18.6%	14.0%	14.0%	13.7%	0.3%	34.0%
男性・20代以下	97	38.1%	27.8%	29.9%	22.7%	15.5%	24.7%	18.6%	14.4%	17.5%	12.4%	14.4%	9.3%	0.0%	33.0%
男性・30代	403	35.2%	25.3%	21.6%	20.3%	15.4%	13.9%	13.4%	14.1%	14.9%	13.2%	13.4%	10.4%	0.2%	38.0%
男性・40代	153	35.9%	28.1%	24.2%	22.9%	18.3%	20.3%	18.3%	19.0%	13.1%	11.8%	9.8%	11.8%	0.0%	37.9%
男性・50代	347	43.5%	27.4%	24.5%	25.9%	13.0%	14.1%	13.0%	15.3%	17.3%	12.4%	11.5%	12.4%	0.3%	36.0%
男性・60代	315	44.1%	29.5%	26.3%	27.9%	14.0%	20.3%	16.8%	17.5%	20.0%	14.6%	14.6%	15.9%	0.6%	31.4%
男性・70代以上	185	58.4%	43.2%	40.0%	42.7%	15.1%	31.9%	18.4%	30.8%	33.0%	21.1%	22.7%	23.8%	0.0%	21.1%
男性・年齢不回答	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	49.9%	35.1%	29.1%	31.6%	15.7%	22.3%	18.7%	23.2%	24.8%	22.1%	18.7%	22.0%	0.8%	28.9%
女性・20代以下	147	31.3%	19.0%	16.3%	18.4%	12.9%	13.6%	11.6%	17.0%	17.7%	12.9%	9.5%	11.6%	1.4%	42.9%
女性・30代	353	38.2%	24.4%	21.5%	24.1%	15.0%	17.0%	16.4%	18.4%	20.4%	18.7%	12.7%	14.7%	0.8%	40.8%
女性・40代	211	45.5%	33.2%	23.7%	27.0%	12.8%	22.7%	16.1%	19.9%	19.9%	21.8%	15.6%	20.9%	0.5%	34.1%
女性・50代	289	54.7%	39.8%	30.1%	33.6%	18.0%	24.6%	22.1%	26.6%	25.6%	24.2%	20.8%	23.2%	1.4%	21.8%
女性・60代	316	63.6%	50.0%	41.5%	40.8%	18.4%	25.0%	23.4%	25.3%	30.1%	27.2%	24.7%	27.5%	0.3%	17.1%
女性・70代以上	184	63.0%	39.1%	38.0%	44.0%	14.7%	31.5%	18.5%	32.6%	34.8%	25.0%	28.3%	34.8%	0.5%	17.4%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	79.2%

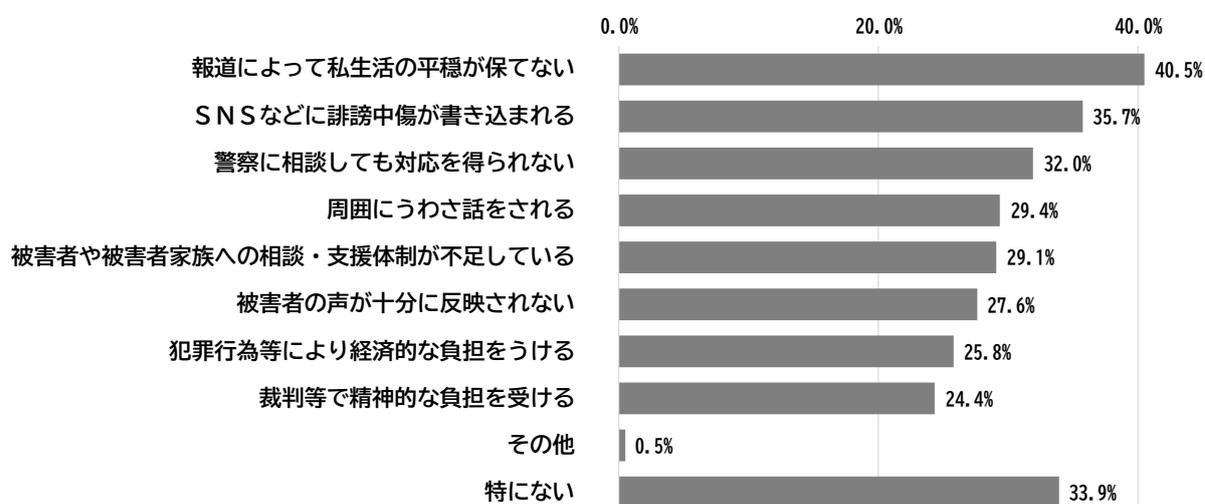
10. 犯罪被害者等の人権について

問24 犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(複数回答)

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「報道によって私生活の平穏が保てない」の40.5%が最も高く、次いで「SNSなどに誹謗中傷が書き込まれる」が35.7%となった。「特にない」が33.9%となった。

性別集計において、男女ともに「報道によって私生活の平穏が保てない」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

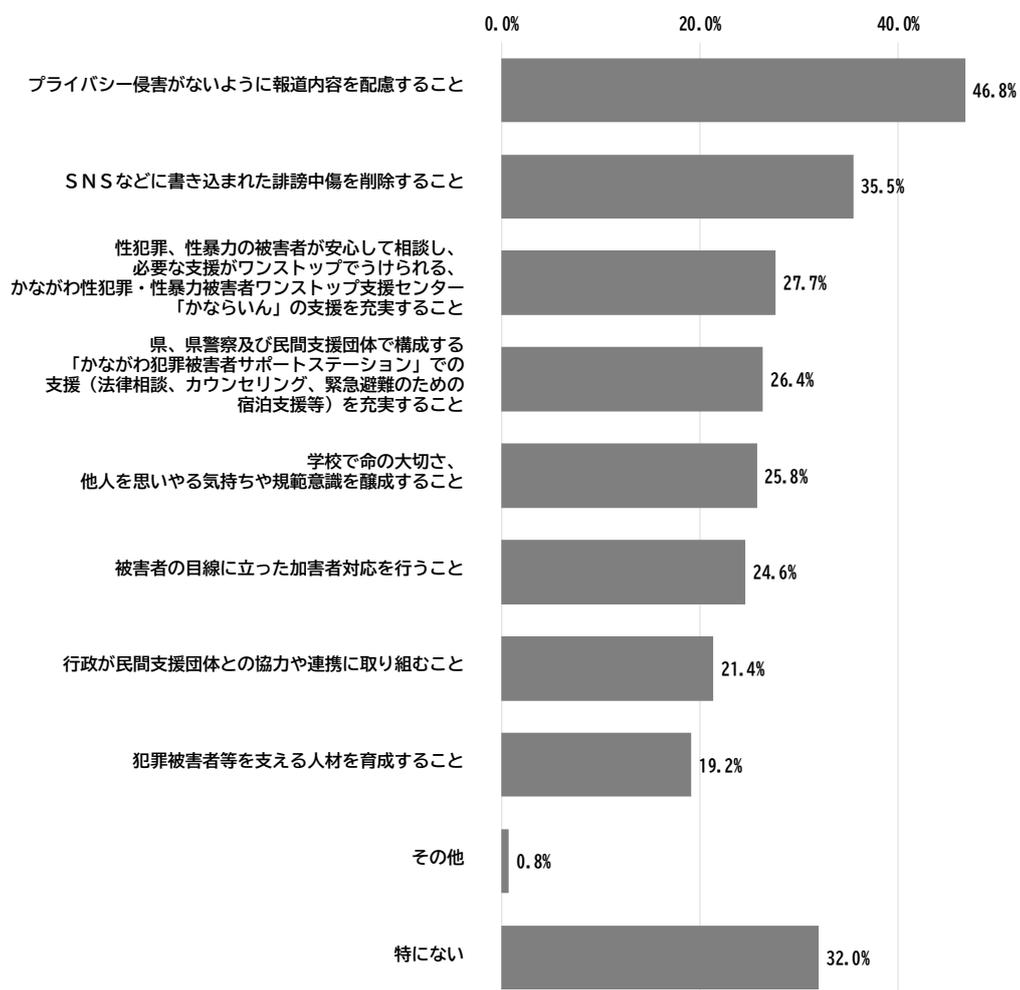
	人数	報道によって私生活の平穏が保てない	周囲にうわさ話される	SNSなどに誹謗中傷が書き込まれる	警察に相談しても対応を得られない	被害者や被害者家族への相談・支援体制が不足している	裁判等で精神的な負担を受ける	犯罪行為等により経済的な負担をうける	被害者の声が十分に反映されない	その他	特にない
全体	3,047	40.5%	29.4%	35.7%	32.0%	29.1%	24.4%	25.8%	27.6%	0.5%	33.9%
男性全体	1,507	38.1%	26.0%	31.9%	29.3%	26.7%	20.3%	23.0%	23.4%	0.7%	36.4%
男性・20代以下	97	26.8%	25.8%	37.1%	25.8%	16.5%	18.6%	17.5%	16.5%	1.0%	37.1%
男性・30代	403	28.0%	21.6%	25.1%	22.8%	22.8%	20.3%	20.1%	18.4%	0.7%	45.4%
男性・40代	153	35.9%	20.9%	26.1%	28.1%	26.1%	19.0%	17.6%	19.6%	0.7%	37.9%
男性・50代	347	39.2%	27.7%	32.9%	30.0%	23.9%	19.9%	21.3%	23.3%	0.6%	37.2%
男性・60代	315	47.3%	28.3%	36.8%	35.6%	31.4%	23.5%	26.3%	26.7%	0.6%	29.5%
男性・70代以上	185	50.8%	34.1%	39.5%	35.7%	39.5%	18.4%	35.1%	35.7%	0.5%	23.8%
男性・年齢不回答	7	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%
女性全体	1,510	43.5%	33.2%	40.1%	35.0%	31.7%	28.7%	28.9%	32.1%	0.3%	30.7%
女性・20代以下	147	30.6%	21.1%	27.2%	25.9%	19.7%	21.8%	17.7%	19.0%	0.0%	44.9%
女性・30代	353	35.1%	26.9%	35.7%	30.9%	27.2%	27.5%	27.2%	26.3%	0.0%	42.2%
女性・40代	211	38.9%	30.3%	37.0%	37.4%	30.8%	29.4%	28.0%	31.8%	0.0%	34.6%
女性・50代	289	48.8%	37.4%	44.6%	37.7%	37.7%	33.6%	36.7%	36.3%	1.4%	21.8%
女性・60代	316	53.5%	44.6%	49.1%	38.0%	36.4%	31.6%	30.7%	37.3%	0.0%	19.0%
女性・70代以上	184	51.6%	33.2%	41.8%	39.7%	34.8%	23.9%	27.7%	39.1%	0.0%	23.9%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	66.7%	50.0%	50.0%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	79.2%

問25 犯罪被害者等の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること」の46.8%が最も高く、次いで「SNSなどに書き込まれた誹謗中傷を削除すること」が35.5%となった。「特にない」が32.0%となった。

性別集計において、男女ともに「プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること」が最も高くなった。また、「女性」では53.0%であったのに対し、「男性」の41.1%と11.9ポイントの差があった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること	SNSなどに書き込まれた誹謗中傷を削除すること	学校の命の大切さ、他人を思いやる気持ちや規範意識を醸成すること	行政が民間支援団体との協力や連携に取り組むこと	県、県警察及び民間支援団体で構成する「かながわ犯罪被害者サポートステーション」での支援（法律相談、カウンセリング、緊急避難のための宿泊支援等）を充実すること	性犯罪、性暴力の被害者が安心して相談し、必要な支援がワンストップでうけられる、かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かながわ」の支援を充実すること	犯罪被害者等を支える人材を育成すること	被害者の目線に立った加害者対応を行うこと	その他	特にない
全体	3,047	46.8%	35.5%	25.8%	21.4%	26.4%	27.7%	19.2%	24.6%	0.8%	32.0%
男性全体	1,507	41.1%	31.6%	24.0%	19.7%	24.4%	23.2%	16.3%	21.8%	1.0%	34.9%
男性・20代以下	97	35.1%	34.0%	24.7%	17.5%	23.7%	19.6%	12.4%	20.6%	1.0%	33.0%
男性・30代	403	31.5%	25.3%	17.6%	16.6%	22.6%	18.6%	14.6%	16.9%	0.7%	42.2%
男性・40代	153	35.3%	20.3%	27.5%	19.6%	24.8%	17.0%	10.5%	17.0%	1.3%	38.6%
男性・50代	347	41.2%	28.8%	19.6%	19.3%	21.3%	23.9%	15.6%	19.6%	1.4%	35.4%
男性・60代	315	49.2%	39.0%	26.0%	21.6%	26.7%	25.7%	19.0%	28.3%	0.6%	29.8%
男性・70代以上	185	56.8%	47.0%	40.5%	25.9%	30.8%	35.7%	23.8%	31.4%	1.1%	23.2%
男性・年齢不回答	7	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
女性全体	1,510	53.0%	39.7%	27.9%	23.3%	28.6%	32.5%	22.3%	27.7%	0.5%	28.3%
女性・20代以下	147	34.7%	23.8%	14.3%	18.4%	22.4%	23.8%	13.6%	17.7%	0.7%	38.1%
女性・30代	353	46.5%	36.0%	23.5%	19.0%	24.4%	28.0%	18.4%	22.7%	0.3%	39.7%
女性・40代	211	43.1%	32.7%	26.5%	22.3%	24.6%	27.0%	21.3%	27.0%	0.5%	33.2%
女性・50代	289	58.5%	42.6%	32.9%	24.6%	33.2%	36.0%	28.0%	31.5%	0.7%	19.0%
女性・60代	316	67.4%	50.3%	34.8%	29.1%	31.6%	38.6%	25.6%	34.2%	0.3%	18.0%
女性・70代以上	184	60.3%	46.7%	30.4%	25.5%	34.8%	39.1%	23.9%	29.9%	1.1%	22.3%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	50.0%	50.0%	16.7%	33.3%	50.0%	50.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	8.3%	8.3%	0.0%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	79.2%

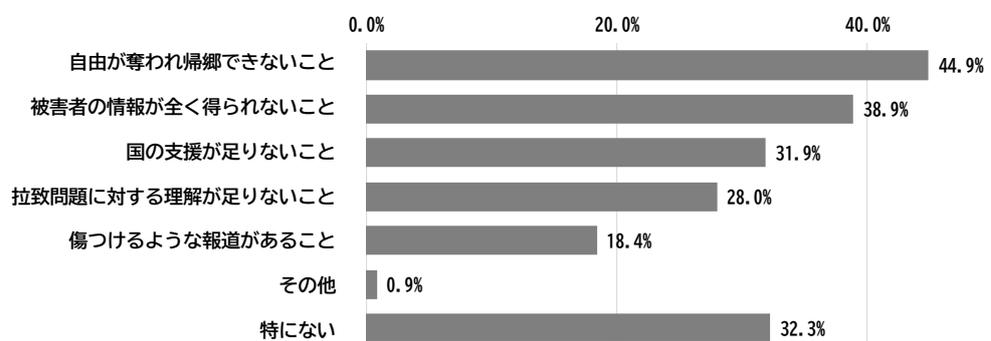
11. 北朝鮮当局による拉致問題に関する人権課題について

問26 北朝鮮当局による拉致問題について、どのようなことが人権課題だと思いますか。
(複数回答)

北朝鮮当局による拉致問題について人権課題だと思うことは、全体集計において「自由が奪われ帰郷できないこと」の44.9%が最も高く、次いで「被害者の情報が全く得られないこと」が38.9%となった。「特にない」が32.3%となった。

性別集計において、男女ともに「自由が奪われ帰郷できないこと」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	被害者の情報が全く得られないこと	自由が奪われ帰郷できないこと	国の支援が足りないこと	拉致問題に対する理解が足りないこと	傷つけるような報道があること	その他	特にない
全体	3,047	38.9%	44.9%	31.9%	28.0%	18.4%	0.9%	32.3%
男性全体	1,507	36.0%	42.7%	31.3%	25.2%	17.3%	0.8%	34.4%
男性・20代以下	97	28.9%	48.5%	21.6%	24.7%	10.3%	0.0%	39.2%
男性・30代	403	26.6%	36.0%	25.3%	24.3%	16.9%	0.5%	42.7%
男性・40代	153	32.7%	34.6%	29.4%	23.5%	17.6%	0.0%	37.3%
男性・50代	347	36.9%	39.2%	32.0%	24.8%	17.0%	0.9%	34.3%
男性・60代	315	40.3%	47.6%	33.7%	25.7%	17.5%	1.0%	30.2%
男性・70代以上	185	55.1%	60.5%	46.5%	29.7%	22.2%	2.2%	17.3%
男性・年齢不回答	7	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%
女性全体	1,510	42.4%	47.7%	33.0%	31.1%	19.9%	1.0%	29.4%
女性・20代以下	147	23.1%	29.3%	20.4%	23.1%	12.9%	0.7%	44.2%
女性・30代	353	32.9%	37.4%	22.7%	27.5%	20.1%	1.1%	43.9%
女性・40代	211	35.1%	44.1%	24.6%	24.6%	16.6%	0.5%	33.6%
女性・50代	289	46.7%	51.6%	32.9%	32.2%	20.8%	2.1%	22.5%
女性・60代	316	56.0%	61.1%	49.4%	41.1%	25.0%	0.3%	15.8%
女性・70代以上	184	56.0%	59.2%	46.7%	34.8%	19.6%	1.1%	15.8%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
性別不回答	24	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	83.3%

12. 性的マイノリティに関する人権について

問27 性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（複数回答）

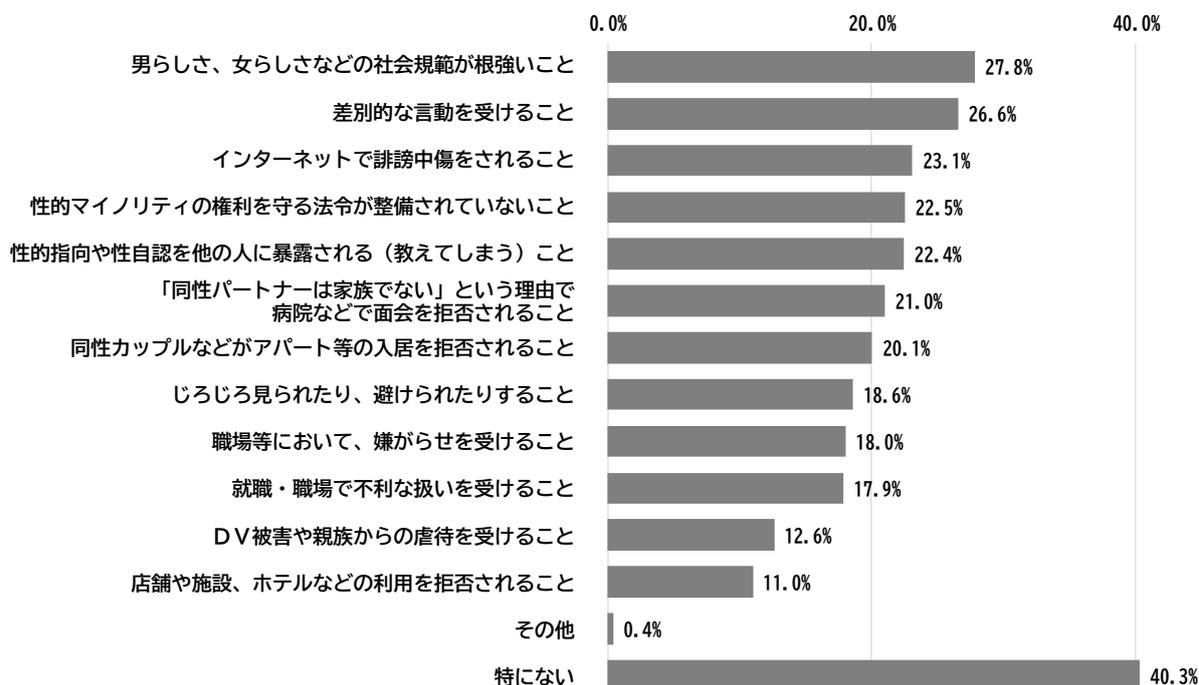
性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる状況は、全体集計において「男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと」の27.8%が最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」が26.6%となった。「特にない」が40.3%となった。

性別集計において、男女ともに「男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと」が最も高くなった。

性・年代別集計において、「男性・70代以上」では「性的マイノリティの権利を守る法令が整備されていないこと」の38.9%が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、「『同性パートナーは家族でない』という理由で病院などで面会を拒否されること」が最も高くなったが、全体では6番目だった。

【全体集計】 n=3,047



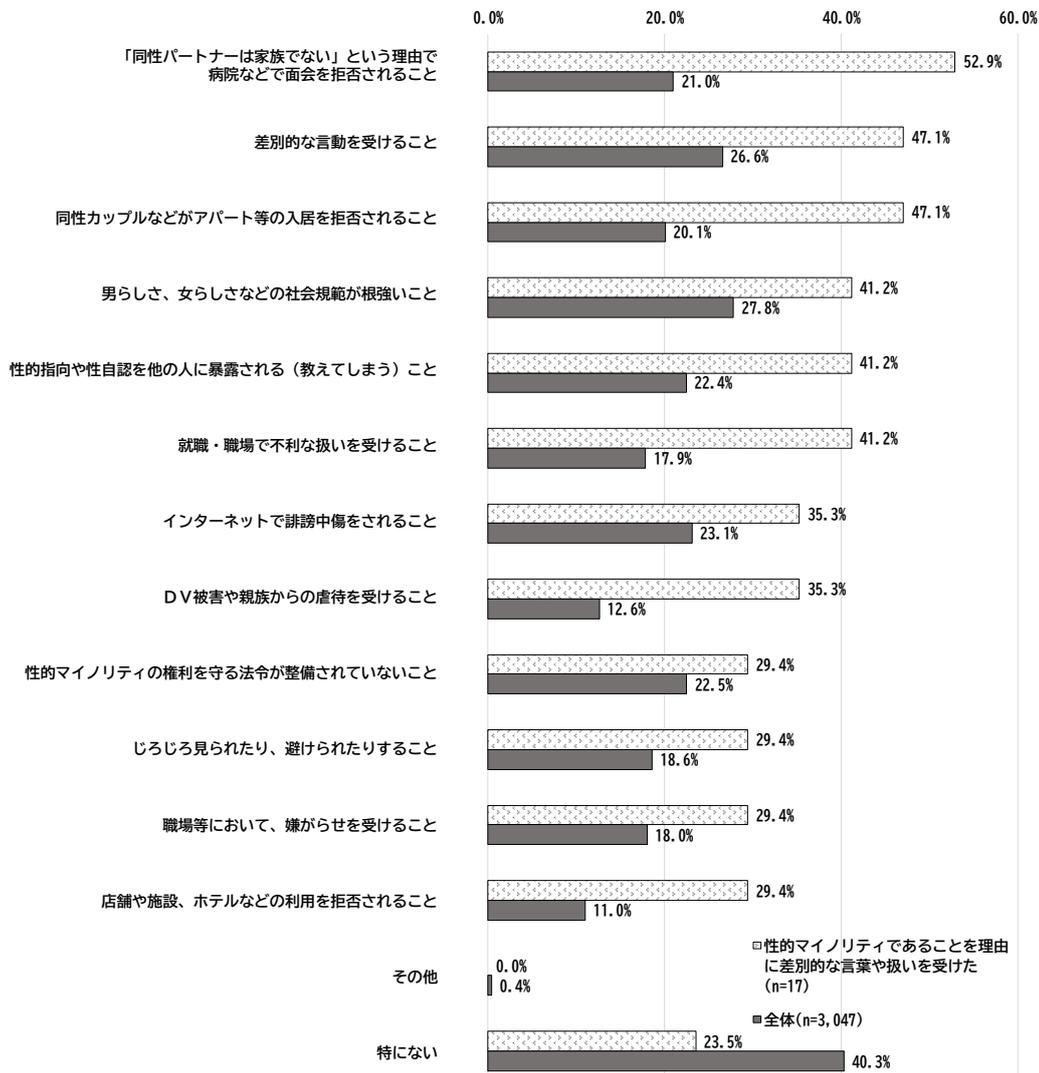
【クロス集計】

■性・年代別

	人数	性的マイノリティの権利を守る法令が整備されていないこと	男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	差別的な言動を受けること	職場等において、嫌がらせを受けること	インターネットで誹謗中傷をされること	性的指向や性自認を他の人に暴露される(教えてしまう)こと	就職・職場で不利な扱いを受けること	同性カップルなどがアパート等の入居を拒否されること	「同性パートナーは家族でない」という理由で病院などで面会を拒否されること	店舗や施設、ホテルなどの利用を拒否されること	DV被害や親族からの虐待を受けること	その他	特にな
全体	3,047	22.5%	27.8%	18.6%	26.6%	18.0%	23.1%	22.4%	17.9%	20.1%	21.0%	11.0%	12.6%	0.4%	40.3%
男性全体	1,507	21.7%	25.1%	16.4%	23.0%	15.5%	21.2%	18.8%	15.5%	15.7%	14.6%	9.4%	9.9%	0.5%	44.7%
男性・20代以下	97	17.5%	26.8%	19.6%	21.6%	14.4%	22.7%	17.5%	13.4%	18.6%	16.5%	7.2%	10.3%	0.0%	43.3%
男性・30代	403	16.1%	21.6%	16.4%	20.6%	15.1%	16.6%	15.4%	16.1%	11.2%	12.2%	10.4%	11.2%	0.7%	48.4%
男性・40代	153	24.8%	20.3%	18.3%	20.9%	17.0%	19.0%	18.3%	12.4%	15.7%	9.8%	7.2%	5.9%	0.0%	44.4%
男性・50代	347	21.6%	22.8%	15.6%	19.6%	13.3%	19.9%	17.9%	13.3%	14.4%	13.8%	8.9%	10.1%	0.3%	45.5%
男性・60代	315	19.0%	26.7%	13.7%	26.3%	14.6%	22.5%	20.3%	14.3%	15.9%	15.6%	7.9%	7.3%	0.6%	44.8%
男性・70代以上	185	38.9%	38.4%	20.0%	32.4%	22.2%	33.0%	27.0%	24.3%	26.5%	23.2%	14.1%	14.6%	0.5%	34.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	1,510	23.6%	30.7%	20.9%	30.5%	20.7%	25.3%	26.4%	20.5%	24.7%	27.6%	12.7%	15.4%	0.4%	35.3%
女性・20代以下	147	14.3%	21.8%	21.8%	24.5%	11.6%	13.6%	21.8%	14.3%	17.7%	17.0%	9.5%	10.9%	0.0%	43.5%
女性・30代	353	16.7%	25.5%	18.1%	24.9%	17.8%	22.1%	23.8%	17.0%	22.4%	25.8%	11.6%	13.3%	0.0%	44.5%
女性・40代	211	20.4%	27.5%	18.5%	28.0%	20.9%	21.8%	23.7%	16.6%	22.3%	23.7%	12.8%	14.2%	0.0%	42.7%
女性・50代	289	28.7%	32.9%	22.8%	33.6%	23.9%	27.0%	27.7%	20.4%	23.9%	27.3%	13.8%	16.6%	1.0%	27.3%
女性・60代	316	31.6%	38.3%	25.0%	38.6%	26.3%	32.6%	32.0%	27.8%	32.3%	36.1%	14.6%	17.4%	0.0%	25.6%
女性・70代以上	184	27.2%	36.4%	18.5%	31.5%	20.1%	30.4%	27.7%	25.5%	27.2%	31.0%	13.0%	20.1%	1.6%	28.8%
女性・年齢不回答	10	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	8.3%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	75.0%

■問 27 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問 2）のクロス集計
 「性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計

		問27														
		人数	性的マイノリティの権利を守る法令が整備されていないこと	男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	差別的な言動を受けること	職場等において、嫌がらせを受けること	インターネットで誹謗中傷をされること	性的指向や性自認を他の人に暴露される（教えてしまう）こと	就職・職場で不利な扱いを受けること	同性カップルなどがアパート等の入居を拒否されること	「同性パートナーは家族でない」という理由で病院などで面会を拒否されること	店舗や施設、ホテルなどの利用を拒否されること	DV被害や親族からの虐待を受けること	その他	特にない
問 2	性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	17	29.4%	41.2%	29.4%	47.1%	29.4%	35.3%	41.2%	41.2%	47.1%	52.9%	29.4%	35.3%	0.0%	23.5%
	全体	3,047	22.5%	27.8%	18.6%	26.6%	18.0%	23.1%	22.4%	17.9%	20.1%	21.0%	11.0%	12.6%	0.4%	40.3%
	男性	1,507	21.7%	25.1%	16.4%	23.0%	15.5%	21.2%	18.8%	15.5%	15.7%	14.6%	9.4%	9.9%	0.5%	44.7%
	女性	1,510	23.6%	30.7%	20.9%	30.5%	20.7%	25.3%	26.4%	20.5%	24.7%	27.6%	12.7%	15.4%	0.4%	35.3%



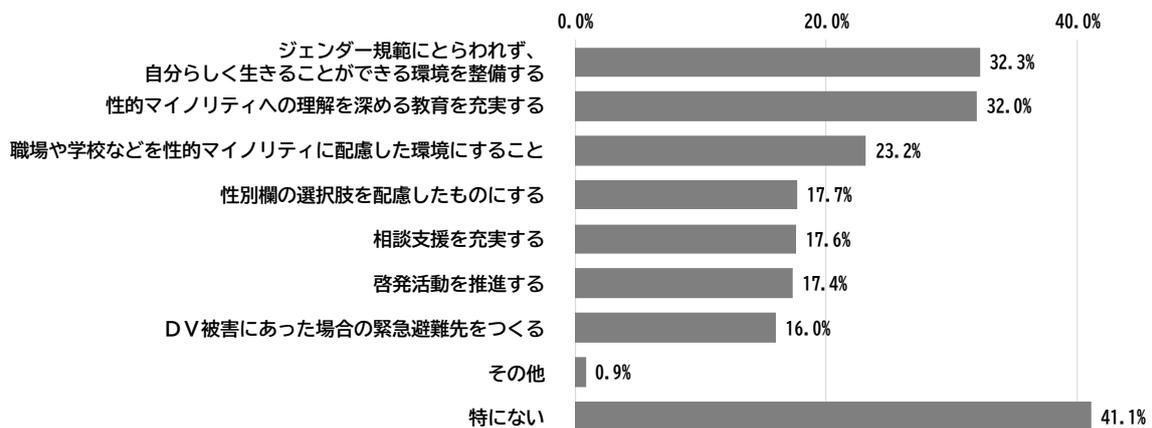
問28 性的マイノリティの人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

性的マイノリティの人権を守るために必要だと思うことは、全体集計において「ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する」の32.3%が最も高く、次いで「性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する」が32.0%となった。「特にない」が41.1%となった。

性別集計において、「女性」では「ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する」の36.3%が最も高くなったのに対し、「男性」では「性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する」の28.7%が最も高くなった。

問2で日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別において、「性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を選択した人は、「性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する」が最も高くなり、52.9%だった。

【全体集計】 n=3,047



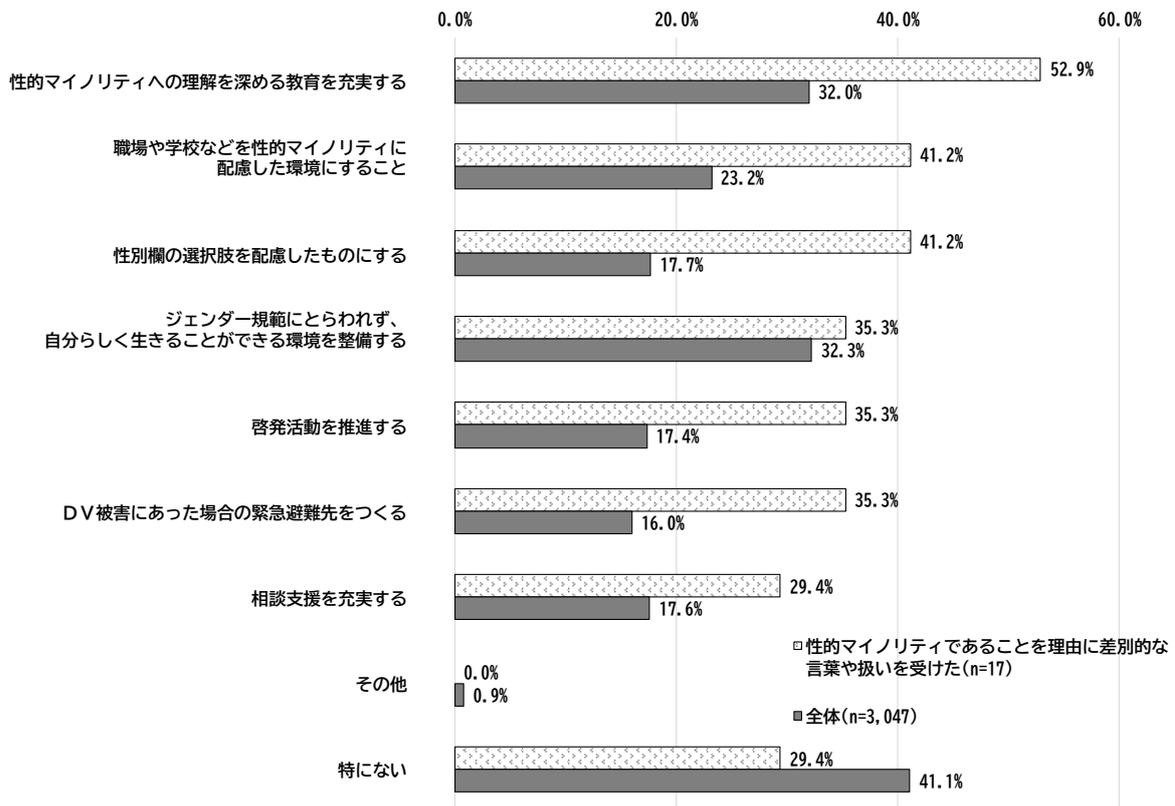
【クロス集計】

■性・年代別

	人数	性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する	ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する	啓発活動を推進する	職場や学校などを性的マイノリティに配慮した環境にすること	性別欄の選択肢を配慮したものにする	相談支援を充実する	DV被害にあった場合の緊急避難先をつくる	その他	特にない
全体	3,047	32.0%	32.3%	17.4%	23.2%	17.7%	17.6%	16.0%	0.9%	41.1%
男性全体	1,507	28.7%	28.5%	17.3%	21.3%	15.3%	14.5%	12.2%	0.9%	45.8%
男性・20代以下	97	25.8%	25.8%	13.4%	22.7%	11.3%	13.4%	14.4%	1.0%	46.4%
男性・30代	403	19.6%	23.8%	14.6%	18.9%	15.9%	13.4%	10.9%	1.0%	50.6%
男性・40代	153	27.5%	29.4%	16.3%	17.6%	18.3%	17.6%	9.2%	0.0%	45.1%
男性・50代	347	31.7%	28.5%	17.0%	18.4%	12.4%	11.0%	10.1%	0.9%	47.0%
男性・60代	315	31.4%	30.2%	16.8%	21.6%	14.9%	14.6%	14.0%	1.3%	44.8%
男性・70代以上	185	42.2%	37.8%	27.6%	34.6%	20.5%	21.6%	17.8%	1.1%	33.0%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	1,510	35.7%	36.3%	17.6%	25.5%	20.3%	20.9%	20.0%	0.8%	35.8%
女性・20代以下	147	22.4%	17.7%	10.9%	20.4%	12.9%	15.6%	14.3%	0.0%	47.6%
女性・30代	353	29.5%	29.2%	15.3%	20.1%	17.0%	18.1%	18.7%	0.6%	45.6%
女性・40代	211	29.9%	28.9%	13.3%	23.7%	19.0%	16.1%	17.1%	0.9%	45.0%
女性・50代	289	41.5%	41.2%	18.7%	27.3%	24.6%	20.8%	22.8%	1.4%	27.0%
女性・60代	316	46.2%	48.7%	24.7%	31.6%	23.7%	25.6%	20.9%	0.9%	24.7%
女性・70代以上	184	39.1%	46.2%	19.6%	29.9%	22.3%	29.3%	25.5%	0.5%	26.6%
女性・年齢不回答	10	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	12.5%	12.5%	8.3%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	83.3%

■問 28 と日常生活の中で人権が尊重されていないと感じた内容別（問 2）のクロス集計
 「性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた」を集計

		問28									
		人数	性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する	ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する	啓発活動を推進する	職場や学校などを性的マイノリティに配慮した環境にすること	性別欄の選択肢を配慮したものにす	相談支援を充実する	DV被害にあった場合の緊急避難先をつくる	その他	特にな
問 2	性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた	17	52.9%	35.3%	35.3%	41.2%	41.2%	29.4%	35.3%	0.0%	29.4%
	全体	3,047	32.0%	32.3%	17.4%	23.2%	17.7%	17.6%	16.0%	0.9%	41.1%
	男性	1,507	28.7%	28.5%	17.3%	21.3%	15.3%	14.5%	12.2%	0.9%	45.8%
	女性	1,510	35.7%	36.3%	17.6%	25.5%	20.3%	20.9%	20.0%	0.8%	35.8%



13. インターネットによる人権侵害について

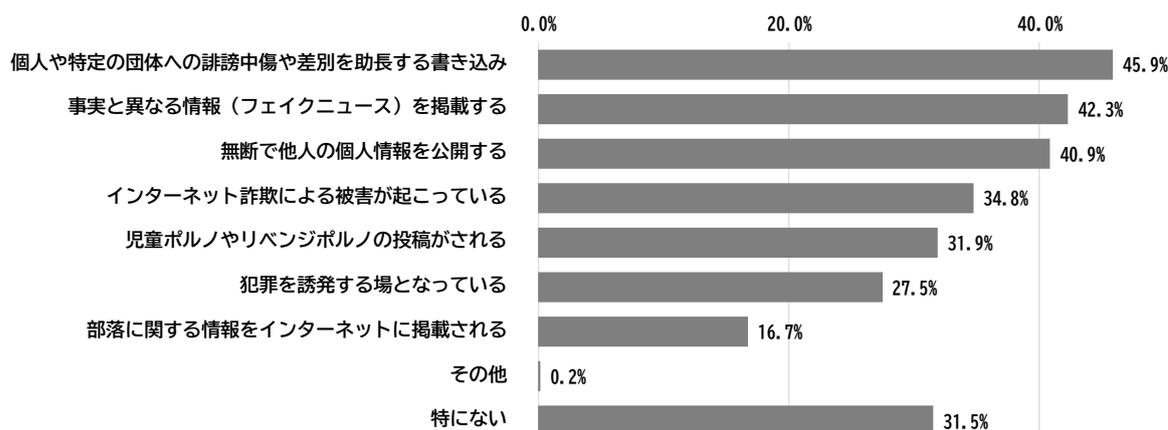
問29 インターネットによる人権侵害に関して、どのような問題が起きていると思いますか。
(複数回答)

インターネットによる人権侵害に関して起きていると思う問題は、全体集計において「個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み」の45.9%が最も高く、次いで「事実と異なる情報（フェイクニュース）を掲載する」が42.3%、「無断で他人の個人情報を公開する」が40.9%となった。

性別集計において、男女ともに「個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み」が最も高くなった。

性・年代別集計において、女性の全年代では全体と同様「個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み」が最も多かったが、「男性・20代以下」では「無断で他人の個人情報を公開する」が、「男性・30代」では「事実と異なる情報（フェイクニュース）を掲載する」がそれぞれ最も多かった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み	無断で他人の個人情報を公開する	事実と異なる情報（フェイクニュース）を掲載する	インターネット詐欺による被害が起きている	犯罪を誘発する場となっている	児童ポルノやリベンジポルノの投稿がされる	部落に関する情報をインターネットに掲載される	その他	特にない
全体	3,047	45.9%	40.9%	42.3%	34.8%	27.5%	31.9%	16.7%	0.2%	31.5%
男性全体	1,507	43.3%	38.6%	39.5%	33.3%	25.7%	28.3%	15.1%	0.3%	33.8%
男性・20代以下	97	36.1%	38.1%	36.1%	28.9%	19.6%	22.7%	8.2%	0.0%	35.1%
男性・30代	403	32.5%	31.3%	34.5%	29.8%	24.1%	24.1%	12.4%	0.2%	39.5%
男性・40代	153	31.4%	26.1%	28.1%	30.7%	29.4%	24.8%	7.8%	0.0%	38.6%
男性・50代	347	43.8%	38.0%	37.5%	31.7%	23.6%	27.4%	16.4%	0.6%	34.9%
男性・60代	315	52.7%	49.8%	45.1%	39.4%	27.0%	32.4%	18.4%	0.0%	28.9%
男性・70代以上	185	64.9%	48.6%	57.8%	39.5%	32.4%	39.5%	22.7%	0.5%	21.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	1,510	49.3%	43.8%	45.7%	36.6%	29.5%	35.8%	18.6%	0.1%	28.3%
女性・20代以下	147	32.7%	29.3%	29.3%	21.1%	17.7%	25.9%	10.9%	0.0%	38.8%
女性・30代	353	38.8%	36.0%	37.1%	30.6%	26.6%	31.7%	16.1%	0.0%	40.5%
女性・40代	211	44.1%	39.3%	40.3%	32.2%	28.9%	34.6%	15.6%	0.0%	35.5%
女性・50代	289	55.4%	50.5%	49.8%	43.3%	33.2%	40.5%	23.2%	0.7%	19.7%
女性・60代	316	62.3%	53.2%	60.8%	43.4%	33.9%	40.5%	21.5%	0.0%	14.9%
女性・70代以上	184	58.7%	50.5%	51.1%	44.6%	32.6%	39.1%	21.7%	0.0%	21.7%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	50.0%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%
性別不回答	24	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	83.3%

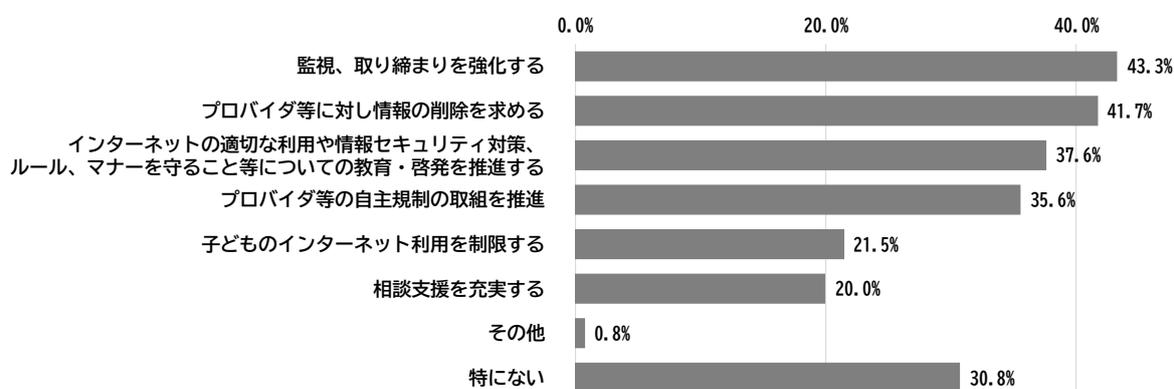
問30 インターネットによる人権侵害を防ぐにはどのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

インターネットによる人権侵害を防ぐために必要だと思うことは、全体集計において「監視、取り締まりを強化する」の43.3%が最も高く、次いで「プロバイダ等に対し情報の削除を求める」が41.7%、「インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する」が37.6%となった。

性別集計において、男女ともに「監視、取り締まりを強化する」が最も高くなった。

性・年代別集計において、「男性・20代以下」「男性・30代」では「インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	監視、取り締まりを強化する	プロバイダ等に対し情報の削除を求める	プロバイダ等の自主規制の取組を推進	相談支援を充実する	インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する	子どものインターネット利用を制限する	その他	特にない
全体	3,047	43.3%	41.7%	35.6%	20.0%	37.6%	21.5%	0.8%	30.8%
男性全体	1,507	40.8%	39.9%	33.0%	17.8%	34.2%	16.2%	1.1%	32.8%
男性・20代以下	97	32.0%	32.0%	28.9%	16.5%	36.1%	13.4%	0.0%	36.1%
男性・30代	403	30.8%	30.5%	28.3%	15.6%	34.0%	14.1%	1.7%	39.2%
男性・40代	153	34.6%	28.8%	22.9%	16.3%	28.1%	12.4%	1.3%	37.3%
男性・50代	347	43.2%	38.3%	27.1%	15.6%	31.4%	13.3%	1.2%	33.1%
男性・60代	315	50.2%	50.8%	40.0%	21.6%	34.9%	20.3%	0.6%	26.7%
男性・70代以上	185	53.5%	59.5%	54.6%	22.7%	44.3%	24.3%	1.1%	21.1%
男性・年齢不回答	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性全体	1,510	46.5%	44.2%	38.6%	22.5%	41.3%	27.0%	0.4%	27.8%
女性・20代以下	147	37.4%	26.5%	22.4%	15.0%	29.3%	17.7%	0.0%	39.5%
女性・30代	353	39.4%	31.7%	29.2%	19.5%	35.1%	23.2%	0.0%	40.8%
女性・40代	211	43.1%	36.5%	32.2%	18.0%	37.9%	26.1%	0.0%	33.6%
女性・50代	289	51.6%	48.1%	41.9%	25.6%	43.6%	27.3%	1.0%	19.7%
女性・60代	316	56.0%	60.1%	52.8%	28.5%	50.6%	31.6%	0.6%	14.6%
女性・70代以上	184	49.5%	59.2%	48.9%	25.0%	48.4%	35.9%	0.5%	19.0%
女性・年齢不回答	10	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%
性別不回答	24	4.2%	4.2%	4.2%	4.2%	16.7%	4.2%	0.0%	83.3%

参考：「特にない」を選択した人の割合が多かった結果について

今回、各設問において「特にない」や「分からない」を選択した人の割合が多かったため、設問ごとに性・年代別にクロス集計を行いました。

【クロス集計】

		問6 人権施策を推進していくために重要なことは何だと思えますか。	問8 子どもの人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。 ※この設問のみ「分からない」の回答者の割合	問10 女性の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。	問12 障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。	問14 高齢者の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。	問16 疾病等に係る人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。	
「特にない」を選択した人の割合	全体	34.3%	28.8%	31.9%	31.9%	32.7%	34.2%	
	男性	20代以下	32.0%	32.0%	37.1%	34.0%	38.1%	42.3%
		30代	41.4%	35.2%	42.7%	39.5%	44.7%	43.4%
		40代	41.8%	35.3%	38.6%	40.5%	41.8%	41.2%
		50代	41.8%	33.7%	40.3%	36.9%	38.9%	36.9%
		60代	31.1%	27.0%	31.4%	30.8%	28.3%	30.8%
		70代以上	20.0%	18.9%	24.9%	20.5%	21.6%	28.1%
	女性	20代以下	45.6%	40.1%	37.4%	37.4%	42.2%	39.5%
		30代	40.8%	33.4%	34.3%	40.2%	41.9%	43.9%
		40代	37.4%	29.4%	33.2%	33.6%	31.8%	34.6%
		50代	22.8%	21.1%	18.3%	21.1%	19.7%	21.8%
		60代	21.5%	16.5%	16.5%	17.1%	15.8%	19.0%
70代以上		22.8%	15.8%	17.9%	18.5%	15.2%	20.7%	

		問19 同和問題 (部落差別)の 解決には、どの ようなことが必 要だと思います か。(n=2,003)	問21 外国籍県 民等の人権を守 るにはどのよう なことが必要だ と思いますか。	問23 貧困等に かかる人権を守 るにはどのよう なことが必要だ と思いますか。	問28 性的マイ ノリティの人権 を守るにはどの ようなことが必 要だと思います か。	問30 インター ネットによる人 権侵害を防ぐに はどのようなこ とが必要だと思 いますか。	
「特 にない」 を選 択した 人の割 合	全体	23.7%	43.7%	31.8%	41.1%	30.8%	
	男性	20代以下	21.4%	49.5%	33.0%	46.4%	36.1%
		30代	29.4%	53.6%	38.0%	50.6%	39.2%
		40代	19.3%	49.0%	37.9%	45.1%	37.3%
		50代	31.3%	48.4%	36.0%	47.0%	33.1%
		60代	26.0%	41.3%	31.4%	44.8%	26.7%
		70代以上	20.4%	28.1%	21.1%	33.0%	21.1%
	女性	20代以下	31.0%	54.4%	42.9%	47.6%	39.5%
		30代	28.9%	55.0%	40.8%	45.6%	40.8%
		40代	27.6%	45.0%	34.1%	45.0%	33.6%
		50代	20.2%	35.3%	21.8%	27.0%	19.7%
		60代	14.2%	26.9%	17.1%	24.7%	14.6%
		70代以上	10.6%	26.1%	17.4%	26.6%	19.0%

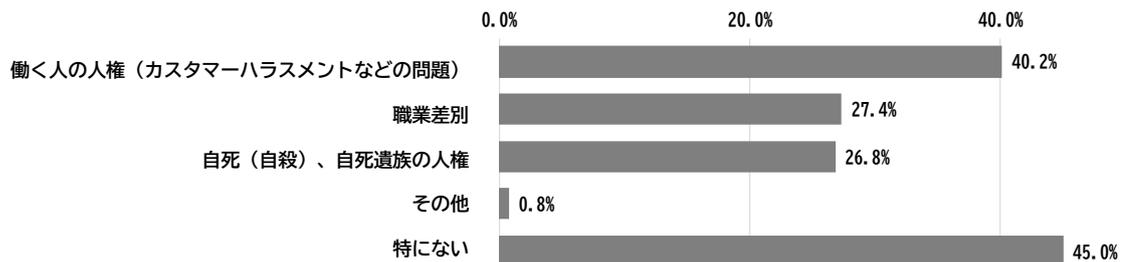
14. その他

問31 神奈川県では「かながわ人権施策推進指針」を策定し、子ども、女性、障がい者、高齢者、疾病等にかかる人権課題、同和問題（部落差別）、外国籍県民等、貧困等にかかる人権課題、犯罪被害者等、北朝鮮当局によって拉致された被害者等、性的マイノリティ、インターネットによる人権侵害といった分野の取組の方向性を定めています。こうした人権課題以外にも、アイヌ民族の人権課題、災害発生時の人権課題、ケアラー（ヤングケアラー）の人権課題、孤独・孤立による人権課題を「様々な人権課題」として位置付けています。こうした人権課題以外に「かながわ人権施策推進指針」に追加した方が良い分野は何だと思えますか。（複数回答）

「かながわ人権施策推進指針」に追加した方が良いと思う分野は、全体集計において「働く人の人権（カスタマーハラスメントなどの問題）」の40.2%が最も高く、次いで「職業差別」が27.4%となった。「特にない」が45.0%となった。

性別集計において、男女ともに「働く人の人権（カスタマーハラスメントなどの問題）」が最も高くなった。

【全体集計】 n=3,047



【クロス集計】

■性・年代別

	人数	職業差別	働く人の人権 (カスタマー ハラスメント などの 問題)	自死 (自殺)、 自死遺 族の人 権	その他	特にない
全体	3,047	27.4%	40.2%	26.8%	0.8%	45.0%
男性全体	1,507	26.3%	38.1%	25.0%	1.0%	46.1%
男性・20代以下	97	30.9%	40.2%	25.8%	1.0%	42.3%
男性・30代	403	23.3%	35.2%	21.1%	1.2%	50.6%
男性・40代	153	24.8%	34.6%	24.2%	0.0%	46.4%
男性・50代	347	28.5%	34.0%	22.2%	1.2%	48.1%
男性・60代	315	26.0%	41.9%	27.3%	1.0%	43.5%
男性・70代以上	185	29.2%	48.1%	35.7%	1.1%	37.3%
男性・年齢不回答	7	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%
女性全体	1,510	28.7%	42.8%	29.1%	0.7%	43.2%
女性・20代以下	147	23.1%	32.0%	23.1%	0.7%	53.7%
女性・30代	353	23.2%	34.3%	24.4%	0.3%	54.7%
女性・40代	211	23.2%	37.4%	26.1%	1.4%	47.9%
女性・50代	289	31.5%	50.2%	31.8%	0.7%	36.0%
女性・60代	316	35.4%	50.0%	33.9%	0.6%	33.9%
女性・70代以上	184	34.8%	51.6%	34.8%	0.5%	32.1%
女性・年齢不回答	10	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	90.0%
その他	6	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%
性別不回答	24	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	87.5%

15. 自由記述欄

問32 自由記述欄（その他ご意見等ございましたらご記載ください）。（自由回答）

自由記述欄で意見をたずねたところ、236件の回答がありました。項目ごとの意見の概要は次のとおりで、人権全般について多くの意見を頂きました。

項目	件数	概要
人権全般について	103	差別のない明るい社会になってほしい、人権問題のむずかしさについて、人権施策に対する税金の使い方へのご意見 など
人権教育について	24	教育・啓発の必要性について、社会人への人権教育について、相談体制について など
外国籍県民の人権について	21	外国籍県民の人権施策について、ヘイトスピーチについて など
ジェンダーに関する人権について	9	性的マイノリティの人権施策について、同性婚について、男性差別について など
子どもの人権について	8	子どもの貧困について、子どもへの支援が不足していることについて など
ネット上の人権問題	6	インターネット上の誹謗中傷について、SNS等の使い方について など
障がい者の人権について	5	精神障がい者の人権について、障がい者への支援について など
同和問題について	3	同和問題の啓発事業について など
その他	57	調査に関するご意見等 など
合計	236	

IV 使用した調査票

Page 1

SC1

あなたのお住まい(都道府県)を教えてください。

Page 2

SC2

あなたの住まいを教えてください。

- 1 横浜地域(横浜市)
- 2 川崎地域(川崎市)
- 3 横須賀三浦地域(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)
- 4 県央地域
(相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)
- 5 湘南地域
(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)
- 6 県西地域
(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)

Page 3

SC3

あなたの年齢を教えてください。

- 1 18歳未満
- 2 18歳、19歳
- 3 20代
- 4 30代
- 5 40代
- 6 50代
- 7 60代
- 8 70代以上
- 9 答えたくない

SC4

あなたの性別を教えてください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 答えたくない

SC5

あなたの職業を教えてください。

- 1 正規の職員、従業員(役員等を含む)
- 2 非正規の職員、従業員(パート、アルバイト、契約、嘱託、派遣等)
- 3 自営業、自由業
- 4 主婦、主夫
- 5 生徒、学生
- 6 無職
- 7 その他(具体的に)
- 8 答えたくない

SC6

世帯全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。

※年金や手当等を含めます。

- 1 無収入
- 2 200万円未満
- 3 200～300万円未満
- 4 300～400万円未満
- 5 400～500万円未満
- 6 500～700万円未満
- 7 700～900万円未満
- 8 900～1,100万円未満
- 9 1,100～1,300万円未満
- 10 1,300～1,500万円未満
- 11 1,500～2,000万円未満
- 12 2,000万円以上
- 13 わからない

SC7

あなたの障がいの有無について教えてください。

※障害手帳や療養手帳があるかどうか、診断されているかどうかだけではなく、ご自身が当てはまると思ったものを選んでください。

- 1 障がいがある
- 2 障がいがない
- 3 分からない
- 4 答えたくない

SC8

あなたの国籍等について教えてください。

- 1 日本国籍
- 2 日本国籍以外
- 3 分からない
- 4 答えたくない

Q1

あなたは、日常生活の中で、自分自身、または周りの人(家族や友人、職場の同僚など)の人権が尊重されていないと感じたことはありますか。

- 1 ある
2 ない

Q2

それはどのような内容ですか。(いくつでも)

- 1 SNSなどインターネット上に、個人情報や差別的な内容を掲載された
2 学校でいじめ・嫌がらせを受けた
3 役所等、公的機関で職員から差別的な扱いを受けた
4 職場や学校でパワーハラスメントを受けた
5 セクシャルハラスメントを受けた
6 身近な人からモラルハラスメント(言葉や態度による精神的な嫌がらせ)を受けた
7 職場でカスタマーハラスメント(顧客からの不当な言動や要求)を受けた
8 「男だから」「女だから」という理由で自分が希望しない役割を求められた
9 夫婦間や交際相手、家族から暴力を受けた(ストーカー被害含む)
10 障がい者であることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた
11 自身の病気を理由に差別的な言葉や扱いを受けた
12 人種や国籍、自身のルーツを理由に差別的な言葉や扱いを受けた
13 性的マイノリティであることを理由に差別的な言葉や扱いを受けた
14 その他

Q3

だれに相談しましたか。(いくつでも)

- 1 公的機関(法務局、行政、警察など)
2 弁護士などの専門家
3 家族・親しい友人など身近な人
4 職場の人や職場の相談窓口
5 学校の先生や学校の相談窓口
6 民間支援団体
7 その他
8 誰にも相談しなかった
9 答えたくない

Q3_2

誰にも相談しなかった理由は何ですか。(いくつでも)

- 1 誰かに相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかったので相談しなかった
- 2 誰かに相談したかったが、秘密が守られるか分からなかったので相談しなかった
- 3 相談しても変わらないと思ったので相談しなかった
- 4 相談したいと思わなかった
- 5 その他
- 6 答えたくない

Q4

あなたが人権侵害に直面したときに、どのような方法なら相談しようと思いますか。
(いくつでも)

- 1 対面での相談
- 2 電話での相談
- 3 メール、SNSやチャットを活用した相談
- 4 手紙での相談
- 5 相談せずに自分で相手に直接抗議する
- 6 誰にも相談したくない
- 7 その他
- 8 分からない

Q5

人権教育を促進していくためには、学校においてどのような取組を進めていけばよいと思いますか。(いくつでも)

「ともに生きる社会かながわ憲章」とは平成28年7月26日、県立の障害者支援施設である「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

- 1 教職員等への人権に関する研修や勉強会を実施する
- 2 差別の現状や歴史などが理解できる教育を行う
- 3 参加体験型のプログラムを実施する
- 4 障がい者や高齢者、外国籍の方などの当事者の方と交流できる場を多くする
- 5 子どもだけでなく保護者も最新の人権課題を学べる機会を作る
- 6 人権についての作文コンテストや絵のコンテストなどを実施する
- 7 人権についての動画やSNSを活用した教材や資料を配信する
- 8 「ともに生きる社会かながわ憲章」について学べる機会を作る
- 9 地域において、人権教育を推進する指導者を育成する
- 10 現状のままでいい
- 11 その他
- 12 分からない

Q6

人権施策を推進していくために重要なことは何だと思えますか。(いくつでも)

- 1 NPOなど民間団体を支援すること
- 2 民間企業の取組を支援すること
- 3 官民で連携していくこと
- 4 学校における人権教育を充実すること
- 5 多様な個性を認め合える教育を推進すること
- 6 被害者の救済対策をすること
- 7 社会的に弱い立場にある人に対して支援すること
- 8 啓発・広報活動を推進すること
- 9 イベントや広報など人権啓発運動を推進すること
- 10 人権に関わる職業従事者への人権啓発を充実させること
- 11 人権問題に関する相談支援を充実すること
- 12 その他
- 13 特にない

Q7

子どもの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(いくつでも)

- 1 いじめ、仲間はずれや無視
- 2 インターネットやSNSによるいじめや犯罪
- 3 子どもの意見が尊重されないこと
- 4 保護者による虐待・暴力
- 5 父・母同士の喧嘩
- 6 教師等からの体罰や暴言等
- 7 不登校・ひきこもりなどへの支援が不足していること
- 8 性犯罪、児童買春・児童ポルノ
- 9 子どもの周囲に薬物乱用につながる環境があること
- 10 進学や習い事等の体験など教育を受ける機会の格差
- 11 その他
- 12 特にない
- 13 分からない

Q8

子どもの人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 自分も他人も大切にすること
- 2 家庭内の人間関係を安定させる
- 3 児童虐待を発見しやすくするための体制を整える
- 4 いじめ対策を推進する
- 5 人権に配慮した学校教育を推進する
- 6 教師等の人間性、指導力を高める
- 7 犯罪の取り締まりを強化する
- 8 相談窓口の拡充など、不登校やひきこもりなどに対する支援を推進する
- 9 貧困家庭に経済的支援を行う
- 10 地域の人々が関心をもって接する
- 11 インターネットを活用する上での教育や啓発に力を入れる
- 12 人権相談窓口を拡充させる(子どもが相談しやすい環境にする)
- 13 その他
- 14 分からない

Q9

女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

- 1 固定的な性別役割分担を押し付けられること
(女性らしさを求められる、家事や育児を押し付けられるなど)
- 2 職場で差別的な待遇を受けること
(男性に比べ昇級が遅い、給与が低いなど)
- 3 性犯罪、性暴力、ストーカーの被害にあうこと
- 4 パートナーや家族等から暴力(DV)を受けること
- 5 セクシャル・ハラスメントを受けること
- 6 売春や援助交際の被害にあうこと
- 7 予期しない妊娠をした際の支援が足りないこと
- 8 様々な問題(DVや貧困問題など)が複雑化していること
- 9 その他
- 10 特になし

Q10

女性の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 ジェンダー平等の教育を推進する
- 2 性犯罪の取り締まりを強化する
- 3 セクシュアルハラスメントを根絶する
- 4 就業機会や職業能力開発の機会を充実する
- 5 女性の働き続けやすい就業環境を整備する
- 6 育児や介護の基盤を整備する
- 7 相談窓口や捜査・裁判において同性の担当者を配置するなど、女性被害者に対して配慮する
- 8 シェルター・一時保護体制を整備する
- 9 女性の相談支援を充実する
- 10 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を推進する
- 11 その他
- 12 特にない

Q11

障がい者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

- 1 視覚・聴覚・肢体などの身体障がいについての理解が十分でないこと
- 2 発達障がい・精神障がいについての理解が十分でないこと
- 3 職場において不利な扱いを受けること
- 4 建物等の段差などバリアフリーの面で外出に支障があること
- 5 障がい者支援のサービスが十分でないこと
- 6 障害者支援施設やグループホームに入れないこと
- 7 障害を理由にアパートなどの入居を断られること
- 8 自分の財産について、自分の意思に反した管理をされること
(勝手に土地を売却される、銀行に預けたお金を自由に下せないなど)
- 9 社会参加の機会がないこと
- 10 文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと
- 11 結婚問題で、周囲に反対を受けること
- 12 在宅サービスが十分でないこと
- 13 施設や病院が自由を制限すること
- 14 介護の際に身体を拘束されること
- 15 その他
- 16 特にない

Q12

障がい者の人権を守り、ともに生きる社会を実現していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 障がい者本人の意思を尊重する
- 2 当事者のニーズに沿ったかたちで障がい者が生活しやすい環境にする
- 3 学校において障がい者の人権について教育を行う
- 4 雇用・就業機会を確保する
- 5 建物の設備や公共交通機関を改善する
- 6 保健、医療、福祉サービスを充実する
- 7 障がいのある人とない人との交流を促進する
- 8 ともに生きる社会かながわ憲章の理念の普及や当事者目線の障害福祉を推進する
- 9 相談支援を充実する
- 10 成年後見人制度などの制度の利用を促進する
- 11 文化芸術・スポーツ等の活動に参加しやすくする
- 12 財産の保管サービスを充実する
- 13 施設や病院等への苦情を中立的立場で解決する制度を充実する
- 14 その他
- 15 特にない

Q13

高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

- 1 振り込め詐欺などの被害者が多いこと
- 2 貯蓄や収入に不安があること
- 3 働きたいと思っても働ける機会が少ないこと
- 4 認知症に対する理解が足りないこと
- 5 高齢者に冷たい態度をとったりすること
- 6 建物の段差などがバリアフリーでないため外出に支障があること
- 7 自分の財産について、自分の意思に反した管理をされること
(勝手に土地を売却される、銀行に預けたお金を自由に下せないなど)
- 8 希望する介護サービスが受けられないこと
(高齢者施設に入れない、在宅の介護サービスが受けられないなど)
- 9 インターネットを使えないことにより、必要な手続きができないこと
- 10 介護の際に身体を拘束されること
- 11 その他
- 12 特にない

Q14

高齢者の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 生活しやすいまちづくりを推進する
- 2 振り込め詐欺などの犯罪から守る
- 3 本人の意思を尊重した介護を行う
- 4 高齢者の働く機会を増やす
- 5 高齢者とほかの世代との交流を促進する
- 6 高齢者の財産を守る
(保管サービスを充実する、成年後見制度などの制度の利用を促進するなど)
- 7 相談支援を充実する
- 8 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動を充実する
- 9 災害時や感染症発生時の行政の対応を強化する
- 10 生涯学習や生涯スポーツを推進する
- 11 その他
- 12 特にない

Q15

疾病等(例 HIV感染症、ハンセン病、がん、肝炎、難病、新型コロナウイルス感染症 など)の影響で人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。

(いくつでも)

- 1 患者や家族が差別的な扱いを受けること
- 2 就職や職場で不利な扱いを受けること
- 3 感染者・患者等のプライバシーが守られないこと
- 4 治療や入院を断られること
- 5 アパート等の入居を拒否されたり、自立した生活を営むのが困難なこと
- 6 宿泊を拒否されること
- 7 医療従事者(病院などで働く人)やその家族に対して誹謗中傷があること
- 8 結婚問題で周囲に反対されること
- 9 無断でエイズ検査等を行うこと
- 10 その他
- 11 特にない

Q16

疾病等に係る人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 病気や症状などに対して正しい知識を持つこと、また教育を行うこと
- 2 患者やその家族への支援を充実させること
- 3 相談支援を充実させること
- 4 感染者や患者のプライバシーを守ること
- 5 保健医療サービスの適切な選択ができるように正確な情報提供を行うこと
- 6 患者や医療従事者等の人権に関する啓発をすること
- 7 患者の治療と仕事を両立するため働きやすい職場環境を推進すること
- 8 ロボットやICTの導入により医療従事者の負担を軽減すること
- 9 災害時や感染症発生時に対する行政の対応を強化すること
- 10 感染者・患者などへの偏見や差別をなくすための啓発をすること
- 11 その他
- 12 特になし

Q17

同和問題(部落差別)について初めて知ったきっかけは何ですか。

(同和問題(部落差別)とは、一部の人々が、特定の地域出身であることや、そこに住んでいることを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるといった、わが国固有の人権課題のことをいいます。)

- 1 祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた
- 2 近所の人から聞いた
- 3 学校の友達から聞いた
- 4 学校の授業で教わった
- 5 職場の人から聞いた
- 6 テレビ、ラジオ、新聞、本などで知った
- 7 インターネットで知った
- 8 同和問題の集会や研修会で知った
- 9 県や市町村の広報紙等で知った
- 10 その他
- 11 おぼえていない
- 12 同和問題について知らない

Q18

同和問題(部落差別)に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。
(いくつでも)

- 1 結婚・交際で周囲が反対すること
- 2 差別的な言動をすること
- 3 就職、職場で不利な扱いをすること
- 4 誤った偏見から交際を避けること
- 5 身元調査をすること
- 6 インターネットに情報を掲載すること
- 7 えせ同和行為があること
- 8 差別的な落書きをすること
- 9 その他
- 10 特にない

Q19

同和問題(部落差別)の解決には、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 同和問題(部落差別)についての教育や啓発活動を推進する
- 2 部落差別解消推進法や理念の理解を促進する
- 3 差別を助長するようなネット情報の拡散防止対策を充実させる
- 4 えせ同和行為を排除する
- 5 自由な意見交換ができる環境をつくる
- 6 相談支援を充実する
- 7 その他
- 8 特にない

Q20

外国籍県民等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

それってマイクロアグレッション？

マイクロアグレッションとは、日常の暮らしの中にあるちょっとした言動で、自分と異なる特定の人や集団に属する人(人種、性別、障がいのある人、性的マイノリティの人など)に対して軽視するような表現のことをいいます。これはあからさまな差別表現と違って悪気のないものとして発せられ、簡単に片付けられてしまう場面も多いです。しかしながら、受け手の精神的ダメージは大きいものになります。

たとえば、「(外国籍に見える人に)日本語が上手でびっくりした」「やっぱり日本人はマナーがいいね」「(男の子に対して)髪が長くて女の子みたい」といった発言は、無意識であつても相手を傷つけてしまうかもしれません。

まずはご自身の中の無意識の偏見(「外国人は〇〇な人が多い」「女性(男性)はこうあるべきである」「性的マイノリティの人は△△である」など)を認識することが必要です。なお、このような「無意識な偏見」を「アンコンシャスバイアス」といいます。

参考文献 「松江市人権施策推進基本方針(第三次改定)」

- 1 外国人(見た目や名前、言葉・イントネーションなど)を理由にひどいことを言われたり嫌がらせを受けること
- 2 言葉が通じないこと、公共施設等に十分な外国語表記がないこと
- 3 職場や学校、病院などで不利な扱いを受けること
- 4 アパートなど住居への入居が困難である、お店のサービスを断られるなど、地域社会で受け入れられにくいこと
- 5 本名を名乗れないこと
- 6 母語や自分の国の文化が尊重されないこと
- 7 教育や福祉がきちんと受けられないこと
- 8 ヘイトスピーチを規制する法令が整備されていないこと
- 9 選挙権がないこと
- 10 結婚するときに周囲から反対を受けること
- 11 その他
- 12 特にない

Q21

外国籍県民等の人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 多文化共生を進める教育をする
- 2 地域住民との相互理解を深める
- 3 教育を受ける機会を確保する
- 4 必要な情報を外国語や簡単な日本語により提供する
- 5 外国籍県民等の就労機会を確保する
- 6 相談支援を充実する
- 7 ヘイトスピーチ対策を推進する
- 8 外国籍県民等の行政への参画を推進する
- 9 その他
- 10 特にない

Q22

貧困等にかかる人権課題において、貧困等に苦しむ方の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

- 1 経済的な自立が困難なこと
- 2 ホームレスに対して通行人が暴力をふるうこと
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 5 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 6 近隣住民から嫌がらせを受けること
- 7 アパート等の入居を拒否されること
- 8 店舗の入店や施設の利用を拒否されること
- 9 ホテル等への宿泊を拒否されること
- 10 その他
- 11 特にない

Q23

貧困等にかかる人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- 1 就労の支援をすること
- 2 住居の支援をすること
- 3 生活保護を受けられるようにすること
- 4 職業訓練や教育を受けられるようにすること
- 5 税金や公共料金などを免除すること
- 6 孤立化しないように交流の場をつくること
- 7 貧困に苦しむ人を理解するための教育をすること
- 8 ひとり親家庭に対して支援すること
- 9 子ども食堂など、子どもの貧困対策に取り組むこと
- 10 若者の進学や就労を支援すること
- 11 低所得者を対象にした貸付や給付金をすること
- 12 相談支援を充実する
- 13 その他
- 14 特にない

Q24

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(いくつでも)

- 1 報道によって私生活の平穏が保てない
- 2 周囲にうわさ話をされる
- 3 SNSなどに誹謗中傷が書き込まれる
- 4 警察に相談しても対応を得られない
- 5 被害者や被害者家族への相談・支援体制が不足している
- 6 裁判等で精神的な負担を受ける
- 7 犯罪行為等により経済的な負担をうける
- 8 被害者の声が十分に反映されない
- 9 その他
- 10 特にない

Q25

犯罪被害者等の人権を守るためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(いくつでも)

- 1 プライバシー侵害がないように報道内容を配慮すること
- 2 SNSなどに書き込まれた誹謗中傷を削除すること
- 3 学校で命の大切さ、他人を思いやる気持ちや規範意識を醸成すること
- 4 行政が民間支援団体との協力や連携に取り組むこと
- 5 県、県警察及び民間支援団体で構成する「かながわ犯罪被害者サポートステーション」での支援(法律相談、カウンセリング、緊急避難のための宿泊支援等)を充実すること
- 6 性犯罪、性暴力の被害者が安心して相談し、必要な支援がワンストップで受けられる、かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター「かならいん」の支援を充実すること
- 7 犯罪被害者等を支える人材を育成すること
- 8 被害者の目線に立った加害者対応を行うこと
- 9 その他
- 10 特にない

Q26

北朝鮮当局による拉致問題について、どのようなことが人権課題だと思いますか。

(いくつでも)

- 1 被害者の情報が全く得られないこと
- 2 自由が奪われ帰郷できないこと
- 3 国の支援が足りないこと
- 4 拉致問題に対する理解が足りないこと
- 5 傷つけるような報道があること
- 6 その他
- 7 特にない

Q27

性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。 (いくつでも)

- 1 性的マイノリティの権利を守る法令が整備されていないこと
- 2 男らしさ、女らしさなどの社会規範が根強いこと
- 3 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 4 差別的な言動を受けること
- 5 職場等において、嫌がらせを受けること
- 6 インターネットで誹謗中傷をされること
- 7 性的指向や性自認を他の人に暴露される(教えてしまう)こと
- 8 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 9 同性カップルなどがアパート等の入居を拒否されること
- 10 「同性パートナーは家族でない」という理由で病院などで面会を拒否されること
- 11 店舗や施設、ホテルなどの利用を拒否されること
- 12 DV被害や親族からの虐待を受けること
- 13 その他
- 14 特にない

Q28

性的マイノリティの人権を守るにはどのようなことが必要だと思いますか。 (いくつでも)

- 1 性的マイノリティへの理解を深める教育を充実する
- 2 ジェンダー規範にとらわれず、自分らしく生きることができる環境を整備する
- 3 啓発活動を推進する
- 4 職場や学校などを性的マイノリティに配慮した環境にすること
- 5 性別欄の選択肢を配慮したものにする
- 6 相談支援を充実する
- 7 DV被害にあった場合の緊急避難先をつくる
- 8 その他
- 9 特にない

Q29

インターネットによる人権侵害に関して、どのような問題が起きていると思いますか。
(いくつでも)

- 1 個人や特定の団体への誹謗中傷や差別を助長する書き込み
- 2 無断で他人の個人情報を公開する
- 3 事実と異なる情報(フェイクニュース)を掲載する
- 4 インターネット詐欺による被害が起きている
- 5 犯罪を誘発する場となっている
- 6 児童ポルノやリベンジポルノの投稿がされる
- 7 部落に関する情報をインターネットに掲載される
- 8 その他
- 9 特にない

Q30

インターネットによる人権侵害を防ぐにはどのようなことが必要だと思いますか。
(いくつでも)

- 1 監視、取り締まりを強化する
- 2 プロバイダ等に対し情報の削除を求める
- 3 プロバイダ等の自主規制の取組を推進
- 4 相談支援を充実する
- 5 インターネットの適切な利用や情報セキュリティ対策、
ルール、マナーを守ること等についての教育・啓発を推進する
- 6 子どものインターネット利用を制限する
- 7 その他
- 8 特にない

Q31

神奈川県では「かながわ人権施策推進指針」を策定し、子ども、女性、障がい者、高齢者、疾病等にかかる人権課題、同和問題(部落差別)、外国籍県民等、貧困等にかかる人権課題、犯罪被害者等、北朝鮮当局によって拉致された被害者等、性的マイノリティ、インターネットによる人権侵害といった分野の取組の方向性を定めています。

こうした人権課題以外にも、アイヌ民族の人権課題、災害発生時の人権課題、ケアラー(ヤングケアラー)の人権課題、孤独・孤立による人権課題を「様々な人権課題」として位置付けています。

こうした人権課題以外に「かながわ人権施策推進指針」に追加した方が良い分野は何だと思いますか。(いくつでも)

- 1 職業差別
- 2 働く人の人権(カスタマーハラスメントなどの問題)
- 3 自死(自殺)、自死遺族の人権
- 4 その他
- 5 特にない

Q32

自由記述欄(その他ご意見等ございましたらご記載ください)。

令和7年度 神奈川県人権意識調査
調査結果報告書

調査主体 : 神奈川県福祉子どもみらい局
共生推進本部室人権・同和グループ
神奈川県横浜市中区日本大通 1
電話 : 045-210-3637
調査実施機関 : 株式会社ジック
